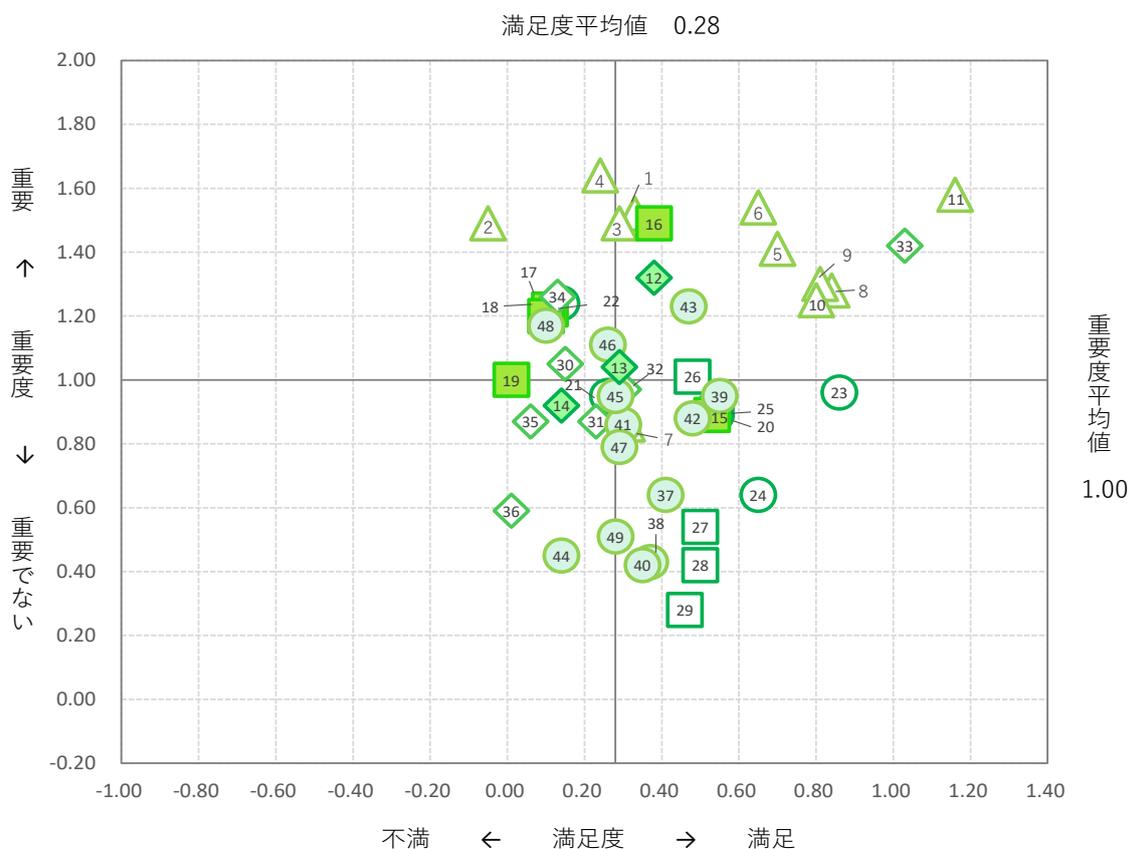
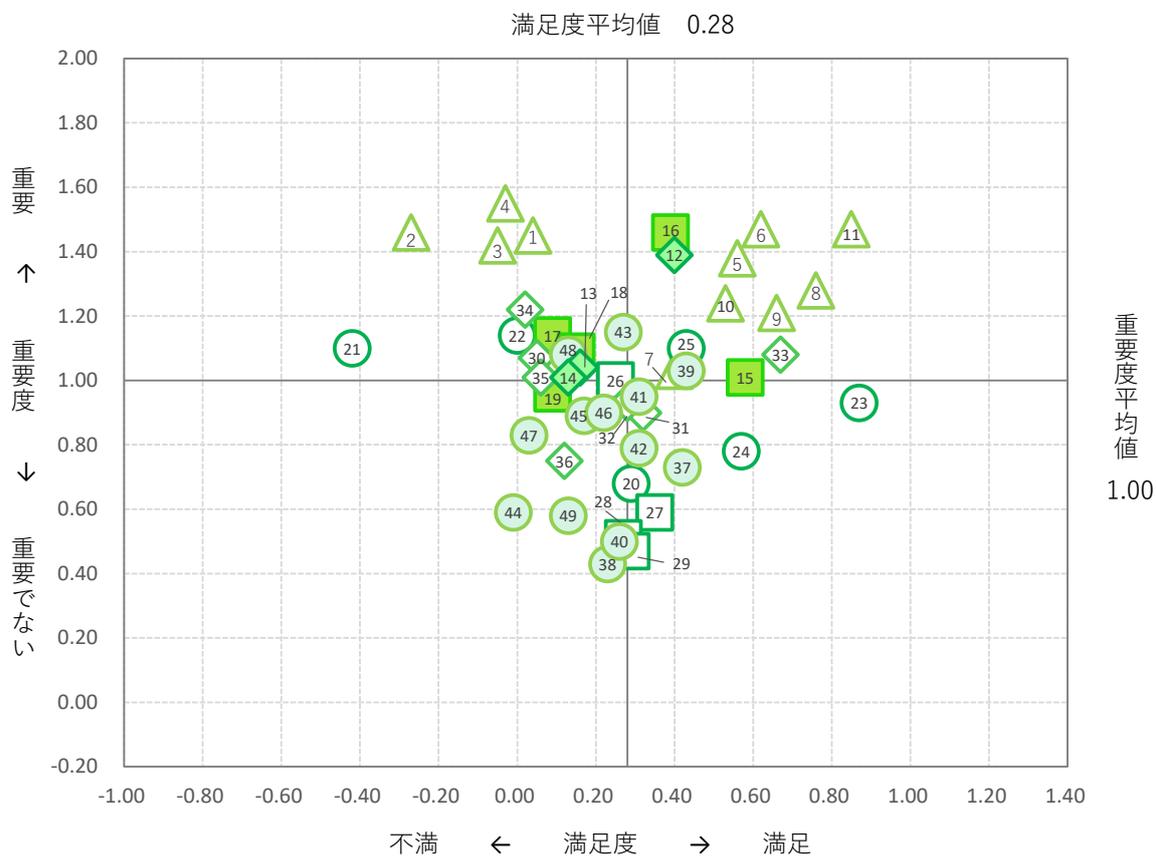


図表 153 小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」(3)

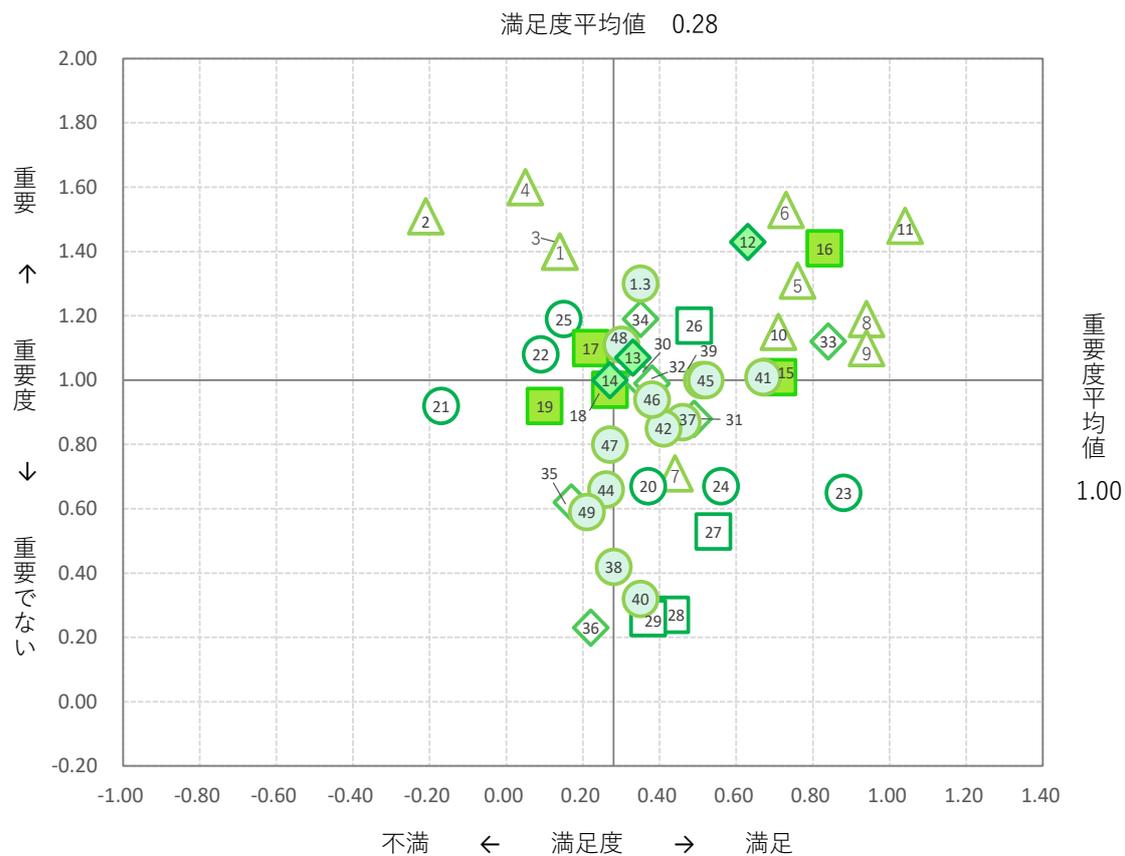
○金屋小学校区



○三蔵子小学校区



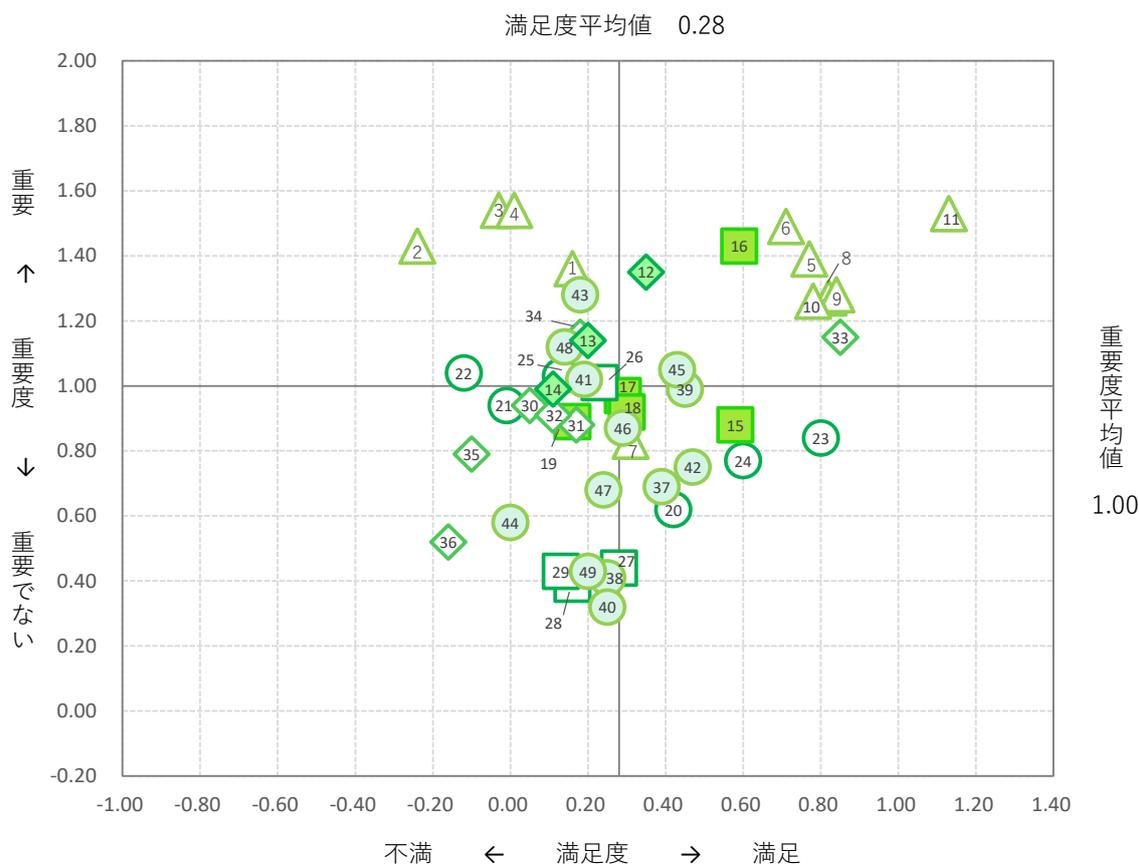
○桜町小学校区



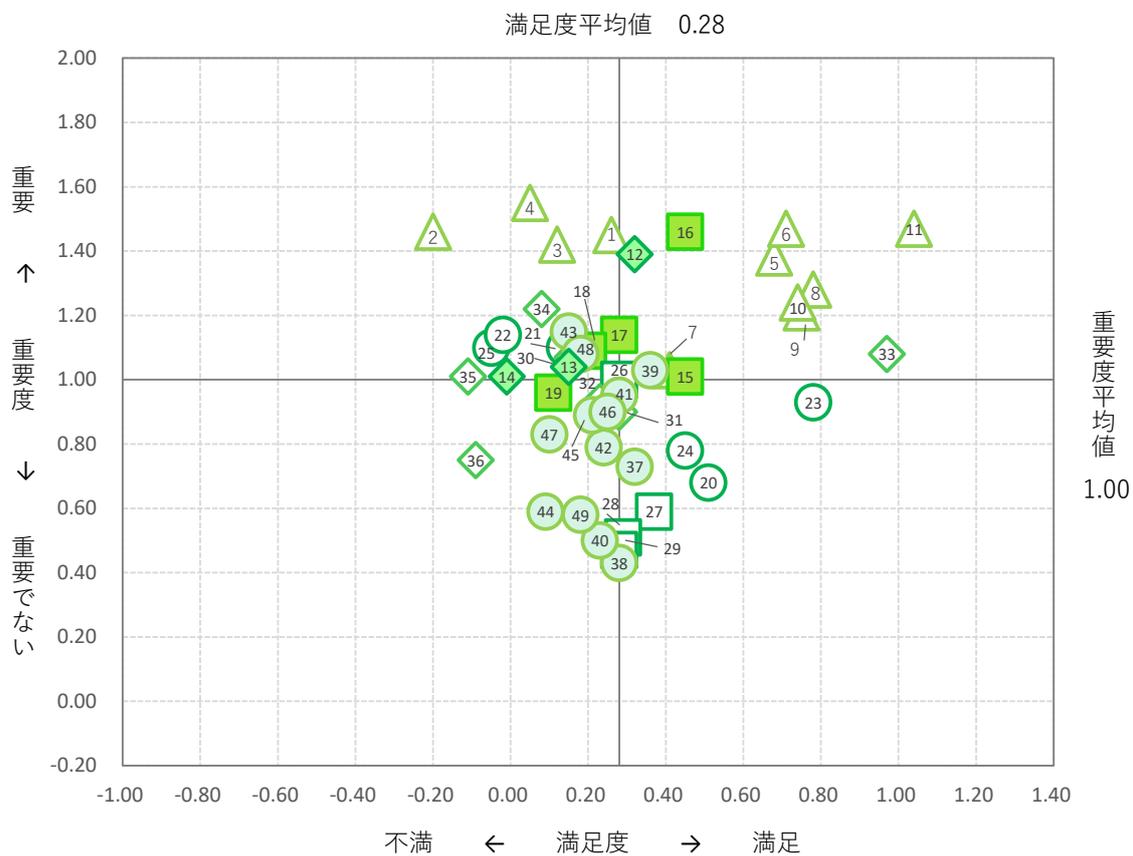
凡 例								
△ 安全・安心	1	交通安全対策	○ 建設・整備	20	住環境の整備（区画整理・住宅対策など）	○ 地域・行政	37	地域のつきあいや人間関係
	2	歩行者にとっての道路の安全性		21	公共交通機関の利便性		38	男女共同参画
	3	防犯対策		22	道路の整備状況		39	人権の尊重
	4	地震などに対する防災対策		23	緑・自然の豊かさ		40	国際交流活動・多文化共生
	5	消防体制		24	公園の状況		41	市からの情報提供・公表
	6	救急体制		25	河川の状況		42	公共施設の適正配置
	7	地球環境の保全		26	学校の指導や取り組み		43	道路、橋などの適正な維持管理
	8	ごみ処理対策		27	生涯学習の取り組み		44	行政のデジタル化
	9	生活における衛生環境		28	スポーツの振興		45	行政サービス
	10	生活排水対策		29	文化芸術の振興		46	職員の資質向上
◇ 子ども・若者	12	子どもを生み、育てる環境	◇ 産業・雇用	30	農業の振興	47	職員の定員適正化	
	13	青少年の育成・支援		31	工業の振興	48	健全な財政運営	
	14	若者への支援		32	商業の振興	49	東三河広域連合の活用	
	15	健康づくり		33	日用品などの買い物の利便性			
■ 健康・福祉	16	医療環境		34	雇用の安定・勤労者支援			
	17	高齢者福祉		35	中心市街地の活性化			
	18	障害者福祉		36	観光の振興			
	19	経済的な自立支援						

図表 154 小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」(4)

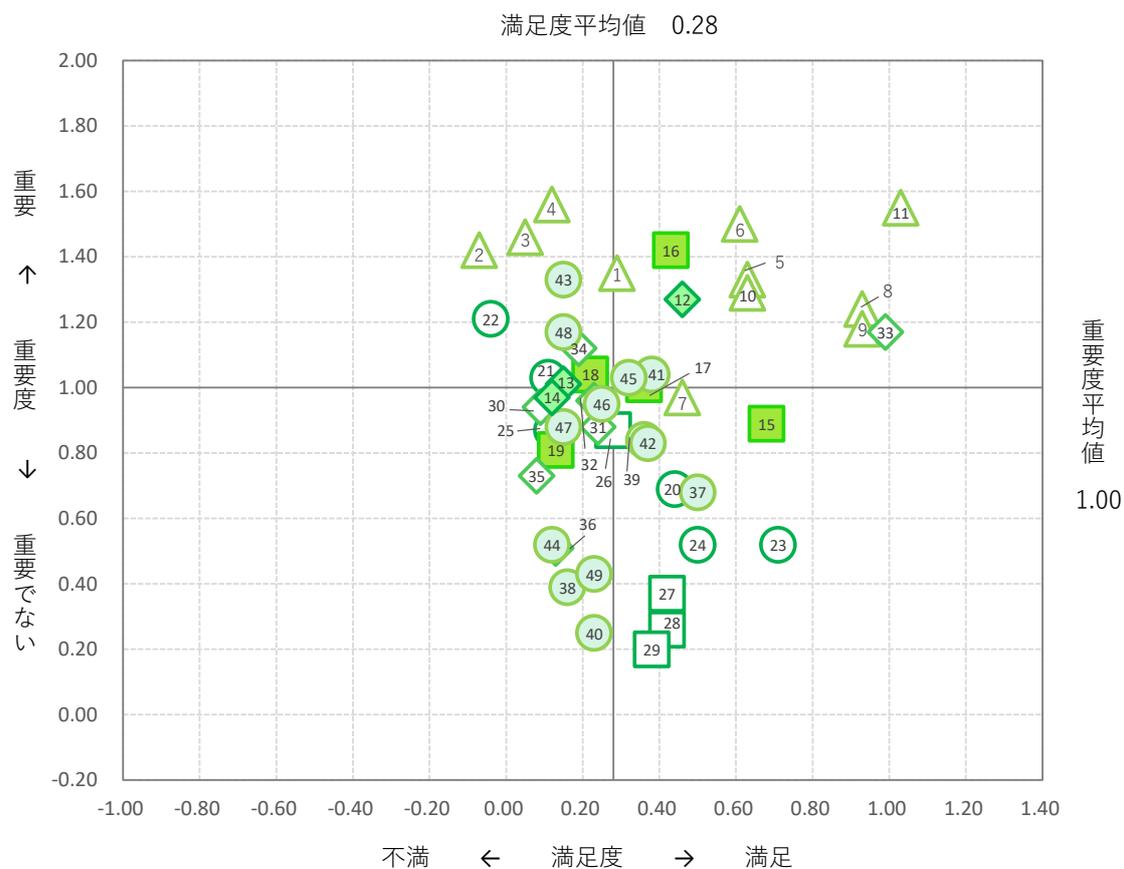
○代田小学校区



○中部小学校区



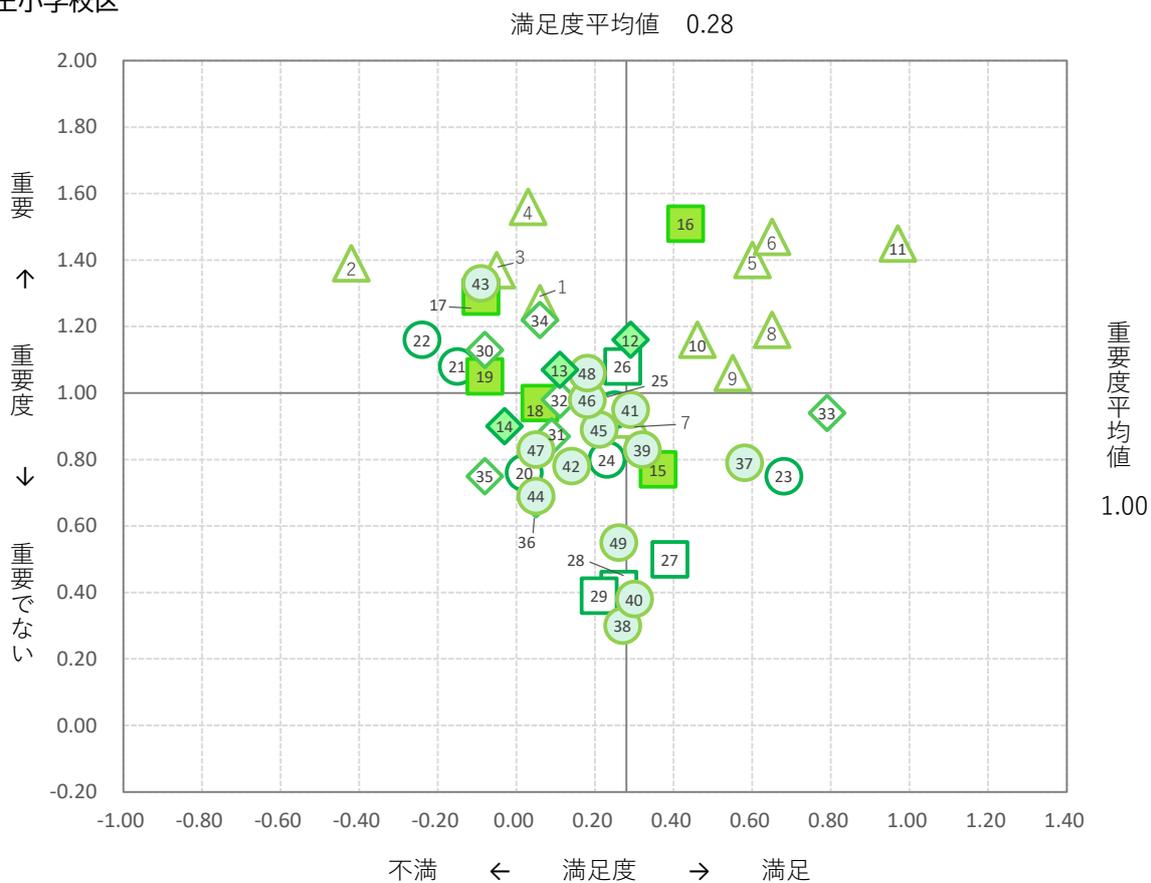
○牛久保小学校区



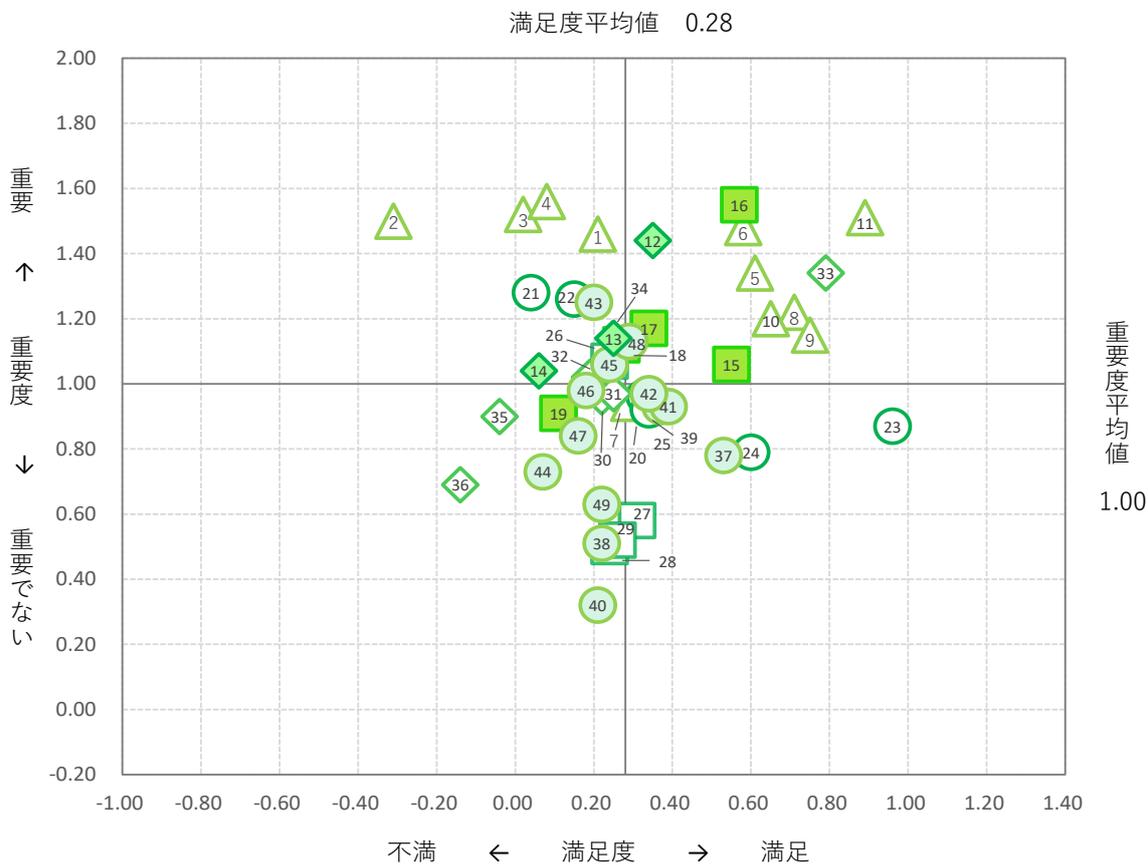
凡例							
△ 安全・安心	1	交通安全対策	20	住環境の整備（区画整理・住宅対策など）	○ 地域・行政	37	地域のつきあいや人間関係
	2	歩行者にとっての道路の安全性	21	公共交通機関の利便性		38	男女共同参画
	3	防犯対策	22	道路の整備状況		39	人権の尊重
	4	地震などに対する防災対策	23	緑・自然の豊かさ		40	国際交流活動・多文化共生
	5	消防体制	24	公園の状況		41	市からの情報提供・公表
	6	救急体制	25	河川の状況		42	公共施設の適正配置
	7	地球環境の保全	26	学校の指導や取り組み		43	道路、橋などの適正な維持管理
	8	ごみ処理対策	27	生涯学習の取り組み		44	行政のデジタル化
	9	生活における衛生環境	28	スポーツの振興		45	行政サービス
	10	生活排水対策	29	文化芸術の振興		46	職員の資質向上
	11	水道水の安全・安定供給	30	農業の振興		47	職員の定員適正化
◇ 子ども・若者	12	子どもを生み、育てる環境	31	工業の振興	48	健全な財政運営	
	13	青少年の育成・支援	32	商業の振興	49	東三河広域連合の活用	
	14	若者への支援	33	日用品などの買い物の利便性			
	15	健康づくり	34	雇用の安定・勤労者支援			
■ 健康・福祉	16	医療環境	35	中心市街地の活性化			
	17	高齢者福祉	36	観光の振興			
	18	障害者福祉					
	19	経済的な自立支援					

図表 155 小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」(5)

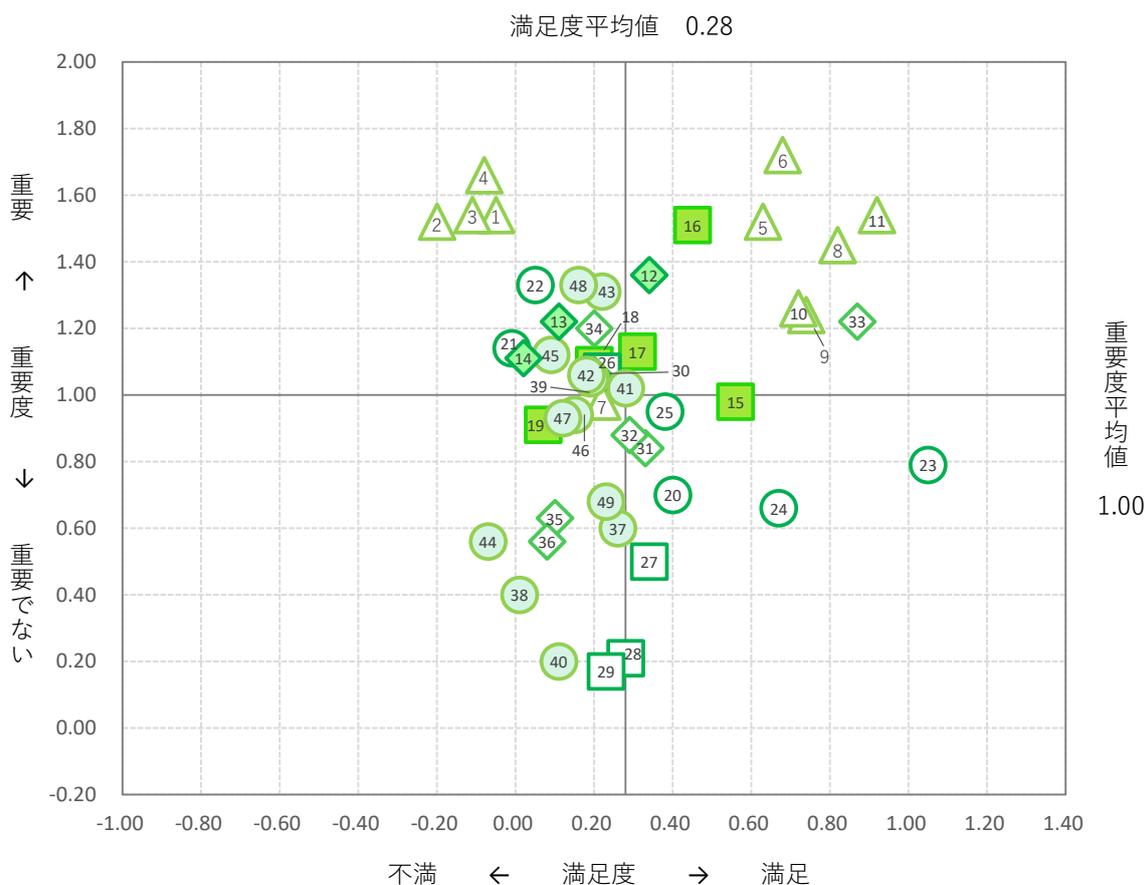
○天王小学校区



○国府小学校区



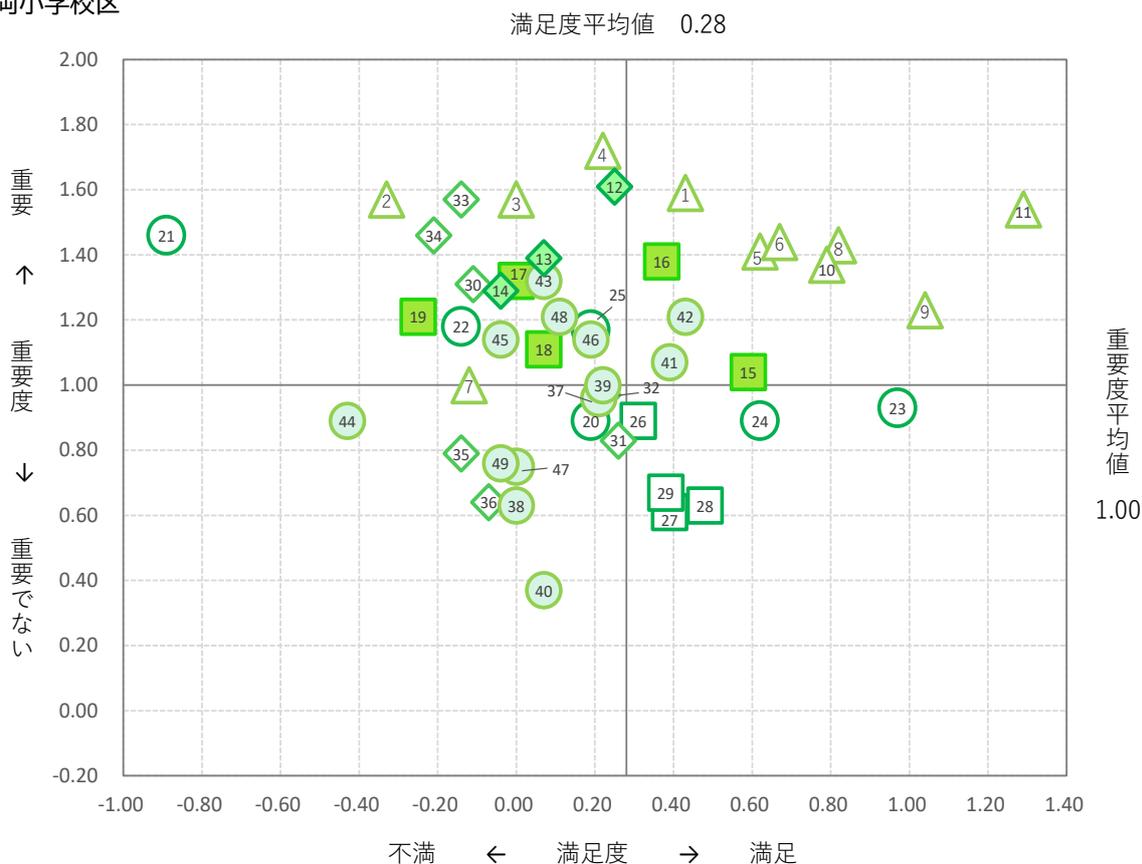
○御油小学校区



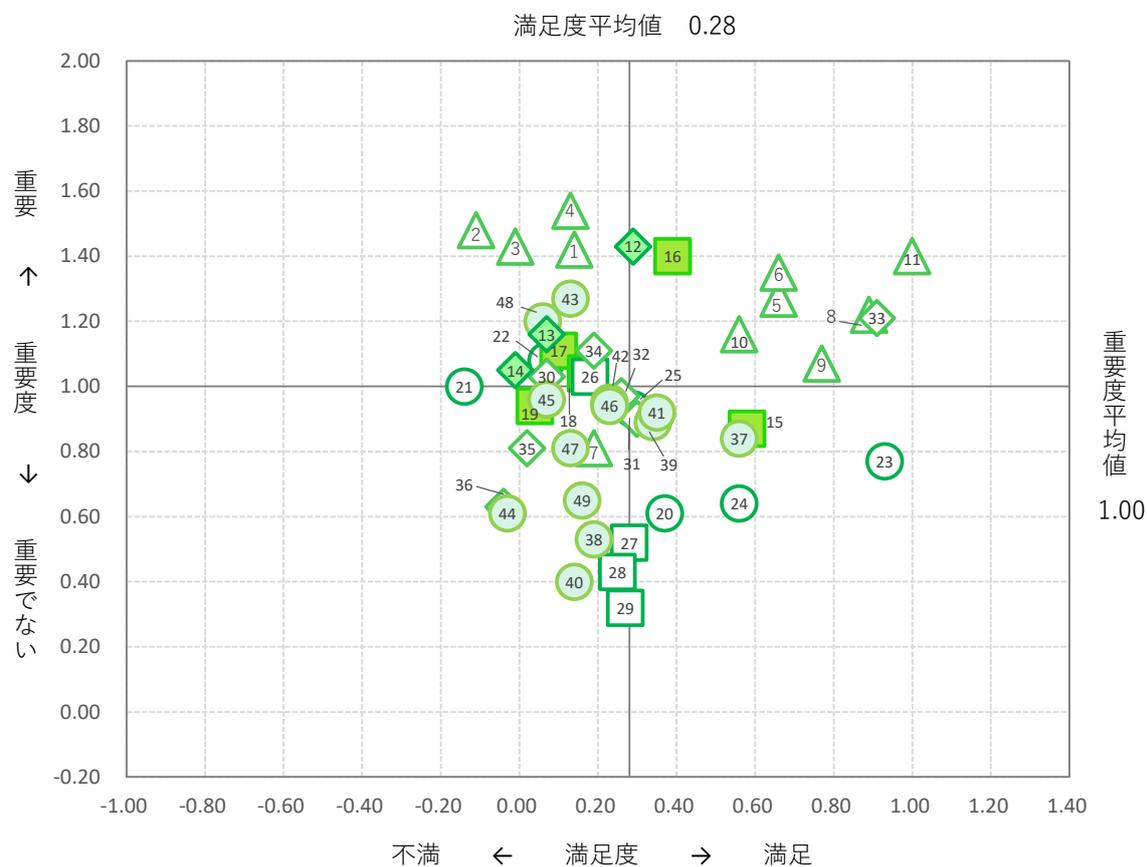
凡例								
△ 安全・安心	1	交通安全対策	○ 建設・整備	20	住環境の整備（区画整理・住宅対策など）	○ 地域・行政	37	地域のつきあいや人間関係
	2	歩行者にとっての道路の安全性		21	公共交通機関の利便性		38	男女共同参画
	3	防犯対策		22	道路の整備状況		39	人権の尊重
	4	地震などに対する防災対策		23	緑・自然の豊かさ		40	国際交流活動・多文化共生
	5	消防体制		24	公園の状況		41	市からの情報提供・公表
	6	救急体制	25	河川の状況	42		公共施設の適正配置	
	7	地球環境の保全	□ 教育・文化	26	学校の指導や取り組み		43	道路、橋などの適正な維持管理
	8	ごみ処理対策	◇ 産業・雇用	27	生涯学習の取り組み		44	行政のデジタル化
	9	生活における衛生環境		28	スポーツの振興		45	行政サービス
	10	生活排水対策		29	文化芸術の振興		46	職員の資質向上
◇ 子ども・若者	11	水道水の安全・安定供給		30	農業の振興	47	職員の定員適正化	
	12	子どもを生み、育てる環境		31	工業の振興	48	健全な財政運営	
	13	青少年の育成・支援		32	商業の振興	49	東三河広域連合の活用	
	14	若者への支援		33	日用品などの買い物の利便性			
■ 健康・福祉	15	健康づくり		34	雇用の安定・勤労者支援			
	16	医療環境		35	中心市街地の活性化			
	17	高齢者福祉	36	観光の振興				
	18	障害者福祉						
	19	経済的な自立支援						

図表 156 小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」(6)

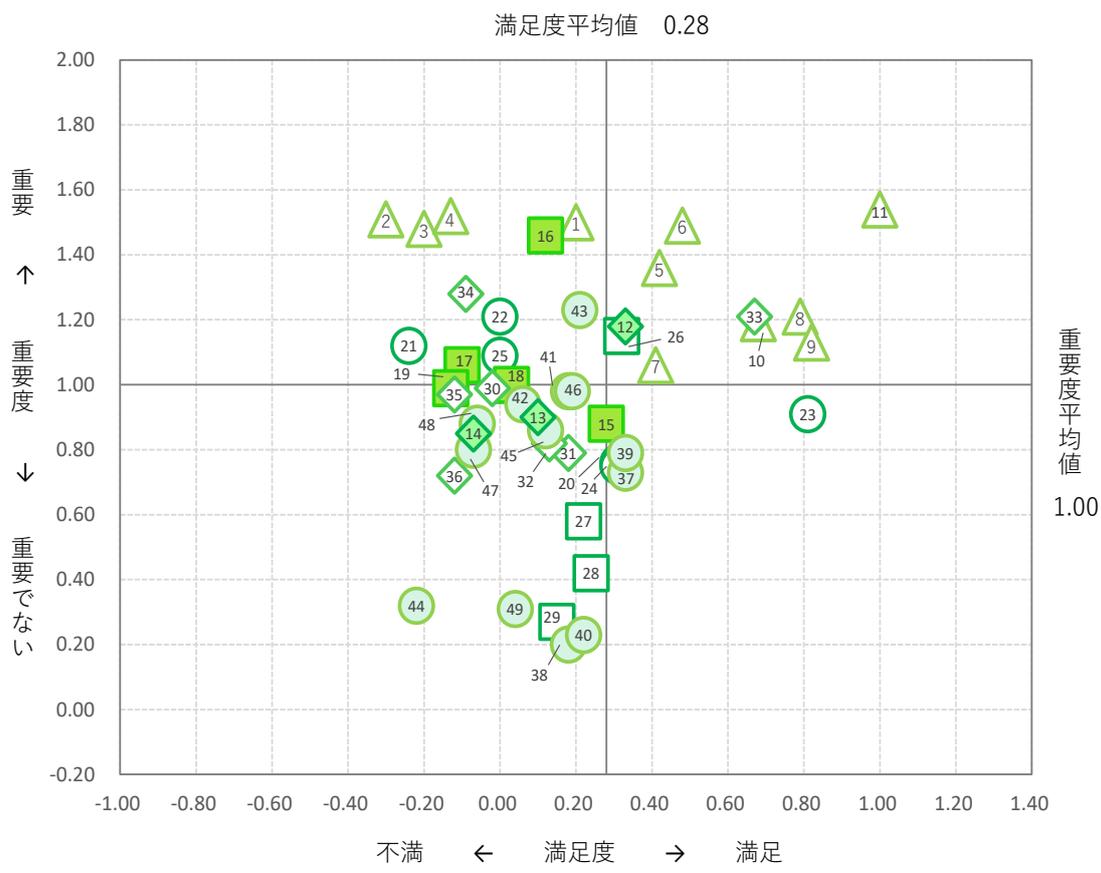
○千両小学校区



○八南小学校区



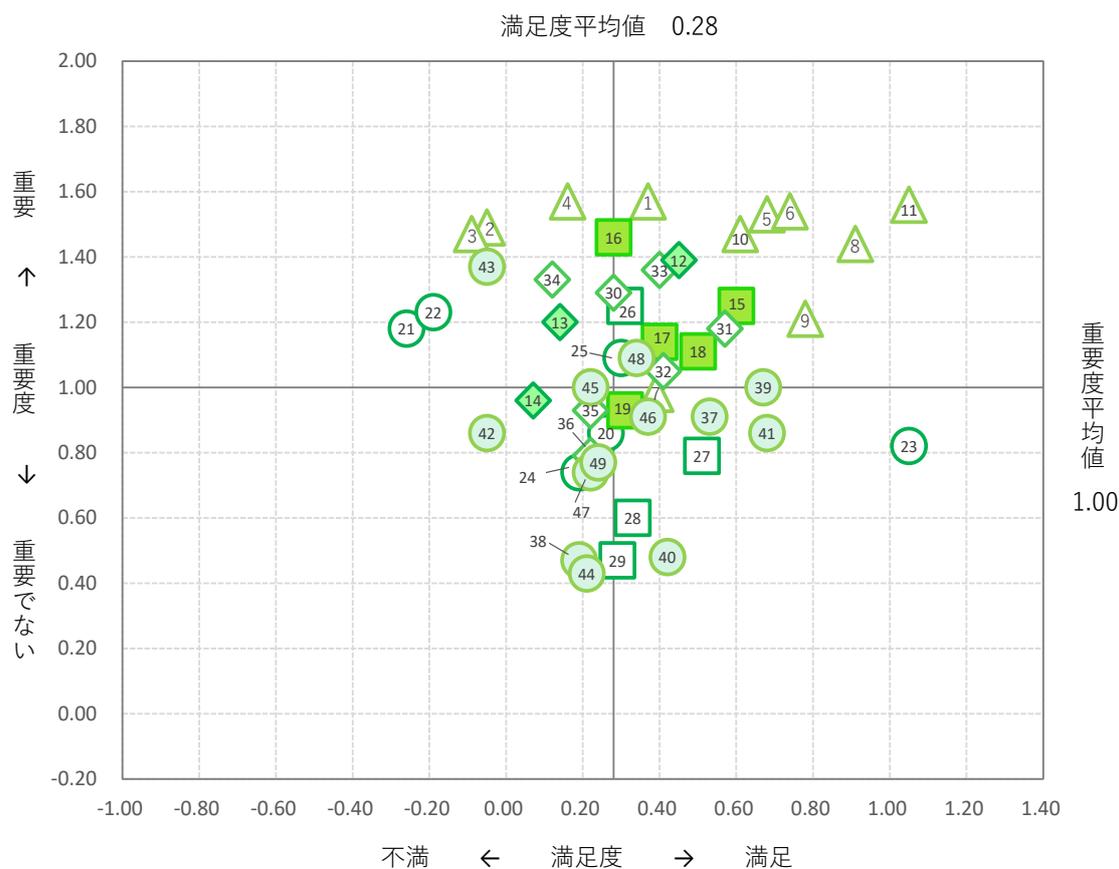
○平尾小学校区



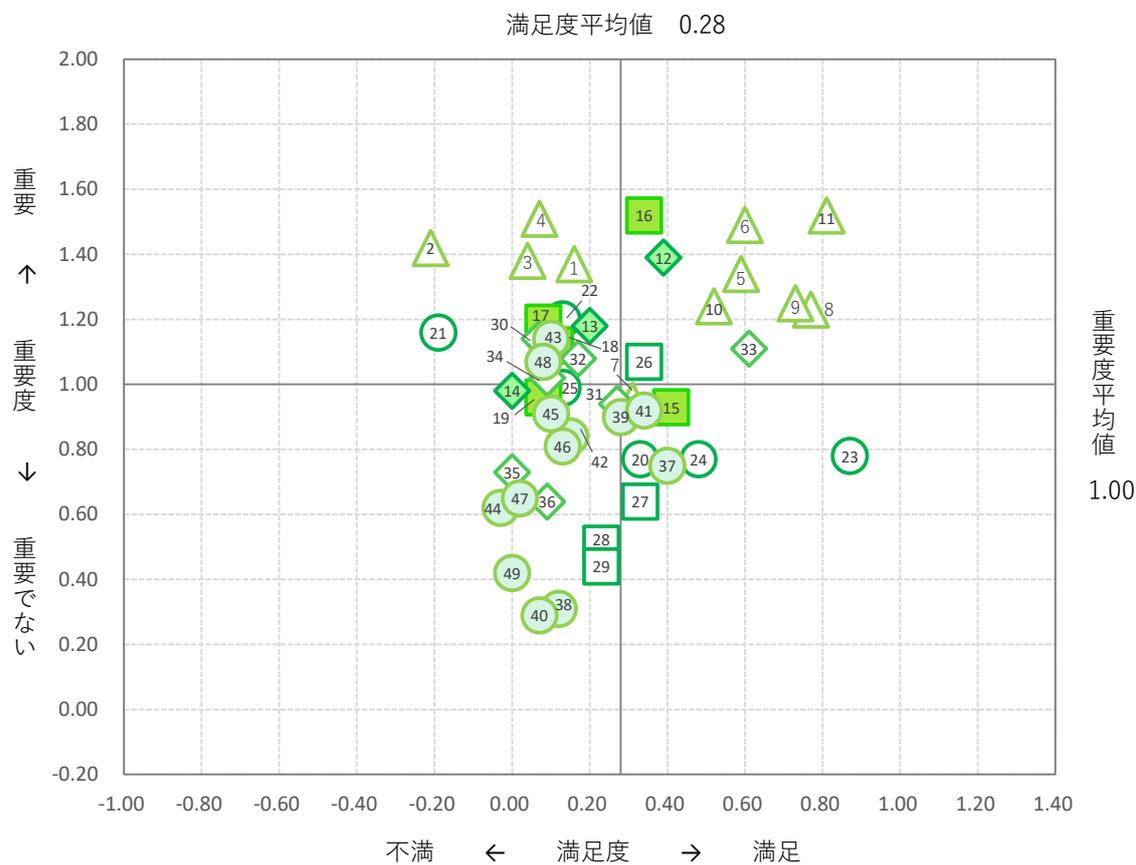
凡 例								
△ 安全・安心	1	交通安全対策	○ 建設・整備	20	住環境の整備（区画整理・住宅対策など）	○ 地域・行政	37	地域のつきあいや人間関係
	2	歩行者にとっての道路の安全性		21	公共交通機関の利便性		38	男女共同参画
	3	防犯対策		22	道路の整備状況		39	人権の尊重
	4	地震などに対する防災対策		23	緑・自然の豊かさ		40	国際交流活動・多文化共生
	5	消防体制		24	公園の状況		41	市からの情報提供・公表
	6	救急体制	25	河川の状況	42		公共施設の適正配置	
	7	地球環境の保全	26	学校の指導や取り組み	43		道路、橋などの適正な維持管理	
	8	ごみ処理対策	27	生涯学習の取り組み	44		行政のデジタル化	
	9	生活における衛生環境	28	スポーツの振興	45		行政サービス	
	10	生活排水対策	29	文化芸術の振興	46		職員の資質向上	
	11	水道水の安全・安定供給	30	農業の振興	47		職員の定員適正化	
◇ ・子ども	12	子どもを生み、育てる環境	◇ 産業・雇用	31	工業の振興	48	健全な財政運営	
	13	青少年の育成・支援		32	商業の振興	49	東三河広域連合の活用	
	14	若者への支援		33	日用品などの買い物の利便性			
■ 健康・福祉	15	健康づくり		34	雇用の安定・勤労者支援			
	16	医療環境		35	中心市街地の活性化			
	17	高齢者福祉		36	観光の振興			
	18	障害者福祉						
	19	経済的な自立支援						

図表 157 小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」(7)

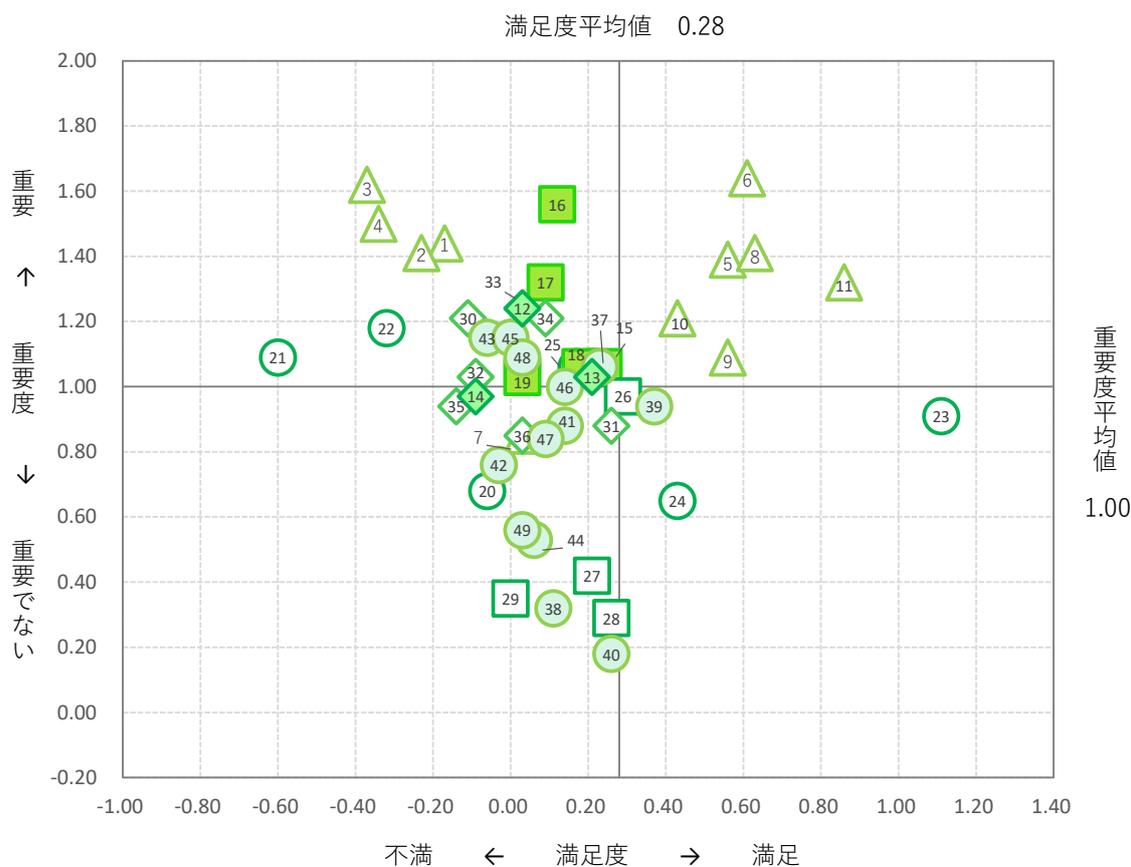
○一宮東部小学校区



○一宮西部小学校区



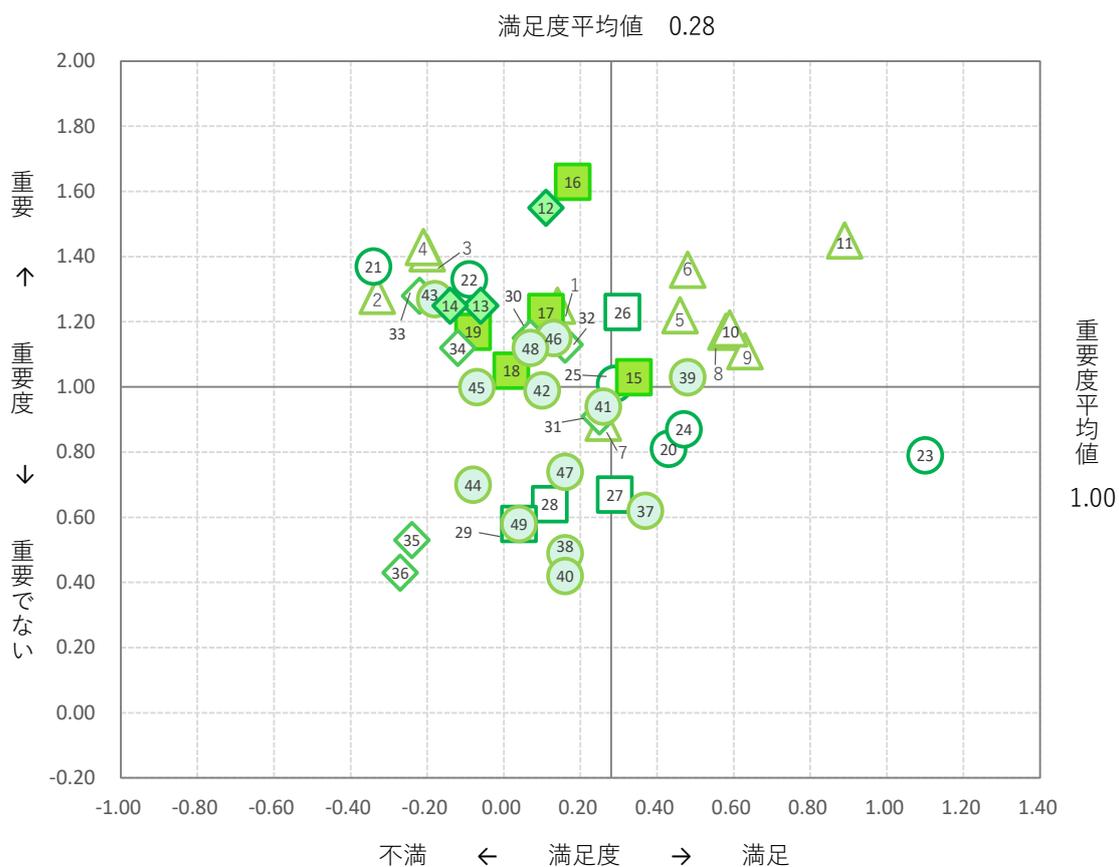
○一宮南部小学校区



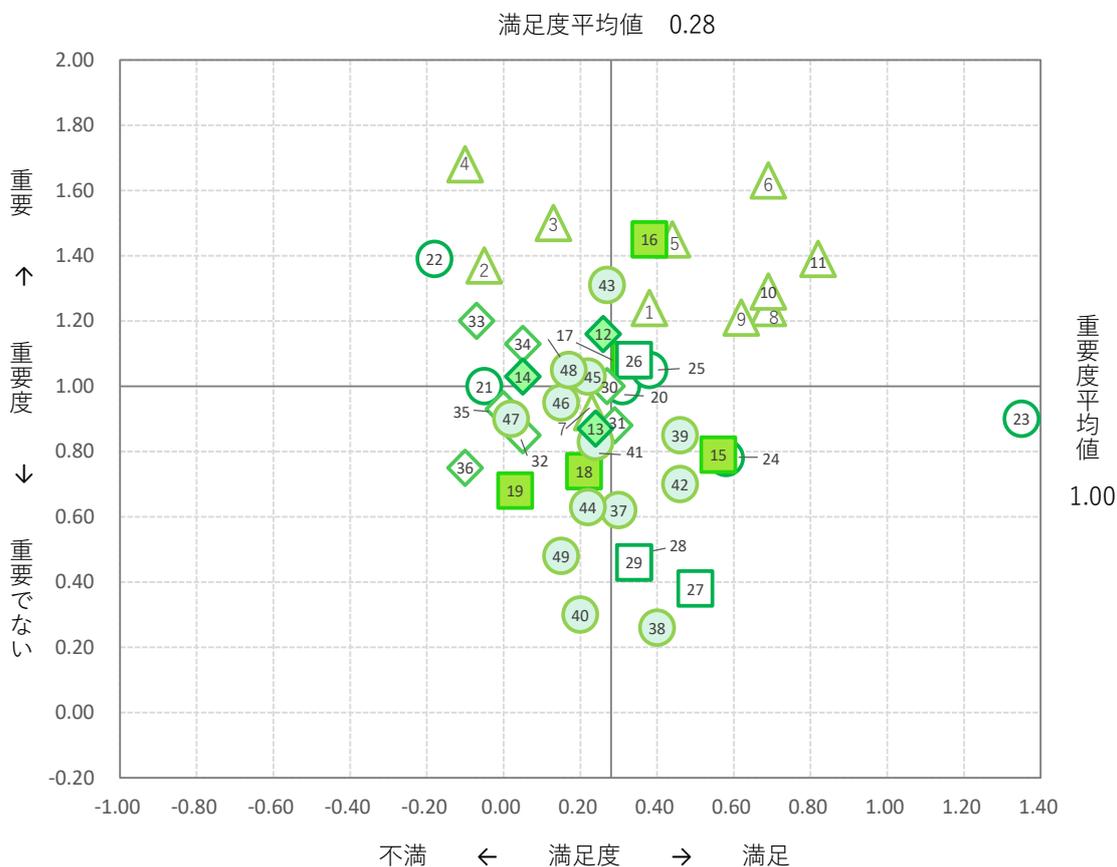
凡 例								
△ 安全・安心	1	交通安全対策	○ 建設・整備	20	住環境の整備（区画整理・住宅対策など）	○ 地域・行政	37	地域のつきあいや人間関係
	2	歩行者にとっての道路の安全性		21	公共交通機関の利便性		38	男女共同参画
	3	防犯対策		22	道路の整備状況		39	人権の尊重
	4	地震などに対する防災対策		23	緑・自然の豊かさ		40	国際交流活動・多文化共生
	5	消防体制		24	公園の状況		41	市からの情報提供・公表
	6	救急体制	25	河川の状況	42		公共施設の適正配置	
	7	地球環境の保全	□ 教育・文化	26	学校の指導や取り組み		43	道路、橋などの適正な維持管理
	8	ごみ処理対策		27	生涯学習の取り組み		44	行政のデジタル化
	9	生活における衛生環境		28	スポーツの振興		45	行政サービス
	10	生活排水対策		29	文化芸術の振興		46	職員の資質向上
	11	水道水の安全・安定供給		30	農業の振興		47	職員の定員適正化
◇ 子ども・若者	12	子どもを生み、育てる環境	◇ 産業・雇用	31	工業の振興	48	健全な財政運営	
	13	青少年の育成・支援		32	商業の振興	49	東三河広域連合の活用	
■ 健康・福祉	14	若者への支援		33	日用品などの買い物の利便性			
	15	健康づくり		34	雇用の安定・勤労者支援			
	16	医療環境		35	中心市街地の活性化			
	17	高齢者福祉	36	観光の振興				
	18	障害者福祉						
	19	経済的な自立支援						

図表 158 小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」(8)

○赤坂小学校区

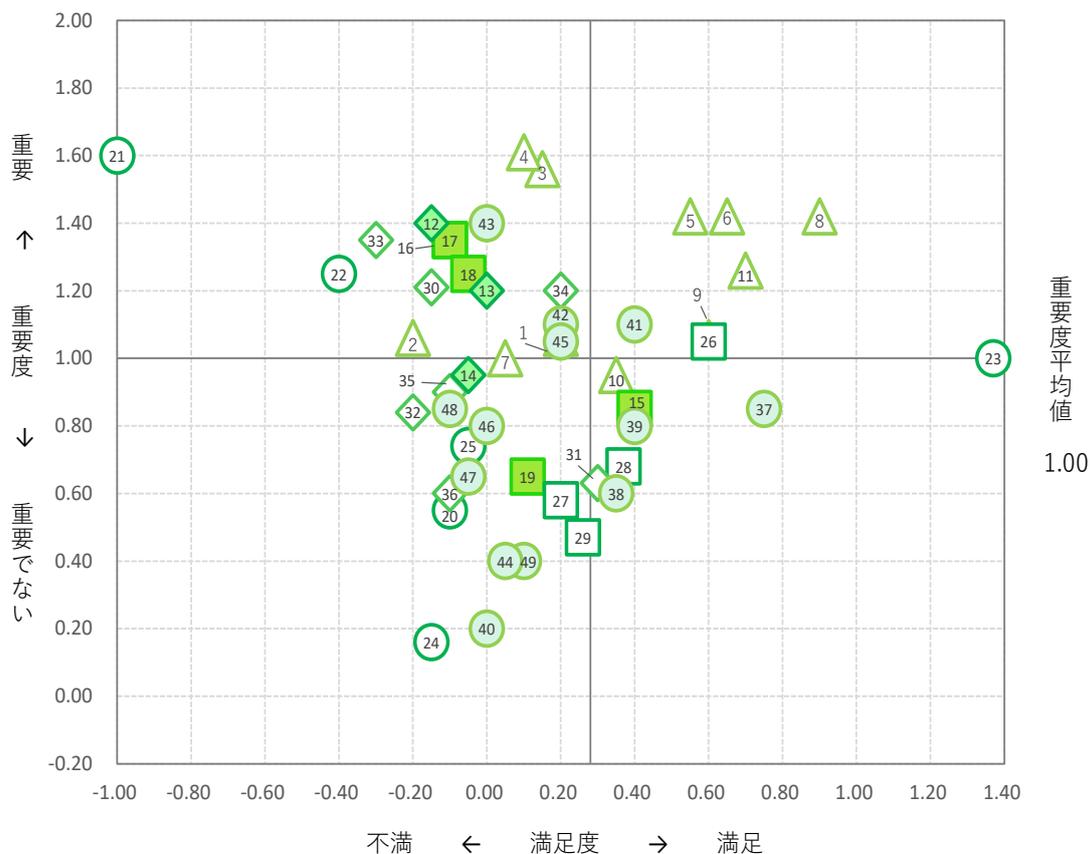


○長沢小学校区



○萩小学校区

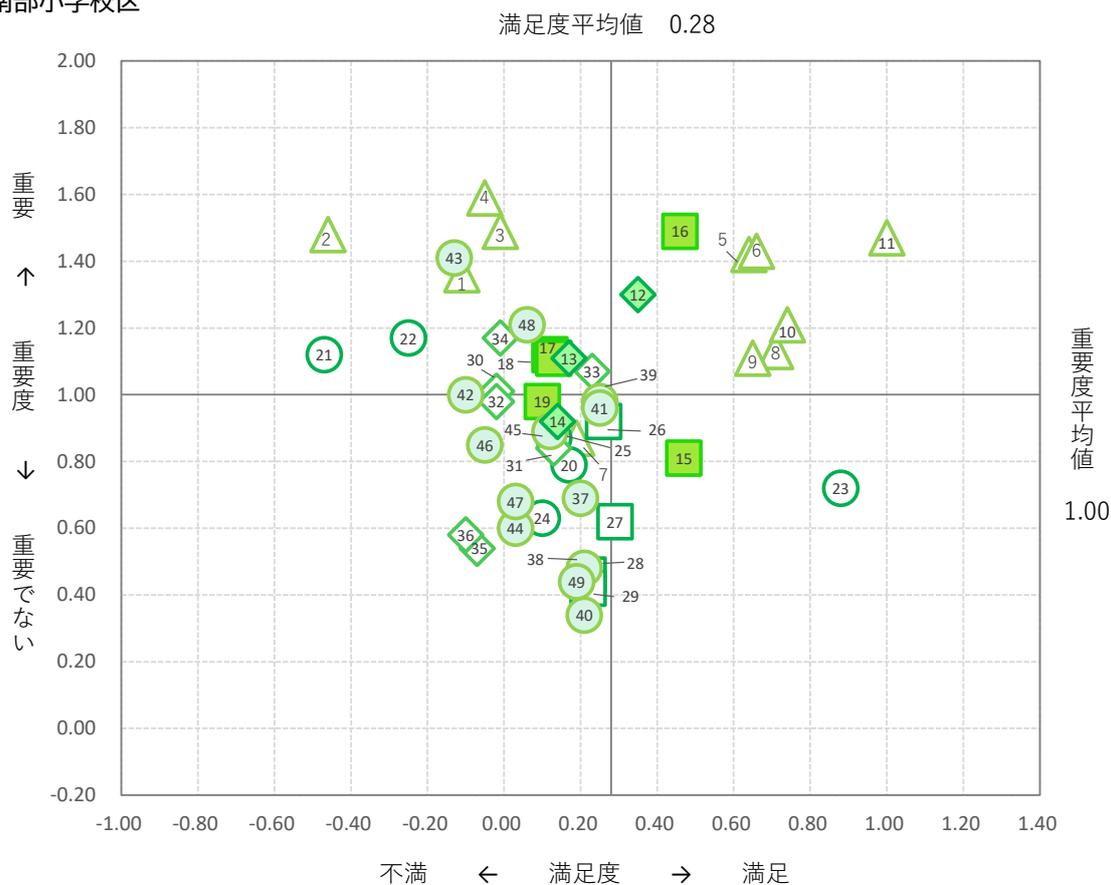
満足度平均値 0.28



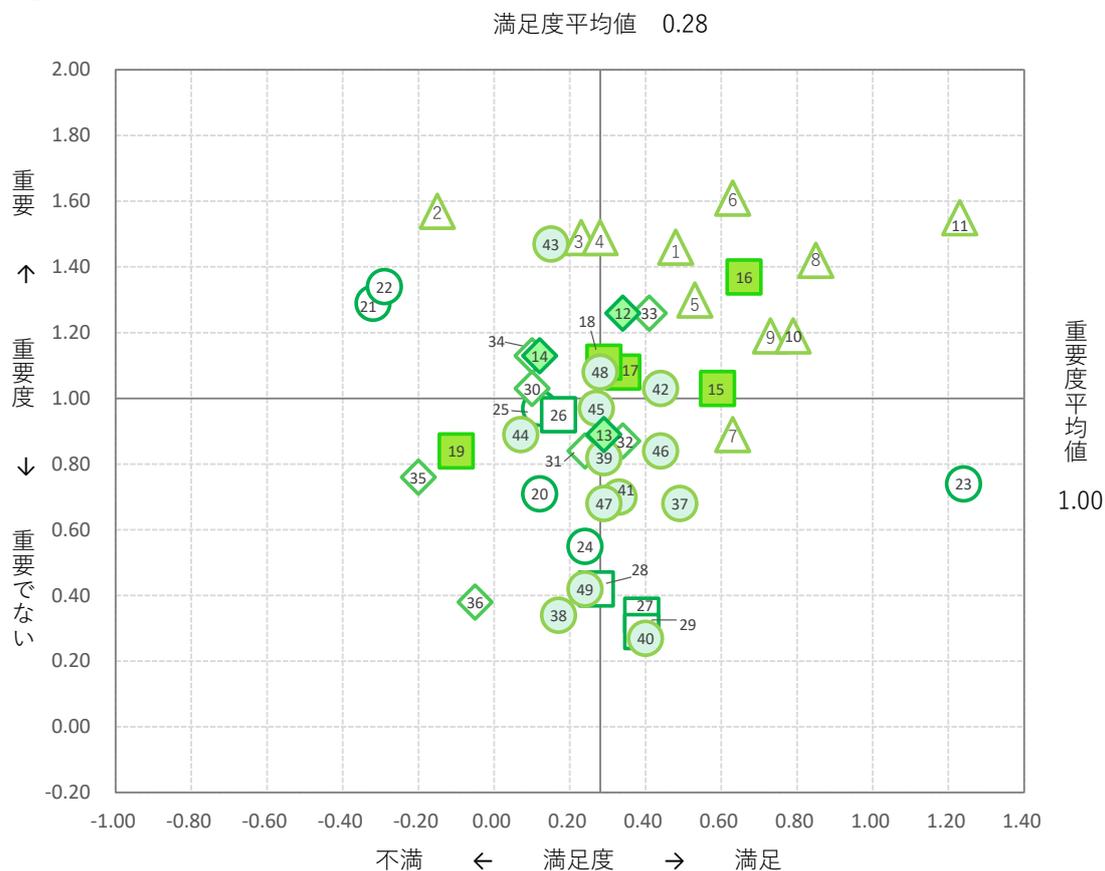
凡例							
△ 安全・安心	1	交通安全対策	20	住環境の整備（区画整理・住宅対策など）	○ 地域・行政	37	地域のつきあいや人間関係
	2	歩行者にとっての道路の安全性	21	公共交通機関の利便性		38	男女共同参画
	3	防犯対策	22	道路の整備状況		39	人権の尊重
	4	地震などに対する防災対策	23	緑・自然の豊かさ		40	国際交流活動・多文化共生
	5	消防体制	24	公園の状況		41	市からの情報提供・公表
	6	救急体制	25	河川の状況		42	公共施設の適正配置
	7	地球環境の保全	26	学校の指導や取り組み		43	道路、橋などの適正な維持管理
	8	ごみ処理対策	27	生涯学習の取り組み		44	行政のデジタル化
	9	生活における衛生環境	28	スポーツの振興		45	行政サービス
	10	生活排水対策	29	文化芸術の振興		46	職員の資質向上
	11	水道水の安全・安定供給	30	農業の振興		47	職員の定員適正化
◇ 子ども・若者	12	子どもを生み、育てる環境	31	工業の振興	48	健全な財政運営	
	13	青少年の育成・支援	32	商業の振興	49	東三河広域連合の活用	
	14	若者への支援	33	日用品などの買い物の利便性			
	15	健康づくり	34	雇用の安定・勤労者支援			
■ 健康・福祉	16	医療環境	35	中心市街地の活性化			
	17	高齢者福祉	36	観光の振興			
	18	障害者福祉					
	19	経済的な自立支援					

図表 159 小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」(9)

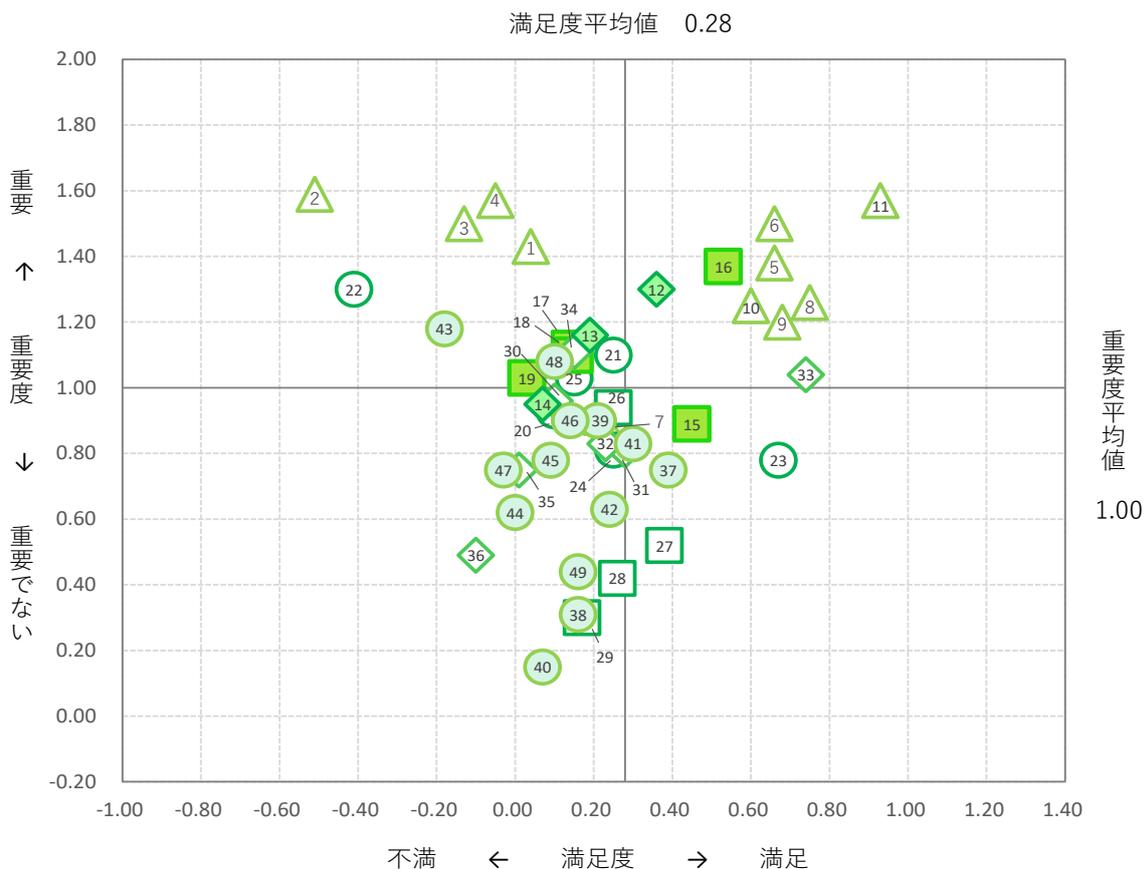
○御津南部小学校区



○御津北部小学校区

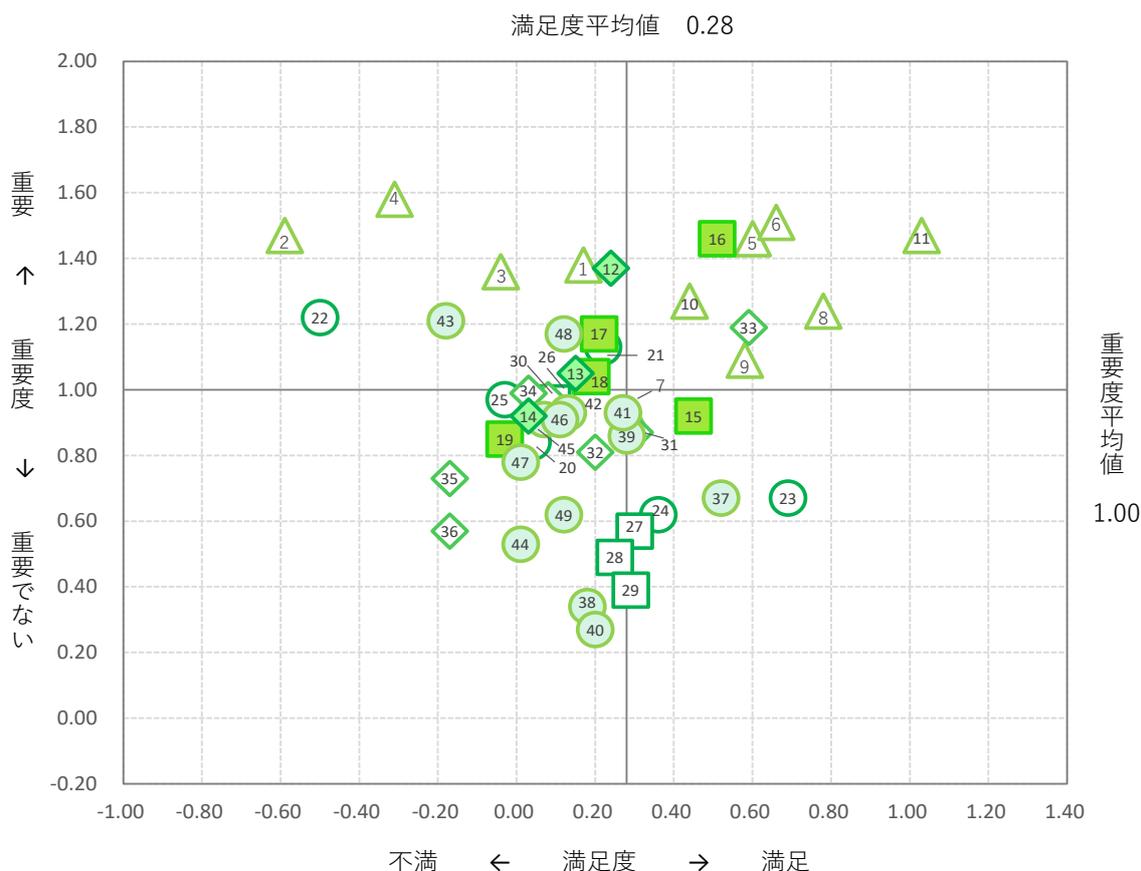


○小坂井東小学校区



凡 例								
△ 安全・安心	1	交通安全対策	○ 建設・整備	20	住環境の整備（区画整理・住宅対策など）	○ 地域・行政	37	地域のつきあいや人間関係
	2	歩行者にとっての道路の安全性		21	公共交通機関の利便性		38	男女共同参画
	3	防犯対策		22	道路の整備状況		39	人権の尊重
	4	地震などに対する防災対策		23	緑・自然の豊かさ		40	国際交流活動・多文化共生
	5	消防体制		24	公園の状況		41	市からの情報提供・公表
	6	救急体制	25	河川の状況	42		公共施設の適正配置	
	7	地球環境の保全	26	学校の指導や取り組み	43		道路、橋などの適正な維持管理	
	8	ごみ処理対策	27	生涯学習の取り組み	44		行政のデジタル化	
	9	生活における衛生環境	28	スポーツの振興	45		行政サービス	
	10	生活排水対策	29	文化芸術の振興	46		職員の資質向上	
	11	水道水の安全・安定供給	30	農業の振興	47		職員の定員適正化	
◇ 子ども・若者	12	子どもを生み、育てる環境	◇ 産業・雇用	31	工業の振興	48	健全な財政運営	
	13	青少年の育成・支援		32	商業の振興	49	東三河広域連合の活用	
14	若者への支援	33		日用品などの買い物の利便性				
■ 健康・福祉	15	健康づくり		34	雇用の安定・勤労者支援			
	16	医療環境		35	中心市街地の活性化			
	17	高齢者福祉	36	観光の振興				
	18	障害者福祉						
	19	経済的な自立支援						

○小坂井西小学校区



凡 例								
△ 安全・安心	1	交通安全対策	○ 建設・整備	20	住環境の整備（区画整理・住宅対策など）	○ 地域・行政	37	地域のつきあいや人間関係
	2	歩行者にとっての道路の安全性		21	公共交通機関の利便性		38	男女共同参画
	3	防犯対策		22	道路の整備状況		39	人権の尊重
	4	地震などに対する防災対策		23	緑・自然の豊かさ		40	国際交流活動・多文化共生
	5	消防体制		24	公園の状況		41	市からの情報提供・公表
	6	救急体制	25	河川の状況	42		公共施設の適正配置	
	7	地球環境の保全	26	学校の指導や取り組み	43		道路、橋などの適正な維持管理	
	8	ごみ処理対策	27	生涯学習の取り組み	44		行政のデジタル化	
	9	生活における衛生環境	28	スポーツの振興	45		行政サービス	
	10	生活排水対策	29	文化芸術の振興	46		職員の資質向上	
	11	水道水の安全・安定供給	30	農業の振興	47		職員の定員適正化	
◇ 子ども・若者	12	子どもを生み、育てる環境	◇ 産業・雇用	31	工業の振興	48	健全な財政運営	
	13	青少年の育成・支援		32	商業の振興	49	東三河広域連合の活用	
	14	若者への支援		33	日用品などの買い物の利便性			
■ 健康・福祉	15	健康づくり		34	雇用の安定・勤労者支援			
	16	医療環境		35	中心市街地の活性化			
	17	高齢者福祉	36	観光の振興				
	18	障害者福祉						
	19	経済的な自立支援						

3 安全・安心について

1 交通安全・防犯対策等の行政への期待

問3 行政が実施している次の交通安全・防犯対策等について、行政にどのようなことを期待しますか。3つまで選んで○印をつけてください。

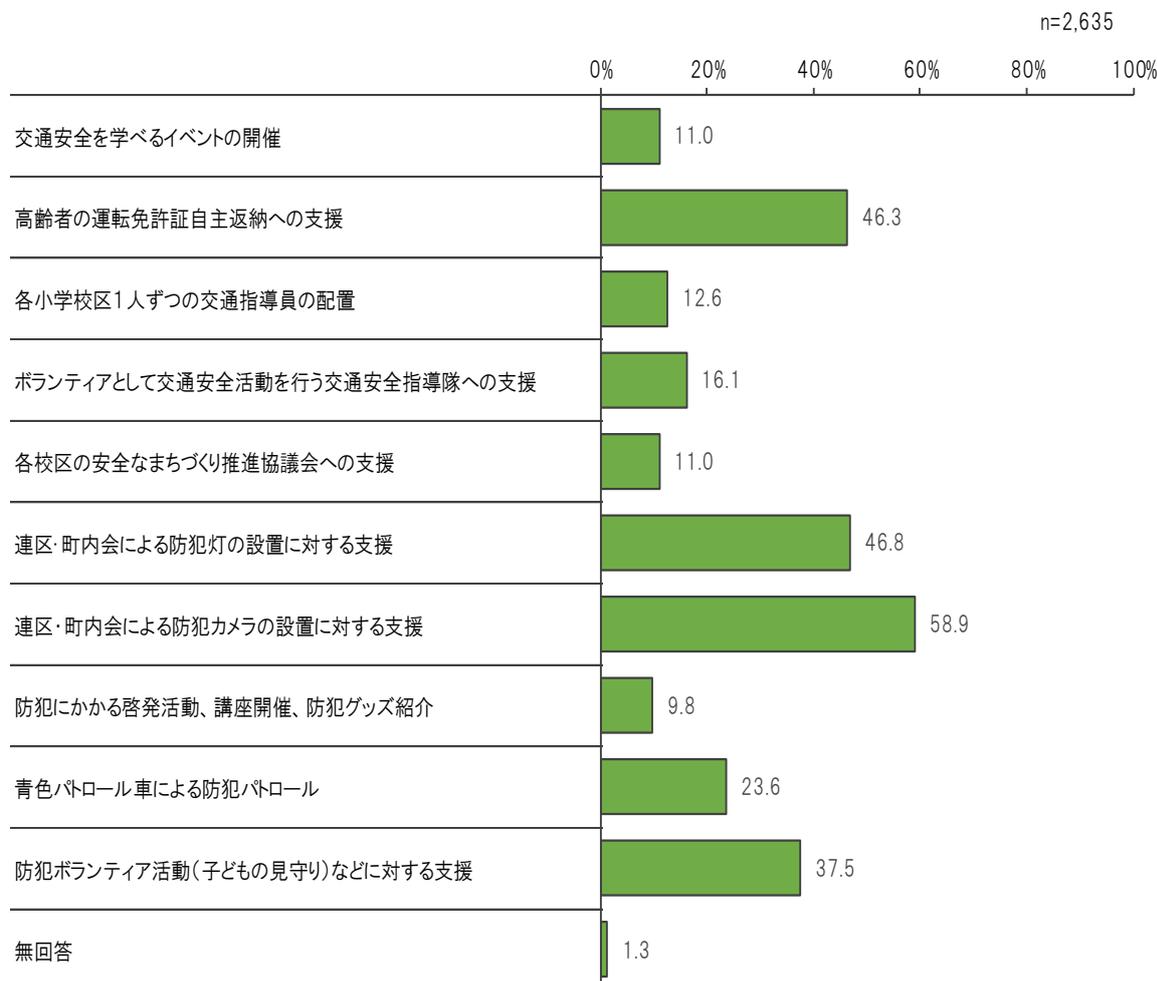
◆ **交通安全・防犯対策等で行政に期待することは「連区・町内会による防犯カメラの設置に対する支援」が58.9%**

交通安全・防犯対策等への期待では、「連区・町内会による防犯カメラの設置に対する支援」(58.9%)が最も高く、次いで「連区・町内会による防犯灯の設置に対する支援」(46.8%)、「高齢者の運転免許証自主返納への支援」(46.3%)の順となっている。【図表 160】

性別でみると、「連区・町内会による防犯灯の設置に対する支援」では、「女性」(49.9%)が「男性」(43.7%)を6.2ポイント上回り、「連区・町内会による防犯カメラの設置に対する支援」では「男性」(61.4%)が「女性」(57.1%)を4.3ポイント上回っている。【図表 161】

小学校区別でみると、全体平均と比較して「連区・町内会による防犯灯の設置に対する支援」では「平尾小学校区」(61.8%)、「長沢小学校区」(56.1%)が高くなっている。また、「青色パトロール車による防犯パトロール」では「千両小学校区」(34.5%)、「防犯ボランティア活動(子どもの見守り)などに対する支援」では「御津北部小学校区」(47.6%)、「ボランティアとして交通安全活動を行う交通安全指導隊への支援」では、「千両小学校区」(27.6%)で割合が高くなっている。【図表 161】

図表 160 交通安全・防犯対策等の行政への期待 (全体)



図表 161 交通安全・防犯対策等の行政への期待

(全体・性別・小学校区・交通安全の満足度・防犯対策の満足度別)

(%)

	件数	交通安全を学べるイベントの開催	高齢者の運転免許証自主返納への支援	各小学校区1人ずつの交通指導員の配置	ボランティアとして交通安全活動を行う交通安全指導隊への支援	各校区への安全なまちづくり推進協議会への支援	連区・町内会による防犯灯の設置に対する支援	連区・町内会による防犯カメラの設置に対する支援	防犯にかかる啓発活動、講座開催	青色パトロール車による防犯パトロール	防犯ボランティア活動へ子ども見守りなどに対する支援	無回答	
全体	2,635	11.0	46.3	12.6	16.1	11.0	46.8	58.9	9.8	23.6	37.5	1.3	
性別	男性	1,096	13.0	47.4	13.0	17.8	11.6	43.7	61.4	9.5	22.1	35.5	0.7
	女性	1,390	9.2	46.1	12.4	15.7	10.6	49.9	57.1	9.7	24.5	39.0	1.4
居住小学校区別	豊川小学校区	120	14.2	53.3	15.0	13.3	8.3	40.0	50.8	11.7	26.7	39.2	1.7
	桜木小学校区	107	20.6	53.3	15.9	13.1	14.0	43.9	58.9	11.2	18.7	26.2	0.9
	豊小学校区	100	9.0	46.0	6.0	19.0	14.0	49.0	51.0	9.0	29.0	35.0	1.0
	東部小学校区	89	11.2	41.6	13.5	12.4	7.9	50.6	68.5	13.5	16.9	38.2	1.1
	金屋小学校区	80	12.5	40.0	17.5	16.3	15.0	45.0	66.3	7.5	25.0	32.5	1.3
	三蔵子小学校区	130	10.0	47.7	9.2	8.5	13.1	46.2	64.6	6.9	28.5	40.8	1.5
	桜町小学校区	83	12.0	42.2	19.3	7.2	7.2	43.4	63.9	8.4	24.1	39.8	0.0
	代田小学校区	121	12.4	51.2	9.1	20.7	16.5	43.0	56.2	6.6	25.6	35.5	0.0
	中部小学校区	154	16.2	51.3	9.1	12.3	8.4	42.9	51.9	9.7	22.1	34.4	0.6
	牛久保小学校区	112	8.0	48.2	10.7	15.2	11.6	49.1	59.8	13.4	17.0	36.6	1.8
	天王小学校区	66	18.2	47.0	12.1	15.2	10.6	42.4	57.6	13.6	21.2	34.8	0.0
	国府小学校区	193	7.3	42.0	15.5	25.4	11.4	45.6	61.1	6.7	18.1	40.4	1.6
	御油小学校区	138	8.0	44.9	10.9	17.4	6.5	48.6	60.1	10.1	30.4	39.9	2.9
	千両小学校区	29	10.3	44.8	10.3	27.6	3.4	44.8	65.5	3.4	34.5	37.9	0.0
	八南小学校区	168	11.9	53.0	10.7	16.7	15.5	44.6	54.8	8.9	17.9	40.5	0.6
	平尾小学校区	68	5.9	36.8	16.2	16.2	8.8	61.8	57.4	14.7	23.5	42.6	0.0
	一宮東部小学校区	58	8.6	44.8	10.3	15.5	8.6	53.4	53.4	13.8	31.0	41.4	1.7
	一宮西部小学校区	122	9.8	48.4	15.6	23.0	10.7	52.5	54.1	6.6	16.4	40.2	0.8
	一宮南部小学校区	35	14.3	45.7	14.3	17.1	17.1	40.0	60.0	17.1	28.6	31.4	0.0
	赤坂小学校区	69	5.8	50.7	13.0	13.0	7.2	50.7	65.2	11.6	23.2	34.8	1.4
	長沢小学校区	41	4.9	41.5	12.2	12.2	9.8	56.1	58.5	17.1	22.0	41.5	0.0
	萩小学校区	20	5.0	50.0	10.0	15.0	10.0	55.0	60.0	20.0	10.0	45.0	0.0
	御津南部小学校区	130	6.9	39.2	10.0	12.3	8.5	53.8	61.5	11.5	28.5	39.2	0.8
御津北部小学校区	42	11.9	38.1	19.0	16.7	16.7	35.7	47.6	7.1	31.0	47.6	0.0	
小坂井東小学校区	121	9.9	47.1	12.4	18.2	15.7	43.0	62.0	7.4	23.1	38.8	0.8	
小坂井西小学校区	155	14.8	49.0	14.2	18.1	8.4	48.4	63.2	7.1	26.5	29.0	1.9	
「交通安全」の満足度	満足	91	16.5	38.5	19.8	27.5	6.6	38.5	45.1	12.1	33.0	39.6	0.0
	まあ満足	1,314	10.8	45.7	12.6	15.9	12.2	48.2	58.7	10.7	23.0	38.1	0.8
	やや不満	666	11.6	46.5	12.2	17.1	11.1	46.1	60.5	8.7	23.1	39.2	0.9
	不満	198	8.1	55.6	13.6	10.1	8.1	50.5	65.7	8.1	22.7	28.3	1.5
	わからない	287	9.8	48.4	11.8	14.3	8.0	44.6	56.8	9.4	25.8	38.0	2.1
「防犯対策」の満足度	満足	75	22.7	38.7	25.3	17.3	5.3	40.0	38.7	13.3	32.0	40.0	0.0
	まあ満足	1,005	12.0	49.6	14.4	18.7	11.9	44.1	54.2	8.4	22.1	39.2	0.5
	やや不満	722	10.1	46.1	10.5	15.4	11.5	49.6	64.4	11.9	23.8	36.3	1.0
	不満	200	8.0	41.5	11.0	11.5	8.0	54.0	73.5	10.5	27.5	28.5	1.0
	わからない	556	9.4	44.8	11.9	12.8	10.3	47.1	58.1	9.2	24.8	38.8	2.2

全体より10%以上

全体より5%以上

全体より5%以下

全体より10%以下

2 自転車の安全な利用のための心掛け

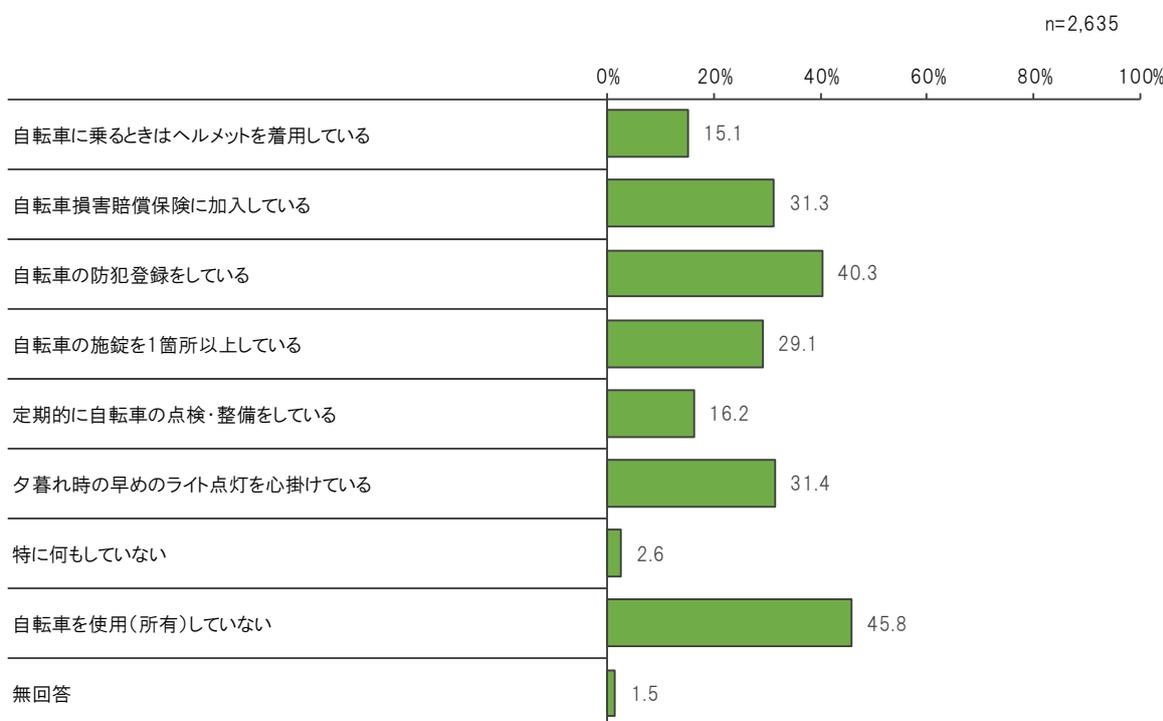
問4 あなたは、自転車の安全な利用について、日ごろからどのようなことを心掛けていますか。
次の中からあてはまるものすべてに○印をつけてください。

◆ 自転車の安全な利用のための心掛けでは、「自転車の防犯登録をしている」が40.3%

自転車の安全な利用のための心掛けでは、「自転車の防犯登録をしている」(40.3%)が最も高く、次いで「夕暮れ時の早めのライト点灯を心掛けている」(31.4%)、「自転車損害賠償保険に加入している」(31.3%)の順となっている。【図表 162】

年齢別で見ると、全体平均と比較して、「自転車損害賠償保険に加入している」、「自転車の防犯登録をしている」、「自転車の施錠を1箇所以上している」「定期的に自転車の点検・整備をしている」「夕暮れ時の早めのライト点灯を心掛けている」では、「10代(18・19歳)」の割合が高くなっている。【図表 163】

図表 162 自転車の安全な利用のための心掛け (全体)



図表 163 自転車の安全な利用のための心掛け（全体・年齢・小学校区別）

(%)

		件数	自転車に乗るときはヘルメットを着用している	自転車損害賠償保険に加入している	自転車の防犯登録をしている	自転車の施錠を1箇所以上している	定期的に自転車の点検・整備をしている	夕暮れ時の早めのライト点灯を心掛けている	特に何もしていない	自転車を使用（所有）していない	無回答
全体		2,635	15.1	31.3	40.3	29.1	16.2	31.4	2.6	45.8	1.5
年齢別	10代(18・19歳)	41	9.8	53.7	63.4	51.2	34.1	51.2	2.4	19.5	0.0
	20代	210	8.6	24.8	31.0	29.0	16.7	33.8	4.8	49.0	0.0
	30代	308	17.5	27.9	36.0	31.5	14.3	30.8	1.6	51.6	0.6
	40代	436	21.6	46.1	51.8	36.9	20.9	35.8	1.8	34.4	0.7
	50代	550	9.3	33.8	44.5	31.3	16.2	32.5	2.2	45.8	1.5
	60代	493	15.2	28.2	37.1	26.0	13.8	27.4	2.6	50.7	1.2
	70歳以上	559	17.0	22.9	34.5	20.6	13.2	28.3	3.4	48.7	2.7
居住小学校区別	豊川小学校区	120	12.5	36.7	41.7	30.0	18.3	32.5	4.2	42.5	0.8
	桜木小学校区	107	14.0	30.8	45.8	29.9	13.1	36.4	0.9	46.7	0.9
	豊小学校区	100	17.0	40.0	43.0	27.0	18.0	30.0	1.0	45.0	1.0
	東部小学校区	89	15.7	24.7	41.6	29.2	16.9	25.8	1.1	41.6	3.4
	金屋小学校区	80	25.0	47.5	51.3	41.3	22.5	43.8	2.5	33.8	1.3
	三蔵子小学校区	130	16.9	30.8	45.4	28.5	16.2	30.0	2.3	46.9	0.8
	桜町小学校区	83	25.3	33.7	49.4	32.5	18.1	42.2	2.4	37.3	0.0
	代田小学校区	121	13.2	38.0	50.4	34.7	14.9	33.9	0.8	40.5	0.0
	中部小学校区	154	16.9	40.3	47.4	33.8	22.7	39.0	1.3	37.0	2.6
	牛久保小学校区	112	14.3	34.8	40.2	25.9	15.2	32.1	4.5	47.3	1.8
	天王小学校区	66	18.2	34.8	47.0	30.3	21.2	30.3	3.0	43.9	0.0
	国府小学校区	193	11.9	23.8	36.8	30.1	15.5	33.7	3.1	44.0	2.6
	御油小学校区	138	13.0	24.6	33.3	23.2	10.1	26.1	0.7	56.5	2.2
	千両小学校区	29	10.3	20.7	37.9	20.7	10.3	20.7	0.0	58.6	0.0
	八南小学校区	168	17.3	33.3	44.0	32.1	16.7	35.7	3.6	42.9	1.2
	平尾小学校区	68	20.6	32.4	42.6	38.2	14.7	32.4	1.5	47.1	0.0
	一宮東部小学校区	58	10.3	15.5	22.4	13.8	12.1	22.4	3.4	67.2	0.0
	一宮西部小学校区	122	12.3	29.5	34.4	25.4	14.8	26.2	4.1	50.8	0.8
	一宮南部小学校区	35	28.6	28.6	37.1	34.3	20.0	22.9	5.7	34.3	2.9
	赤坂小学校区	69	15.9	21.7	24.6	14.5	10.1	23.2	0.0	66.7	1.4
	長沢小学校区	41	22.0	17.1	24.4	19.5	17.1	19.5	7.3	53.7	2.4
	萩小学校区	20	10.0	20.0	30.0	20.0	15.0	25.0	5.0	60.0	0.0
	御津南部小学校区	130	12.3	34.6	40.0	30.8	10.0	28.5	3.1	45.4	1.5
	御津北部小学校区	42	9.5	23.8	35.7	23.8	19.0	28.6	2.4	42.9	2.4
	小坂井東小学校区	121	13.2	33.1	37.2	27.3	14.9	29.8	5.8	48.8	0.8
	小坂井西小学校区	155	12.3	31.0	41.9	33.5	17.4	32.3	1.3	44.5	0.6

全体より10%以上

全体より5%以上

全体より5%以下

全体より10%以下

3 日ごろの地震に備えた対策

問5 あなたのご家庭では、日ごろ地震に備えてどのような対策をしていますか。次の中からあてはまるものすべてに○印をつけてください。

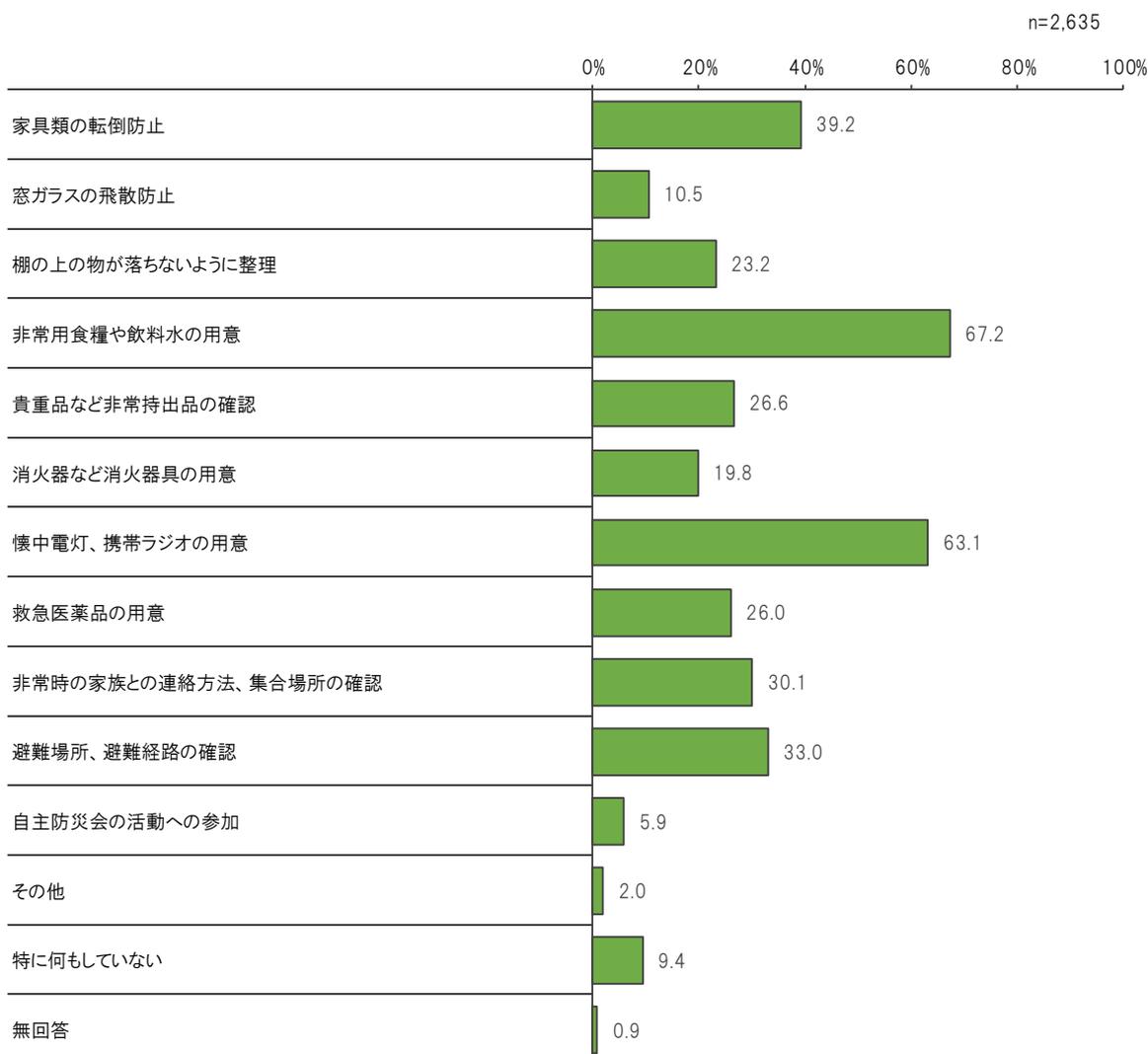
◆ 日ごろの地震に備えた対策は「非常用食糧や飲料水の用意」が67.2%

日ごろの地震に備えた対策は、「非常用食糧や飲料水の用意」(67.2%)が最も高く、次いで「懐中電灯、携帯ラジオの用意」(63.1%)、「家具類の転倒防止」(39.2%)の順となっている。

【図表 164】

年齢別で見ると、全体平均と比較して「懐中電灯、携帯ラジオの用意」(74.4%)は「70歳以上」の割合が高くなっている。また、「棚の上の物が落ちないように整理」(34.1%)、「非常用食糧や飲料水の用意」(78.0%)、「救急医薬品の用意」(41.5%)、「非常時の家族との連絡方法、集合場所の確認」(41.5%)では、「10代(18・19歳)」の割合が高くなっている。【図表 165】

図表 164 日ごろの地震に備えた対策（全体）



図表 165 日ごろの地震に備えた対策（全体・年齢別）

(%)

	件数	家具類の転倒防止	窓ガラスの飛散防止	棚の上の物が落ちないように整理	非常用食糧や飲料水の用意	貴重品など非常持出品の確認	消火器など消火器具の用意	懐中電灯、携帯ラジオの用意	救急医薬品の用意	集合場所の確認	非常時の家族との連絡方法、避難場所、避難経路の確認	自主防災会の活動への参加	その他	特に何もしていない	無回答	
全体	2,635	39.2	10.5	23.2	67.2	26.6	19.8	63.1	26.0	30.1	33.0	5.9	2.0	9.4	0.9	
年齢別	10代(18・19歳)	41	43.9	17.1	34.1	78.0	34.1	12.2	70.7	41.5	41.5	39.0	2.4	0.0	9.8	0.0
	20代	210	29.5	8.1	15.7	65.2	24.3	13.8	40.5	21.4	29.0	33.3	1.0	0.5	11.4	1.0
	30代	308	31.5	9.4	18.5	69.8	30.8	14.6	51.3	30.5	32.8	31.5	2.6	1.0	11.4	0.3
	40代	436	36.2	12.2	19.3	71.8	27.1	14.2	59.9	26.1	36.5	34.2	4.8	3.2	8.0	0.7
	50代	550	40.2	10.0	22.2	68.4	23.5	21.8	65.5	25.1	31.8	33.8	4.9	2.4	10.2	1.3
	60代	493	44.4	12.0	24.5	64.9	22.1	21.9	67.1	24.1	24.3	31.8	7.1	2.6	8.7	0.4
	70歳以上	559	44.0	9.3	30.6	64.0	31.3	25.6	74.4	26.1	26.3	32.2	10.7	1.6	8.2	0.9

全体より10%以上

全体より5%以上

全体より5%以下

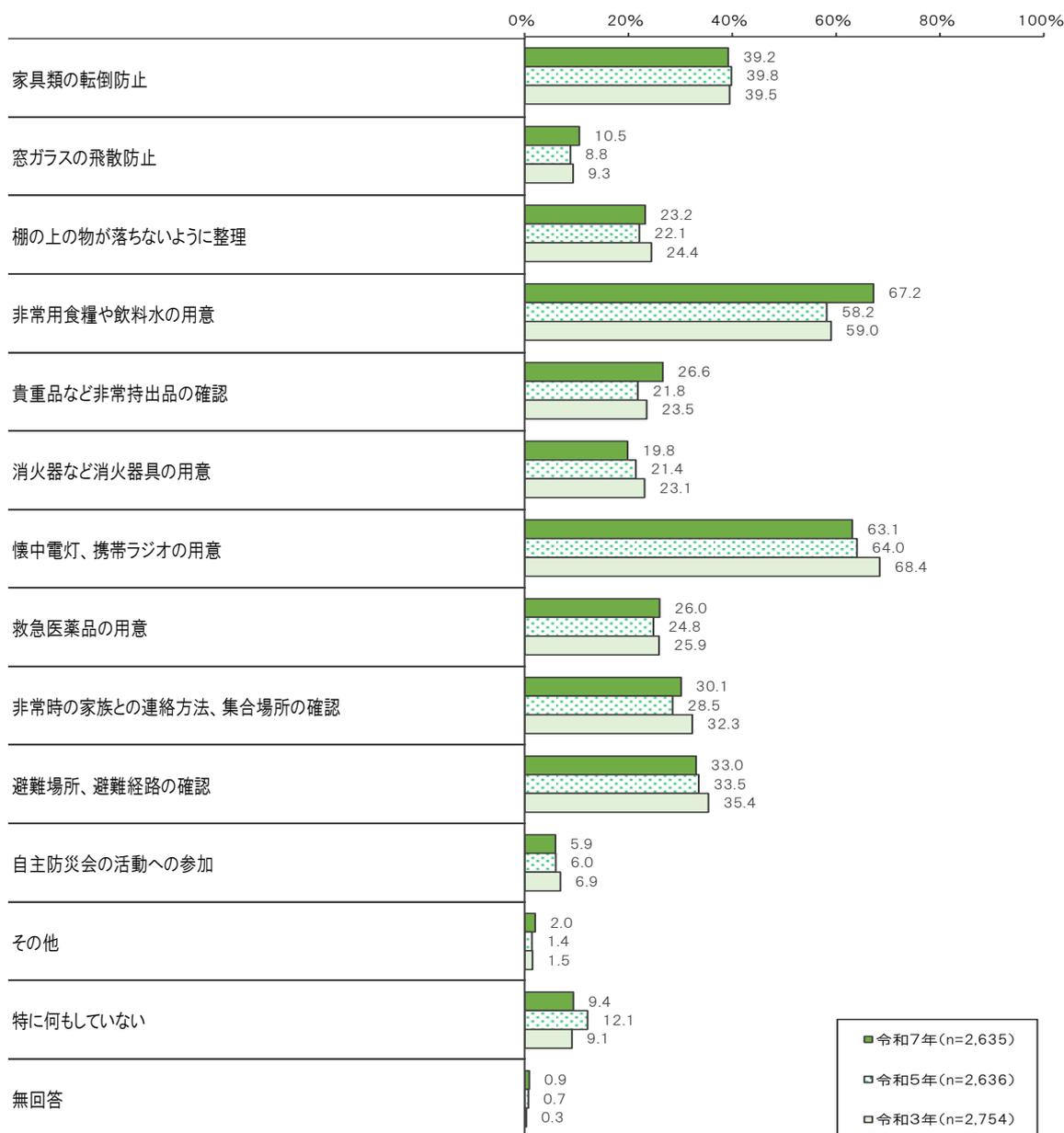
全体より10%以下

◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して増加した項目は、「非常用食糧や飲料水の用意」(9.0ポイント増)、「貴重品など非常持出品の確認」(4.8ポイント増)、「窓ガラスの飛散防止」(1.7ポイント増)などとなっている。一方、前回調査と比較して減少した項目は、「特に何もしていない」(2.7ポイント減)、「消火器など消火器具の用意」(1.6ポイント減)などとなっている。

【図表 166】

図表 166 日ごろの地震に備えた対策（経年比較）



4 防災対策の行政への期待

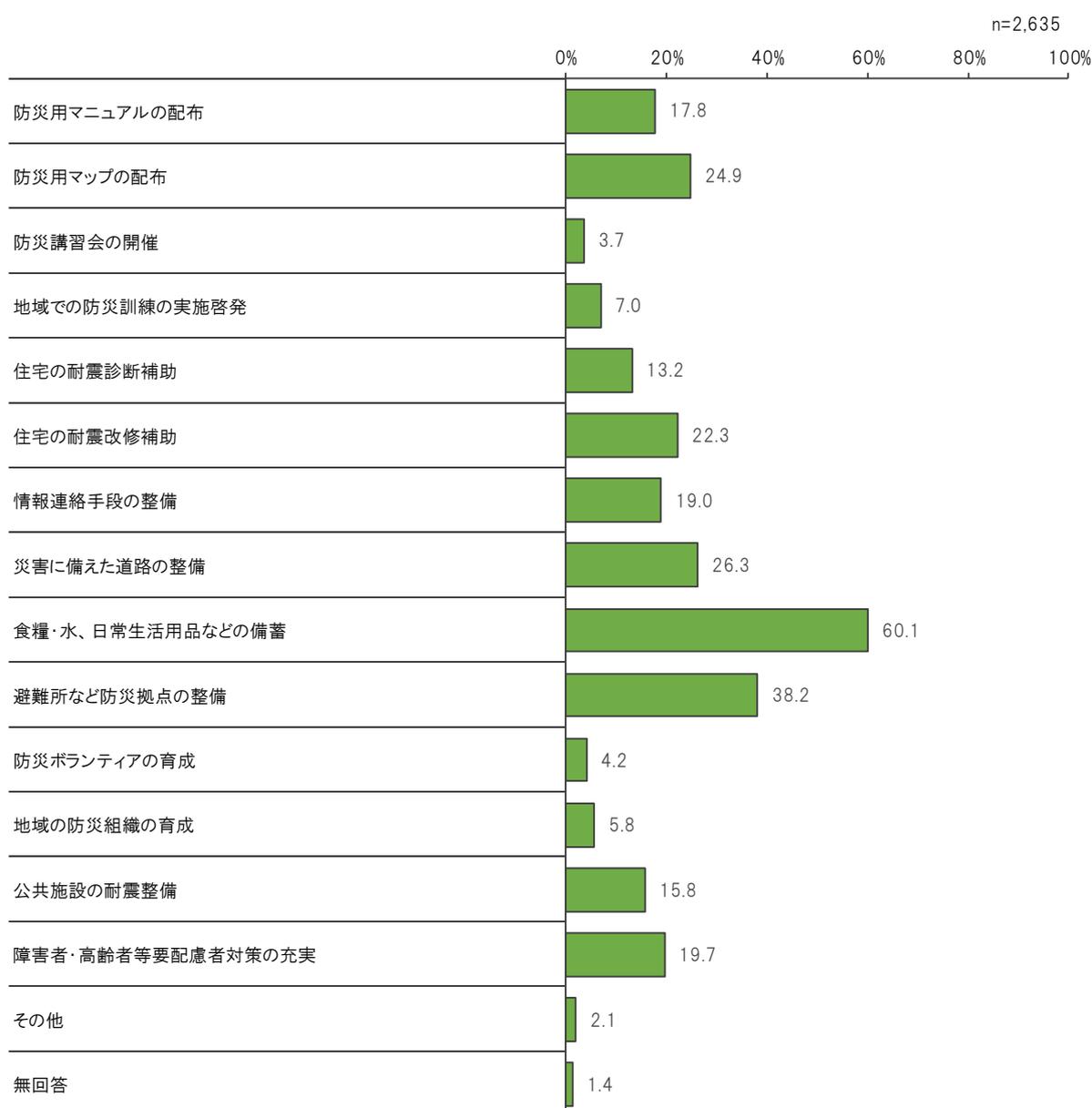
問6 あなたは、防災対策として、行政にどのようなことを期待しますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで○印をつけてください。

◆ 防災対策で行政に期待することは「食糧・水、日常生活用品などの備蓄」が60.1%

防災対策で行政に期待することは、「食糧・水、日常生活用品などの備蓄」(60.1%)が最も高く、次いで「避難所など防災拠点の整備」(38.2%)、「災害に備えた道路の整備」(26.3%)の順となっている。【図表 167】

年齢別で見ると、全体平均と比較して「食糧・水、日常生活用品などの備蓄」では「20代」(73.8%)、「障害者・高齢者等要配慮者対策の充実」は「70歳以上」(30.9%)で割合が高くなっている。【図表 168】

図表 167 防災対策の行政への期待（全体）



図表 168 防災対策の行政への期待（全体・年齢・地震などに対する防災対策の満足度別）

(%)

		件数	防災用マニュアルの配布	防災用マップの配布	防災講習会の開催	地域での防災訓練の実施啓発	住宅の耐震診断補助	住宅の耐震改修補助	情報連絡手段の整備	災害に備えた道路の整備	食糧・水、日常生活用品などの備蓄	避難所など防災拠点の整備	防災ボランティアの育成	地域の防災組織の育成	公共施設の耐震整備	障害者・高齢者等要配慮者対策の充実	その他	無回答
全体		2,635	17.8	24.9	3.7	7.0	13.2	22.3	19.0	26.3	60.1	38.2	4.2	5.8	15.8	19.7	2.1	1.4
年齢別	10代(18・19歳)	41	24.4	29.3	0.0	14.6	19.5	24.4	17.1	17.1	56.1	29.3	0.0	7.3	14.6	19.5	2.4	0.0
	20代	210	23.8	24.8	2.9	3.8	16.7	24.3	13.8	27.6	73.8	36.2	1.9	1.4	19.0	8.1	0.5	0.0
	30代	308	14.9	28.6	3.2	4.2	15.3	22.1	15.3	31.5	67.5	36.0	3.2	6.2	23.4	9.4	1.9	0.6
	40代	436	17.0	22.2	3.4	5.5	11.7	22.0	20.9	30.3	63.1	43.6	3.7	4.8	17.0	10.6	4.1	0.5
	50代	550	18.5	24.5	3.1	5.3	13.3	21.8	20.5	26.5	62.9	37.5	5.3	4.7	13.5	19.8	2.4	1.8
	60代	493	18.3	26.2	4.9	6.3	13.4	26.8	17.8	22.9	50.5	41.2	5.1	7.9	14.6	25.2	2.2	0.8
	70歳以上	559	16.8	24.3	4.5	12.3	11.6	18.4	21.6	23.6	55.3	35.1	4.7	6.6	13.2	30.9	0.5	2.3
「地震などに対する防災対策」の満足度	満足	83	18.1	33.7	3.6	13.3	21.7	24.1	19.3	28.9	50.6	31.3	7.2	8.4	19.3	16.9	0.0	0.0
	まあ満足	963	20.1	25.0	3.5	7.3	12.3	21.4	18.6	25.3	59.4	37.0	5.1	5.4	16.8	19.0	1.8	0.9
	やや不満	623	18.6	24.6	4.8	7.7	13.6	24.1	18.1	27.8	61.6	40.1	3.0	6.6	13.6	20.1	2.2	1.0
	不満	219	17.4	23.3	6.4	8.2	15.1	25.6	21.9	26.0	58.0	42.0	2.7	8.7	14.6	15.5	4.6	1.4
	わからない	675	13.9	24.4	1.8	4.7	12.3	21.0	19.7	26.5	63.7	39.4	3.7	4.0	16.6	20.7	1.6	1.9

全体より10%以上

全体より5%以上

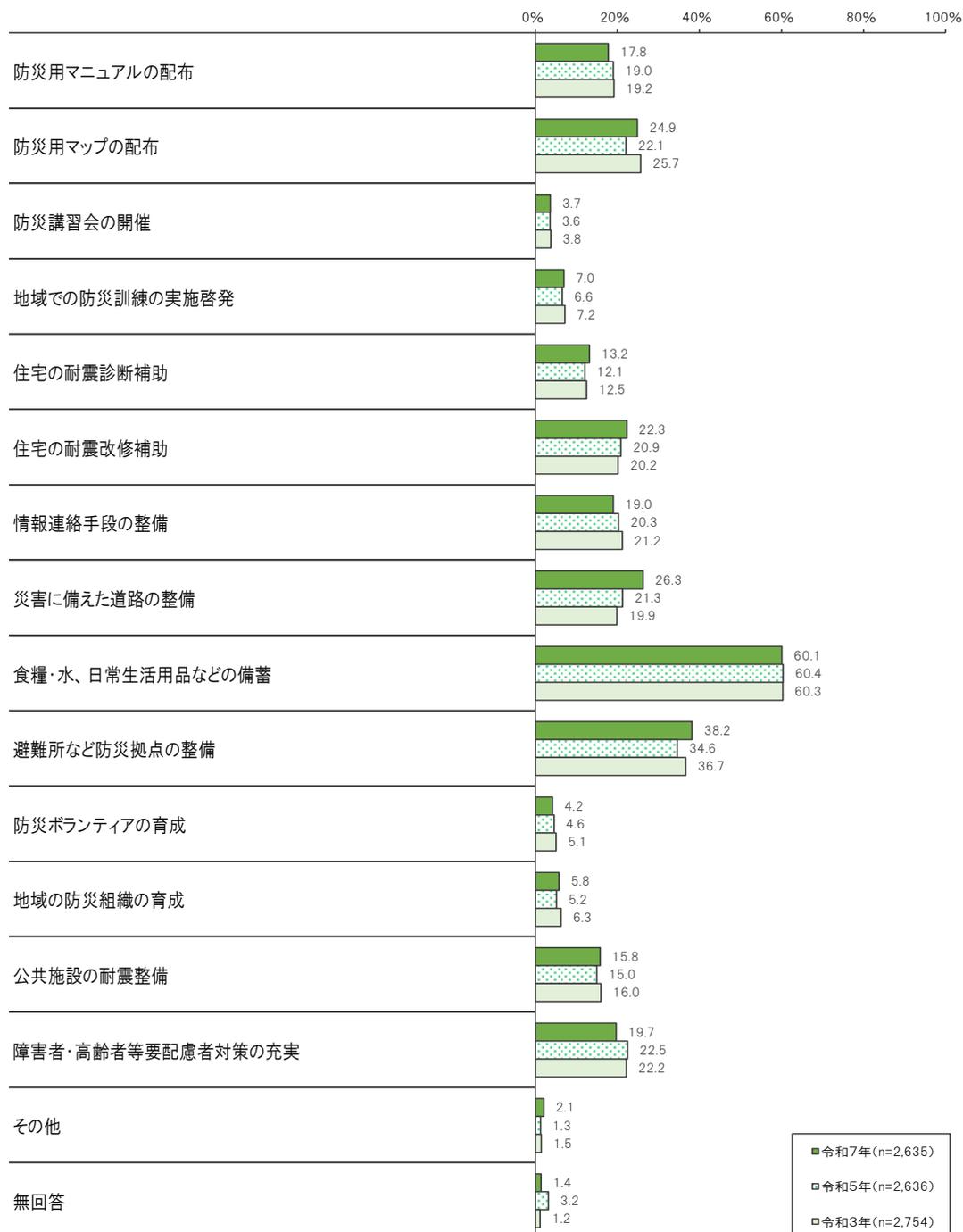
全体より5%以下

全体より10%以下

◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して増加した項目は、「災害に備えた道路の整備」(5.0ポイント増)、「避難所など防災拠点の整備」(3.6ポイント増)などとなっている。一方、前回調査と比較して減少した項目は、「障害者・高齢者等要配慮者対策の充実」(2.8ポイント減)、「情報連絡手段の整備」(1.3ポイント減)などとなっている。【図表 169】

図表 169 防災対策の行政への期待（経年比較）



5 衛生環境の行政への期待

問7 あなたが生活する上での衛生環境について、行政にどのようなことを期待しますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで○印をつけてください。

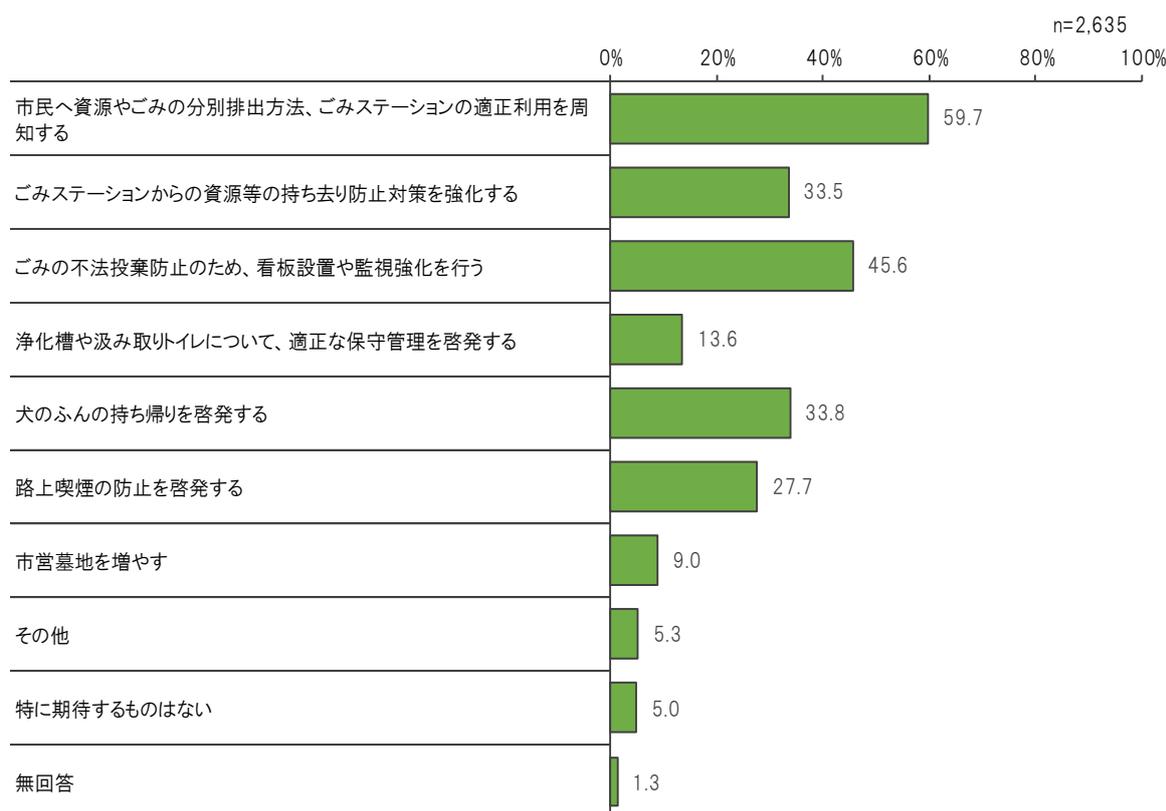
- ◆ 衛生環境で行政に期待することは「市民へ資源やごみの分別排出方法、ごみステーションの適正利用を周知する」が59.7%、「ごみの不法投棄防止のため、看板設置や監視強化を行う」が45.6%

衛生環境で行政に期待することは、「市民へ資源やごみの分別排出方法、ごみステーションの適正利用を周知する」(59.7%)が最も高く、次いで「ごみの不法投棄防止のため、看板設置や監視強化を行う」(45.6%)、「犬のふんの持ち帰りを啓発する」(33.8%)の順となっている。

【図表 170】

年齢別で見ると、全体平均と比較して「路上喫煙の防止を啓発する」では「10代(18・19歳)」(43.9%)、「浄化槽や汲み取りトイレについて、適正な保守管理を啓発する」では「20代」(26.7%)の割合が高くなっている。【図表 171】

図表 170 衛生環境の行政への期待 (全体)



図表 171 衛生環境の行政への期待（全体・年齢・ごみ処理対策の満足度・生活における衛生環境の満足度別）

		(%)										
		件数	市民へ資源やごみの分別排出方法を周知する	ごみステーションからの資源等の持ち去り防止対策を強化する	ごみの不法投棄防止のため、看板設置や監視強化を行う	浄化槽や汲み取りトイレについて、適正な保守管理を啓発する	犬のふんの持ち帰りを啓発する	路上喫煙の防止を啓発する	市営墓地を増やす	その他	特に期待するものはない	無回答
全体		2,635	59.7	33.5	45.6	13.6	33.8	27.7	9.0	5.3	5.0	1.3
年齢別	10代(18・19歳)	41	43.9	29.3	51.2	19.5	39.0	43.9	4.9	4.9	0.0	0.0
	20代	210	51.4	28.1	39.5	26.7	29.0	35.2	6.7	1.0	8.6	0.5
	30代	308	55.2	32.1	35.1	18.5	28.6	36.4	4.9	6.2	8.4	0.6
	40代	436	59.6	37.2	43.6	14.0	29.8	27.8	9.6	5.5	4.1	0.7
	50代	550	58.2	33.6	42.7	12.4	33.3	26.4	12.2	7.1	4.7	1.1
	60代	493	65.3	33.7	51.9	10.5	32.9	23.1	8.1	4.7	4.1	1.2
	70歳以上	559	62.4	33.8	51.5	9.3	42.0	25.2	9.8	4.7	4.1	1.8
「ごみ処理対策」の満足度	満足	590	53.6	34.4	44.2	15.4	30.8	29.2	10.7	5.4	6.6	0.8
	まあ満足	1,397	60.8	32.4	45.9	13.2	34.4	28.2	8.4	4.2	4.6	1.1
	やや不満	328	67.7	37.2	49.4	14.3	36.3	24.7	7.9	7.6	3.4	1.2
	不満	95	70.5	37.9	41.1	12.6	34.7	28.4	11.6	15.8	0.0	3.2
	わからない	167	50.3	28.7	39.5	12.6	33.5	26.9	7.2	3.6	7.8	1.8
「生活における衛生環境」の満足度	満足	355	58.9	33.8	42.3	17.5	29.0	28.7	10.4	4.5	7.0	1.1
	まあ満足	1,558	61.3	32.5	47.1	12.9	33.8	28.8	9.9	4.5	4.1	0.9
	やや不満	278	64.4	37.1	46.4	16.5	37.8	27.7	6.1	8.6	3.2	0.7
	不満	52	53.8	38.5	36.5	17.3	34.6	26.9	7.7	21.2	5.8	0.0
	わからない	316	50.0	33.2	40.8	11.1	34.8	24.1	5.4	4.4	8.2	2.2

全体より10%以上

全体より5%以上

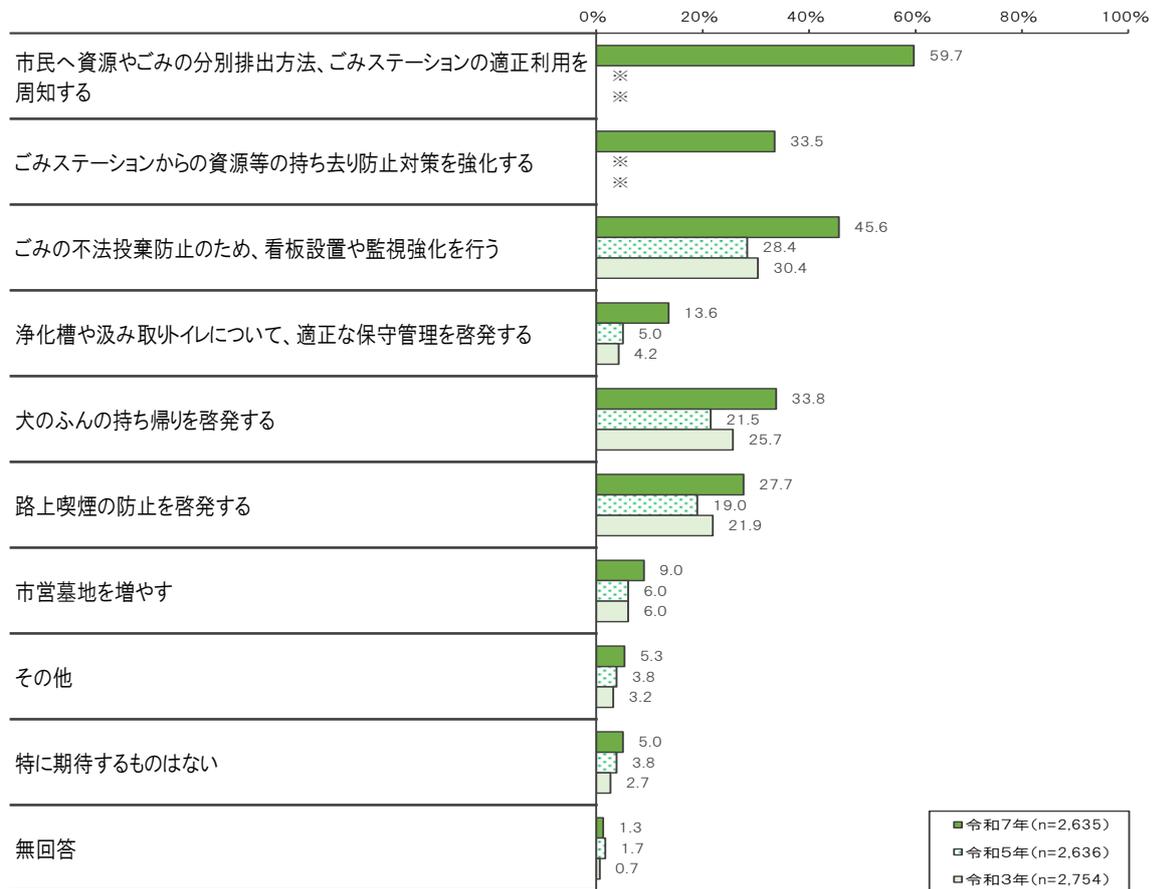
全体より5%以下

全体より10%以下

◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して増加した項目は、「ごみの不法投棄防止のため、看板設置や監視強化を行う」(17.2ポイント増)、「犬のふんの持ち帰りを啓発する」(12.3ポイント増)などとなっている。【図表 172】

図表 172 衛生環境の行政への期待 (経年比較)



※調査項目に含まれず

6 地球温暖化対策の取り組み

問8 あなたは、温室効果ガス（主に二酸化炭素）排出量ゼロに近づけるために、日ごろからどのようなことに取り組んでいますか。次の中からあてはまるものすべてに○印をつけてください。

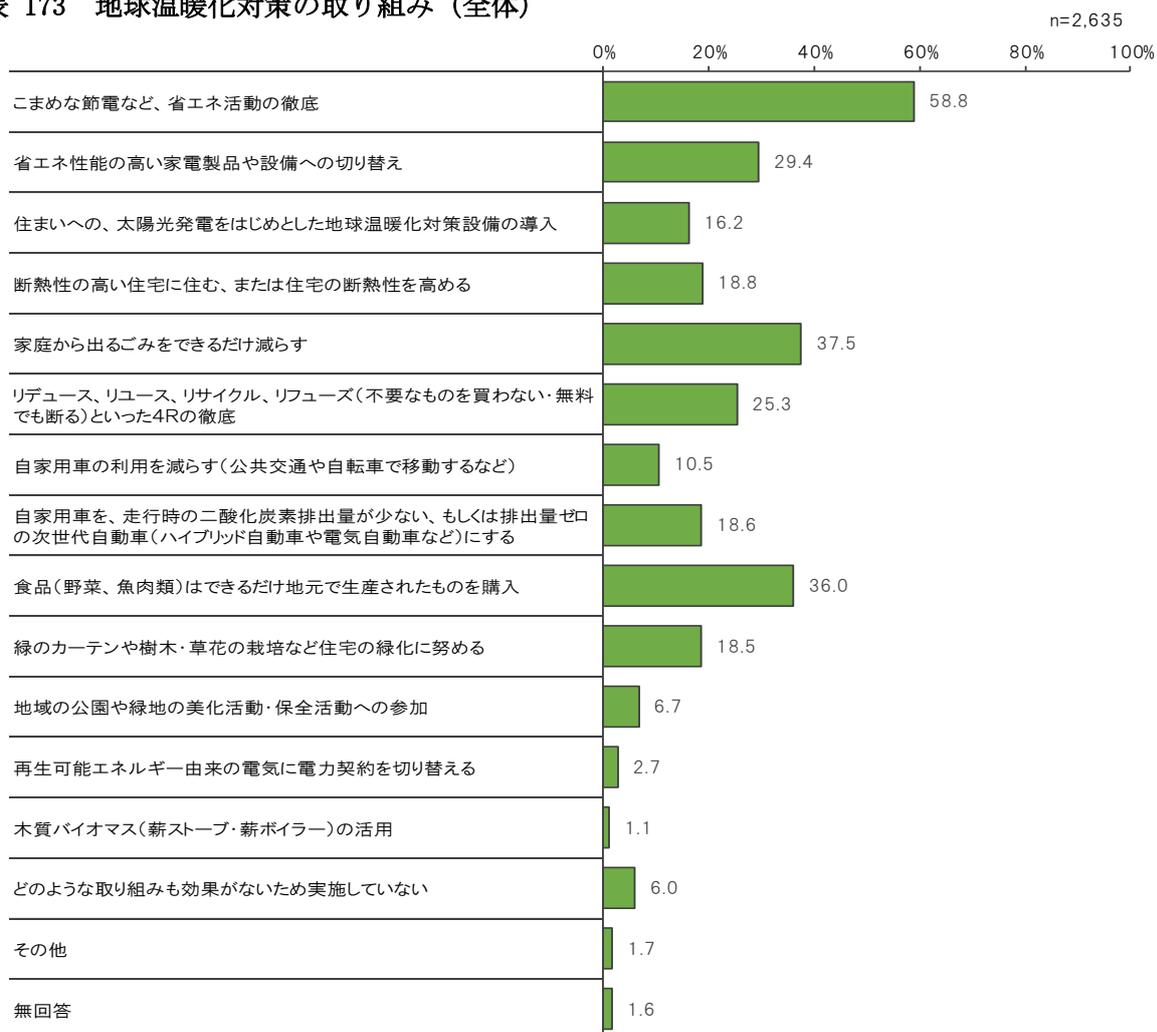
◆ 温室効果ガス（主に二酸化炭素）排出量ゼロに近づけるために、日ごろから取り組んでいることは「こまめな節電など、省エネ活動の徹底」が58.8%

温室効果ガス排出量削減のために日ごろ生活の中で心掛けていることは、「こまめな節電など、省エネ活動の徹底」（58.8%）が最も高く、次いで「家庭から出るごみをできるだけ減らす」（37.5%）、「食品（野菜、魚肉類）はできるだけ地元で生産されたものを購入」（36.0%）の順となっている。【図表 173】

性別でみると、「食品（野菜、魚肉類）はできるだけ地元で生産されたものを購入」では「女性」（43.6%）が「男性」（27.4%）を16.2ポイント上回っている。【図表 174】

年齢別でみると、「70歳以上」で全体平均よりも割合が高い項目が多く、意識が高くなっている。特に「家庭から出るごみをできるだけ減らす」（56.9%）、「食品（野菜、魚肉類）はできるだけ地元で生産されたものを購入」（54.4%）、「緑のカーテンや樹木・草花の栽培など住宅の緑化に努める」（31.8%）で、全体平均よりも10%以上割合が高くなっている。【図表 174】

図表 173 地球温暖化対策の取り組み（全体）



図表 174 地球温暖化対策の取り組み（全体・性別・年齢別）

		(%)																	
		件数	こまめな節電など、省エネ活動の徹底	省エネ性能の高い家電製品や設備への切り替え	住まいへの、太陽光発電をはじめとした地球温暖化対策設備の導入	断熱性の高い住宅に住む、または住宅の断熱性を高める	家庭から出るごみをできるだけ減らす	リデュース、リユース、リサイクル、リフューズ（不要なものを買わない・無料でも断る）といった4Rの徹底	自家用車の利用を減らす（公共交通や自転車移動するなど）	次世代自動車（ハイブリッド自動車や電気自動車など）にする	自家用車を、走行時の二酸化炭素排出量が少ない、もしくは排出量ゼロの	食品（野菜、魚肉類）はできるだけ地元で生産されたものを購入	緑のカーテンや樹木・草花の栽培など住宅の緑化に努める	地域の公園や緑地の美化活動・保全活動への参加	再生可能エネルギー由来の電気に電力契約を切り替える	木質バイオマス（薪ストーブ・薪ボイラー）の活用	どのような取り組みも効果がないため実施していない	その他	無回答
全 体		2,635	58.8	29.4	16.2	18.8	37.5	25.3	10.5	18.6	36.0	18.5	6.7	2.7	1.1	6.0	1.7	1.6	
性別	男性	1,096	58.4	29.1	15.4	20.0	31.8	22.4	13.4	22.3	27.4	17.4	7.0	3.3	1.6	6.8	2.9	1.6	
	女性	1,390	60.5	29.9	16.5	17.8	42.4	28.3	8.6	16.2	43.6	19.4	6.6	2.2	0.7	5.0	0.7	1.3	
年齢別	10代(18・19歳)	41	53.7	9.8	22.0	14.6	34.1	22.0	19.5	14.6	22.0	12.2	4.9	0.0	0.0	9.8	0.0	2.4	
	20代	210	52.4	12.9	18.1	16.7	21.9	24.8	8.6	12.9	19.0	5.7	3.3	1.4	1.4	14.3	1.9	1.4	
	30代	308	56.8	25.3	22.1	25.3	21.4	22.4	10.1	14.0	21.8	8.4	2.9	1.9	1.9	10.4	1.6	0.6	
	40代	436	57.3	27.5	26.4	27.1	26.6	26.1	11.5	17.2	25.2	12.4	5.7	3.2	1.6	5.7	2.3	1.1	
	50代	550	59.1	34.4	17.3	19.5	34.7	25.3	10.4	18.7	36.2	16.4	4.9	2.7	0.9	6.5	2.4	1.5	
	60代	493	64.5	35.3	11.8	15.2	44.4	24.7	10.3	24.5	41.6	22.1	5.7	2.8	0.4	3.4	1.8	0.8	
	70歳以上	559	59.2	31.1	7.0	13.1	56.9	27.2	10.6	19.9	54.4	31.8	13.2	3.0	0.9	2.3	0.5	2.3	

全体より10%以上

全体より5%以上

全体より5%以下

全体より10%以下

4 子ども・若者について

1 子どもや若者支援のために行政が取り組むべきこと

問9 あなたは、子どもや若者の施策について、行政が今後どのようなことに取り組むべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで○印をつけてください。

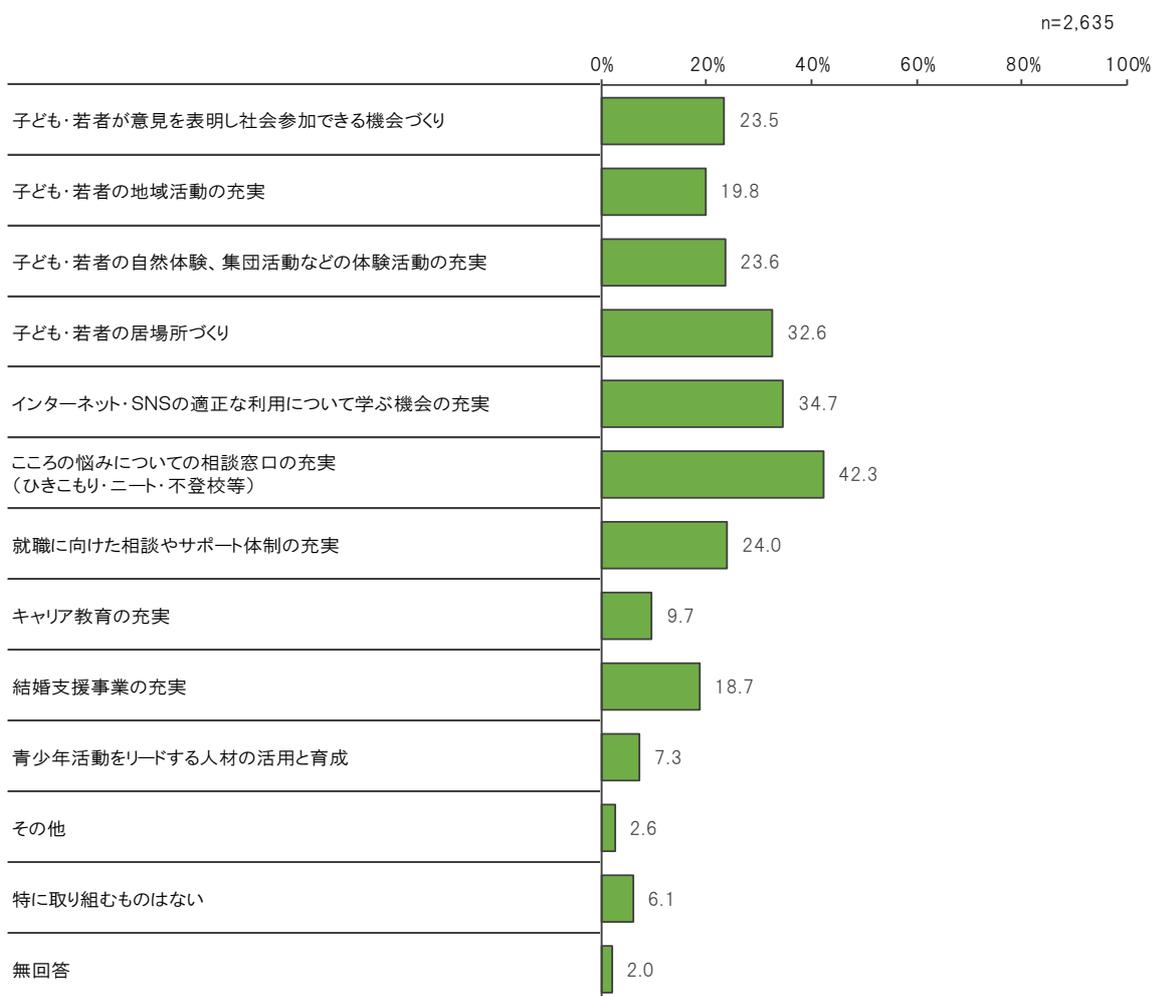
◆ 子どもや若者支援のために行政が取り組むべきことは「こころの悩みについての相談窓口の充実」が42.3%

子どもや若者支援のために行政が取り組むべきことは、「こころの悩みについての相談窓口の充実（ひきこもり・ニート・不登校等）」（42.3%）が最も高く、次いで「インターネット・SNSの適切な利用について学ぶ機会の充実」（34.7%）、「子ども・若者の居場所づくり」（32.6%）の順となっている。【図表 175】

性別でみると、「結婚支援事業の充実」では、「男性」（25.3%）が「女性」（13.8%）を10ポイント以上上回っている。【図表 176】

年齢別でみると、全体平均と比較して、男性は「子ども・若者が意見を表明し社会参加できる機会づくり」で「10代（18・19歳）」（52.9%）、女性は「こころの悩みについての相談窓口の充実（ひきこもり・ニート・不登校等）」で「60代」（54.1%）の割合が高くなっている。【図表 176】

図表 175 子どもや若者支援のために行政が取り組むべきこと（全体）



図表 176 子どもや若者支援のために行政が取り組むべきこと

(全体・性別・年齢・小学校区・青少年の育成・支援の満足度・若者への支援の満足度別)

		件数	子ども・若者が意見を表明し社会参加できる機会づくり	子ども・若者の地域活動の充実	子ども・若者の自然体験、集団活動などの体験活動の充実	子ども・若者の居場所づくり	インターネット・SNSの適正な利用について学ぶ機会の充実	このころの悩みについての相談窓口(ひきこもり・ニート・不登校等)	就職に向けた相談やサポート体制の充実	キャリア教育の充実	結婚支援事業の充実	青少年活動をリードする人材の活用	その他	特に取り組むものはない	無回答	
全体		2,635	23.5	19.8	23.6	32.6	34.7	42.3	24.0	9.7	18.7	7.3	2.6	6.1	2.0	
性別	男性	1,096	25.4	22.3	23.2	32.2	29.7	39.5	23.7	11.6	25.3	8.5	2.5	5.7	1.1	
	女性	1,390	22.5	18.5	24.3	33.4	38.8	44.9	24.4	8.3	13.8	6.3	2.4	6.3	2.3	
年齢別	男性	10代(18・19歳)	17	52.9	17.6	11.8	35.3	41.2	23.5	29.4	17.6	11.8	0.0	0.0	0.0	
		20代	98	29.6	21.4	22.4	31.6	30.6	32.7	31.6	22.4	35.7	4.1	1.0	4.1	0.0
		30代	148	25.0	23.6	25.0	41.2	33.8	32.4	25.7	14.9	23.6	3.4	2.7	6.1	0.0
		40代	168	25.0	19.6	20.2	33.3	27.4	35.1	28.0	18.5	27.4	10.1	4.2	3.6	1.2
		50代	229	23.1	21.4	21.4	23.1	26.6	43.2	24.5	10.0	23.1	9.6	3.1	8.3	0.4
		60代	220	24.1	18.6	21.4	39.1	26.8	49.1	21.8	7.3	25.0	9.1	0.9	4.5	0.5
		70歳以上	214	25.7	29.0	29.4	28.0	34.1	38.8	16.4	4.7	23.8	10.7	2.8	6.1	3.7
	女性	10代(18・19歳)	22	22.7	27.3	4.5	40.9	22.7	40.9	40.9	22.7	13.6	4.5	0.0	4.5	0.0
		20代	103	32.0	16.5	15.5	28.2	43.7	34.0	32.0	15.5	14.6	1.0	0.0	6.8	1.9
		30代	144	27.1	13.2	35.4	33.3	45.8	35.4	25.0	13.2	10.4	3.5	4.2	5.6	0.0
		40代	248	20.6	21.0	29.8	38.7	37.5	40.7	29.0	13.7	8.1	8.1	3.6	2.8	1.2
		50代	292	18.5	15.8	17.8	30.5	34.9	47.9	31.8	8.6	15.1	3.8	3.1	6.2	2.4
		60代	246	20.3	14.2	21.5	37.8	49.2	54.1	18.3	4.1	20.3	6.9	1.2	4.9	0.8
		70歳以上	334	24.3	24.6	27.2	29.9	32.0	46.4	15.3	1.8	13.5	9.6	2.1	9.9	5.4
居住小学校区別	豊川小学校区	120	28.3	17.5	29.2	30.0	32.5	41.7	29.2	10.8	18.3	8.3	2.5	4.2	4.2	
	桜木小学校区	107	26.2	18.7	32.7	35.5	33.6	42.1	22.4	8.4	19.6	7.5	3.7	3.7	0.9	
	豊小学校区	100	27.0	27.0	18.0	37.0	38.0	31.0	21.0	5.0	19.0	6.0	5.0	8.0	1.0	
	東部小学校区	89	23.6	22.5	23.6	33.7	36.0	47.2	23.6	5.6	16.9	3.4	0.0	7.9	2.2	
	金屋小学校区	80	28.8	20.0	31.3	35.0	35.0	42.5	21.3	10.0	16.3	3.8	2.5	5.0	2.5	
	三蔵子小学校区	130	23.8	16.2	20.0	28.5	33.1	34.6	26.9	10.0	14.6	5.4	5.4	10.8	3.1	
	接町小学校区	83	25.3	14.5	22.9	38.6	32.5	42.2	27.7	13.3	20.5	7.2	2.4	3.6	1.2	
	代田小学校区	121	24.0	18.2	30.6	32.2	30.6	41.3	24.8	10.7	16.5	8.3	1.7	5.8	1.7	
	中部小学校区	154	26.0	18.8	18.2	30.5	36.4	39.6	28.6	11.0	19.5	4.5	3.2	5.2	2.6	
	牛久保小学校区	112	21.4	16.1	23.2	29.5	37.5	41.1	21.4	8.9	17.0	4.5	0.9	12.5	0.0	
	天王小学校区	66	12.1	10.6	30.3	25.8	33.3	43.9	25.8	1.5	24.2	13.6	1.5	13.6	3.0	
	国府小学校区	193	22.3	21.8	23.3	33.7	38.3	47.2	18.1	9.8	16.6	8.3	1.0	4.7	0.5	
	御油小学校区	138	21.7	21.7	12.3	32.6	40.6	44.9	30.4	9.4	15.9	10.1	1.4	6.5	1.4	
	千両小学校区	29	48.3	24.1	17.2	27.6	24.1	44.8	20.7	3.4	17.2	3.4	3.4	6.9	3.4	
	八南小学校区	168	19.0	18.5	24.4	32.1	36.3	44.0	20.8	10.1	18.5	8.3	1.8	4.2	3.6	
	平尾小学校区	68	29.4	16.2	25.0	33.8	29.4	41.2	20.6	14.7	19.1	10.3	8.8	7.4	0.0	
	一宮東部小学校区	58	15.5	25.9	25.9	27.6	43.1	37.9	17.2	10.3	29.3	10.3	1.7	5.2	1.7	
	一宮西部小学校区	122	18.9	15.6	23.0	32.8	31.1	50.8	27.9	9.8	22.1	6.6	3.3	4.9	1.6	
	一宮南部小学校区	35	22.9	31.4	40.0	25.7	31.4	31.4	28.6	17.1	5.7	8.6	0.0	5.7	2.9	
	赤坂小学校区	69	17.4	18.8	24.6	31.9	42.0	50.7	29.0	4.3	15.9	7.2	1.4	5.8	1.4	
	長沢小学校区	41	29.3	24.4	36.6	34.1	22.0	26.8	36.6	14.6	19.5	19.5	0.0	7.3	0.0	
	萩小学校区	20	15.0	25.0	5.0	35.0	40.0	35.0	30.0	10.0	30.0	5.0	0.0	10.0	0.0	
	御津南部小学校区	130	24.6	18.5	24.6	32.3	33.1	42.3	22.3	16.2	20.8	8.5	1.5	2.3	2.3	
	御津北部小学校区	42	26.2	23.8	16.7	31.0	33.3	54.8	21.4	4.8	11.9	4.8	4.8	7.1	2.4	
	小坂井東小学校区	121	23.1	25.6	24.8	40.5	38.0	40.5	23.1	10.7	19.8	6.6	2.5	2.5	0.8	
	小坂井西小学校区	155	22.6	21.9	21.3	31.0	32.3	49.0	20.0	7.1	23.9	5.2	1.9	7.7	0.6	
「青少年の育成・支援」の満足度	満足	111	31.5	18.0	26.1	27.0	35.1	38.7	27.9	12.6	21.6	2.7	3.6	5.4	0.9	
	まあ満足	897	25.1	22.2	24.2	34.1	36.8	42.9	24.2	10.5	19.2	8.0	1.6	5.0	1.3	
	やや不満	436	24.3	20.2	25.5	35.8	31.2	42.0	25.5	10.6	24.8	8.5	2.5	3.7	1.4	
	不満	131	31.3	20.6	30.5	29.0	24.4	29.8	28.2	19.8	23.7	8.4	11.5	2.3	1.5	
	わからない	984	19.6	17.3	21.1	31.8	37.0	44.4	22.4	7.3	15.2	6.3	2.3	8.7	1.9	
「若者への支援」の満足度	満足	93	26.9	21.5	23.7	30.1	32.3	37.6	29.0	14.0	25.8	3.2	3.2	5.4	1.1	
	まあ満足	756	26.6	20.8	24.7	33.2	36.8	42.6	24.6	9.9	19.2	6.3	1.6	4.9	1.6	
	やや不満	466	23.6	20.4	22.7	33.5	32.2	42.5	27.5	12.0	24.2	9.0	2.1	4.1	1.3	
	不満	167	31.1	19.2	26.9	33.5	29.9	31.7	28.1	18.0	21.6	6.0	9.6	3.6	1.2	
	わからない	1,072	19.8	18.6	22.4	32.8	36.3	44.4	21.2	7.4	15.4	7.7	2.4	8.3	1.8	

全体より10%以上

全体より5%以上

全体より5%以下

全体より10%以下

2 子育て環境の充実のために行政が取り組むべきこと

問 10 あなたは、子どもを生み、育てる環境を充実させるために、行政が今後どのようなことに取り組むべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで○印をつけてください。

◆ 子どもを生み、育てる環境を充実させるために行政が取り組むべきことは「子育てに掛かる費用負担を減らす」が53.9%

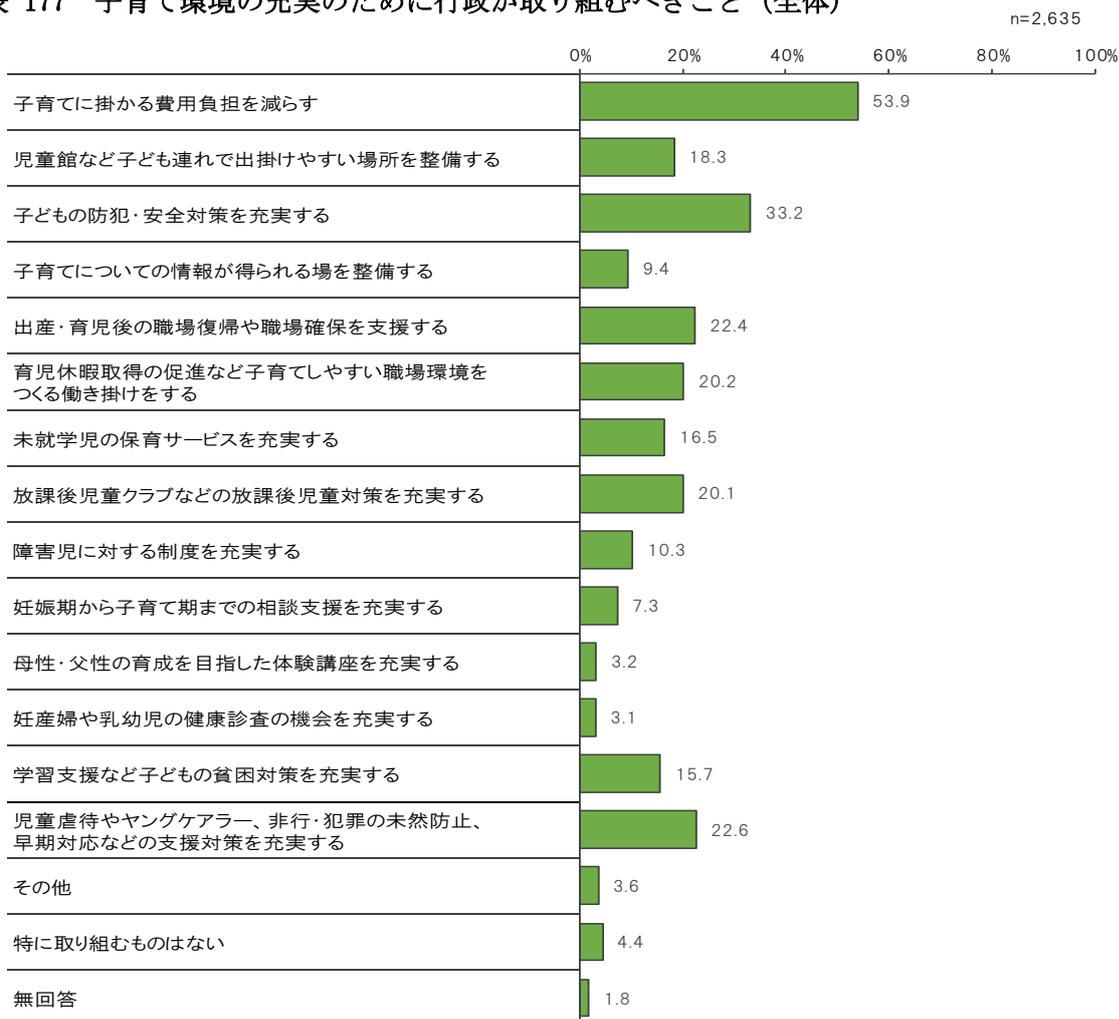
子どもを生み、育てる環境を充実させるために行政が取り組むべきことは、「子育てに掛かる費用負担を減らす」(53.9%)が最も高く、次いで「子どもの防犯・安全対策を充実する」(33.2%)、「児童虐待やヤングケアラー、非行・犯罪の未然防止、早期対応などの支援対策を充実する」(22.6%)の順となっている。【図表 177】

性別でみると、「子育てに掛かる費用負担を減らす」では、「男性」(60.9%)が「女性」(49.5%)を10ポイント以上上回っている。【図表 178】

年齢別でみると、全体平均と比較して、「子育てに掛かる費用負担を減らす」では、「20代」(75.7%)、「30代」(73.7%)、「40代」(66.5%)の割合が高くなっている。【図表 178】

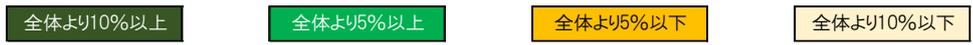
職業別でみると、全体平均と比較して「子育てに掛かる費用負担を減らす」では「事務系勤労者」(65.3%)と「労働系勤労者」(64.2%)、「出産・育児後の職場復帰や職場確保を支援する」では「学生」(34.5%)の割合が高くなっている。【図表 178】

図表 177 子育て環境の充実のために行政が取り組むべきこと (全体)



図表 178 子育て環境の充実のために行政が取り組むべきこと
(全体・性別・年齢・職業・子どもを生子、育てる環境の満足度別)

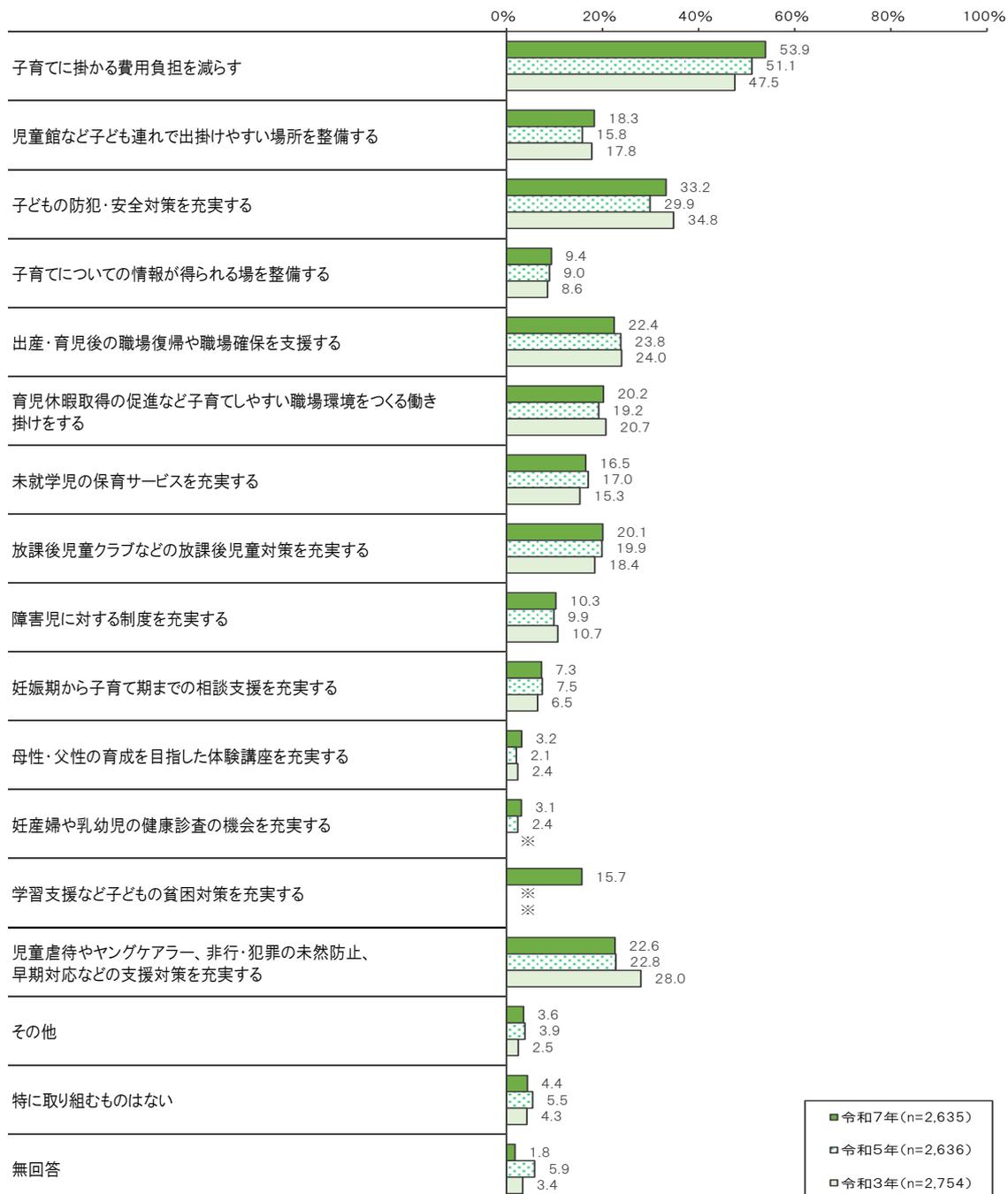
		件数	子育てに掛かる費用負担を減らす	児童館など子ども連れで出掛けやすい場所を整備する	子どもの防犯・安全対策を充実する	子育てについての情報が得られる場を整備する	出産・育児後の職場復帰や職場確保を支援する	育児休暇取得の促進など子育てしやすい職場環境をつくる働き掛けをする	未就学児の保育サービスを充実する	放課後児童クラブなどの放課後児童対策を充実する	障害児に対する制度を充実する	妊娠期から子育て期までの相談支援を充実する	母性・父性の育成を目指した体験講座を充実する	妊産婦や乳幼児の健康診査の機会を充実する	学習支援など子どもの貧困対策を充実する	未然防止、早期対応などの支援対策を充実する	児童虐待やヤングケアラー、非行・犯罪の未然防止	その他	特に取り組むものはない	無回答
全体		2,635	53.9	18.3	33.2	9.4	22.4	20.2	16.5	20.1	10.3	7.3	3.2	3.1	15.7	22.6	3.6	4.4	1.8	
性別	男性	1,096	60.9	18.5	34.8	9.9	22.7	17.6	15.9	18.0	10.2	7.9	3.4	3.8	17.5	19.2	3.5	5.0	0.9	
	女性	1,390	49.5	17.9	32.6	9.4	22.2	22.2	17.0	22.2	10.1	6.8	3.0	2.7	14.5	25.1	3.5	3.7	2.2	
年齢別	10代(18・19歳)	41	46.3	22.0	36.6	12.2	26.8	24.4	14.6	7.3	9.8	4.9	7.3	2.4	14.6	26.8	2.4	2.4	0.0	
	20代	210	75.7	14.8	36.7	8.6	27.1	27.1	14.8	11.4	9.0	11.9	3.3	4.3	8.1	14.3	1.9	2.9	1.0	
	30代	308	73.7	17.2	34.4	7.1	24.7	18.8	18.5	18.5	10.4	7.1	4.2	4.9	10.7	16.6	5.2	4.5	0.0	
	40代	436	66.5	16.3	36.5	7.6	18.6	18.1	16.3	20.6	10.1	5.5	2.3	2.1	16.1	19.0	6.2	2.3	0.7	
	50代	550	49.5	16.9	31.3	9.6	21.3	17.8	19.1	21.8	10.7	6.7	2.7	1.6	16.0	24.4	5.1	4.9	0.7	
	60代	493	47.9	21.1	29.6	14.0	23.7	21.1	17.0	22.7	9.5	7.9	3.2	2.2	16.8	25.4	1.8	4.7	0.6	
	70歳以上	559	37.0	20.4	34.0	8.2	22.2	21.1	13.6	21.1	11.1	7.3	3.0	4.5	19.5	27.2	1.8	5.4	5.4	
職業別	事務系勤労者	392	65.3	18.6	33.9	8.7	21.9	18.4	19.4	22.2	8.9	7.7	3.6	1.8	13.5	19.1	4.1	3.1	0.3	
	労働系勤労者	452	64.2	15.5	31.6	7.3	24.1	19.7	16.4	19.7	10.8	6.4	3.3	3.8	15.9	19.0	3.3	6.4	1.1	
	管理職・会社経営	170	57.6	20.6	34.7	9.4	23.5	12.4	20.6	19.4	8.8	7.1	4.7	2.9	12.9	19.4	5.3	2.9	0.6	
	商店・サービス業の個人経営	73	50.7	16.4	26.0	11.0	16.4	15.1	15.1	21.9	11.0	5.5	5.5	1.4	23.3	21.9	2.7	4.1	2.7	
	自由業	34	50.0	26.5	23.5	11.8	20.6	26.5	20.6	23.5	5.9	14.7	2.9	5.9	20.6	23.5	2.9	2.9	0.0	
	農林水産業	52	40.4	21.2	21.2	15.4	21.2	17.3	11.5	15.4	11.5	11.5	0.0	7.7	7.7	23.1	3.8	11.5	3.8	
	主婦(夫)	292	42.5	21.9	33.6	9.6	24.3	19.5	17.5	20.5	10.6	8.2	4.1	3.8	16.8	28.1	4.5	2.1	3.1	
	パートタイマー・アルバイト	504	52.8	16.5	34.1	10.3	21.6	22.8	16.9	21.6	9.5	7.1	1.8	1.8	16.5	24.2	4.0	3.8	0.8	
	学生	58	53.4	15.5	32.8	15.5	34.5	25.9	17.2	6.9	8.6	8.6	5.2	1.7	10.3	22.4	3.4	1.7	0.0	
	無職	422	44.3	19.7	35.3	10.2	19.0	20.4	11.6	18.5	12.6	6.6	2.1	3.8	18.5	25.4	1.9	5.5	4.0	
	その他	144	55.6	16.7	36.8	7.6	25.0	26.4	18.1	21.5	10.4	6.9	4.2	4.2	11.1	22.2	4.2	4.9	0.7	
「子どもを生子、育てる環境」の満足度	満足	227	54.6	19.4	37.4	9.3	26.4	20.7	15.4	20.3	10.1	10.6	4.8	4.0	15.0	21.6	2.2	1.8	2.2	
	まあ満足	1,115	55.7	20.2	36.7	9.3	22.2	20.7	17.0	22.1	11.4	7.1	3.2	3.6	16.9	23.1	2.5	2.1	0.9	
	やや不満	379	66.5	20.3	33.0	8.4	25.9	21.9	16.4	18.5	8.7	7.1	2.1	2.9	18.2	22.2	4.7	2.1	0.0	
	不満	162	65.4	15.4	31.5	6.8	25.9	25.9	23.5	18.5	11.1	8.0	3.1	0.6	11.1	17.3	11.1	1.2	0.6	
	わからない	680	42.5	14.7	27.1	11.3	19.4	16.8	15.3	18.4	9.1	6.8	3.4	2.4	14.7	24.6	3.5	10.6	2.2	



◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して増加した項目は、「子どもの防犯・安全対策を充実する」(3.3ポイント増)、「子育てに掛かる費用負担を減らす」(2.8ポイント増)などとなっている。一方、前回調査と比較して減少した項目は、「出産・育児後の職場復帰や職場確保を支援する」(1.4ポイント減)などとなっている。【図表 179】

図表 179 子育て環境の充実のために行政が取り組むべきこと（経年比較）



※調査項目に含まれず

5 健康・福祉について

1 健康の維持・増進のための心掛け

問11 あなたは、健康維持や増進のために、日ごろからどのようなことを心掛けていますか。次の中からあてはまるものすべてに○印をつけてください。

◆ **健康維持や増進のために日ごろから心掛けていることは「食事のバランスに気を配り、肥満予防などに努めている」が53.2%**

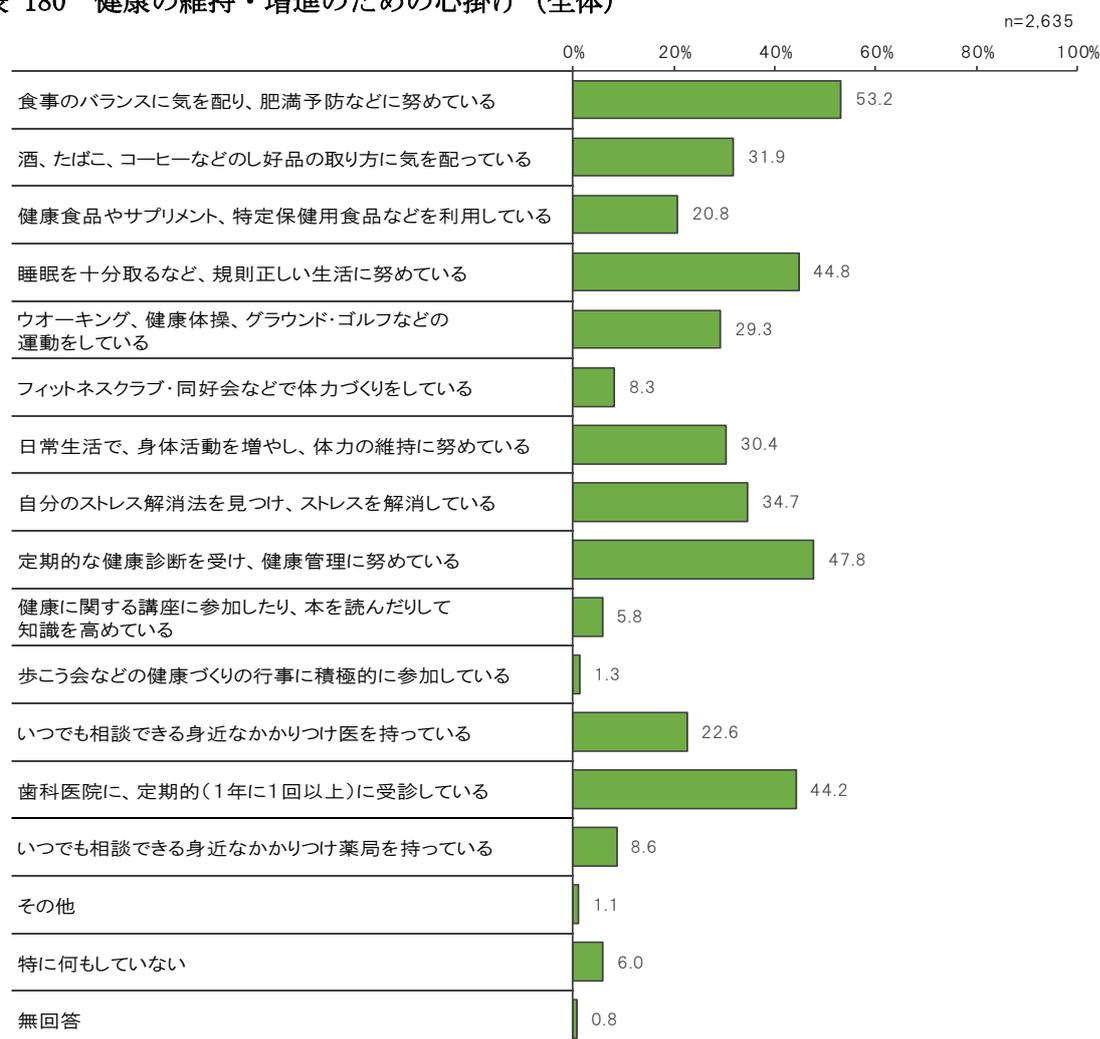
健康維持や増進のために日ごろから心掛けていることは、「食事のバランスに気を配り、肥満予防などに努めている」(53.2%)が最も高く、次いで「定期的な健康診断を受け、健康管理に努めている」(47.8%)、「睡眠を十分取るなど、規則正しい生活に努めている」(44.8%)の順となっている。【図表 180】

性別でみると、「歯科医院に、定期的(1年に1回以上)に受診している」では、「女性」(52.2%)が「男性」(34.0%)を18.2ポイント上回っている。【図表 181】

年齢別でみると、「70歳以上」で全体平均よりも高い割合の項目が多く、健康への意識が高くなっている。【図表 181】

職業別でみると、全体平均と比較して「酒、たばこ、コーヒーなどの嗜好品の取り方に気を配っている」「健康食品やサプリメント、特定保健用食品などを利用している」「自分のストレス解消法を見つけ、ストレスを解消している」では「自由業」の割合が全体平均と比較して10%以上高くなっている。【図表 181】

図表 180 健康の維持・増進のための心掛け (全体)



図表 181 健康の維持・増進のための心掛け（全体・性別・年齢・職業別）

		件数	(%)																
			食事のバランスに気を配り、肥満予防などに努めている	酒、たばこ、コーヒーなどを配っている	健康食品やサプリメント、特定保健用食品などを利用している	睡眠を十分取るなど、規則正しい生活に努めている	ウォーキング、健康体操、グラウンド・ゴルフなどの運動をしている	フィットネスクラブ・同好会などで体力づくりをしている	日常生活で、身体活動を増やし、体力の維持に努めている	自分のストレス解消法を見つけ、ストレスを解消している	定期的な健康診断を受け、健康管理に努めている	健康に関する講座に参加したり、本を読んだりして知識を高めている	歩こう会などの健康づくりの行事に積極的に参加している	いつでも相談できる身近なかかりつけ医を保持している	歯科医院に、定期的（1年に1回以上）に受診している	いつでも相談できる身近なかかりつけ薬局を保持している	その他	特に何もしていない	無回答
全体		2,635	53.2	31.9	20.8	44.8	29.3	8.3	30.4	34.7	47.8	5.8	1.3	22.6	44.2	8.6	1.1	6.0	0.8
性別	男性	1,096	50.0	33.3	17.2	42.7	34.5	7.8	30.5	33.5	45.2	4.2	1.2	19.2	34.0	6.8	1.6	7.6	0.5
	女性	1,390	56.5	31.2	23.7	47.2	25.4	8.7	30.5	35.6	51.1	7.3	1.2	25.8	52.2	9.9	0.6	4.2	0.9
年齢別	10代(18・19歳)	41	61.0	19.5	17.1	51.2	26.8	2.4	34.1	51.2	22.0	0.0	0.0	19.5	29.3	4.9	0.0	12.2	0.0
	20代	210	42.9	35.7	16.7	37.1	20.5	5.2	21.4	41.0	27.1	1.4	0.5	6.7	27.6	3.3	0.5	11.4	1.0
	30代	308	48.7	36.4	18.5	41.2	22.7	7.8	27.9	38.6	41.2	5.2	1.6	10.7	39.0	5.2	0.6	7.5	0.0
	40代	436	47.2	32.3	22.7	42.7	23.9	7.8	25.0	35.8	46.6	5.0	0.9	12.2	40.6	7.8	1.8	7.3	0.7
	50代	550	49.8	30.2	23.1	37.6	26.7	8.9	26.0	35.6	54.2	6.7	0.7	19.3	43.6	6.7	1.5	6.5	0.5
	60代	493	57.6	31.2	23.3	47.1	32.3	10.3	34.9	33.7	53.8	6.5	1.0	28.4	49.9	8.9	1.0	4.1	0.2
	70歳以上	559	63.9	30.8	17.9	56.0	39.7	7.5	38.6	28.1	51.5	6.6	2.3	40.8	52.8	14.8	0.7	2.9	1.4
職業別	事務系勤労者	392	50.3	29.1	24.2	42.3	28.1	11.5	23.7	36.5	52.3	4.8	0.5	16.1	45.7	4.1	0.3	5.1	0.3
	労働系勤労者	452	43.6	30.3	17.9	36.1	21.5	7.1	27.2	37.2	43.4	4.4	1.3	13.5	32.1	5.3	1.3	10.8	0.4
	管理職・会社経営	170	46.5	29.4	21.2	44.7	38.2	13.5	34.1	36.5	58.8	5.9	2.4	17.6	39.4	7.1	1.8	4.7	0.6
	商店・サービス業の個人経営	73	42.5	38.4	20.5	38.4	30.1	12.3	32.9	45.2	41.1	8.2	0.0	21.9	39.7	8.2	1.4	4.1	1.4
	自由業	34	52.9	44.1	32.4	29.4	29.4	8.8	35.3	50.0	50.0	11.8	5.9	20.6	47.1	0.0	0.0	2.9	0.0
	農林水産業	52	40.4	21.2	11.5	44.2	26.9	0.0	32.7	28.8	28.8	0.0	1.9	26.9	36.5	11.5	3.8	13.5	1.9
	主婦(夫)	292	62.7	32.9	23.3	52.1	31.2	7.5	35.3	28.8	50.7	9.9	1.0	35.6	60.6	12.3	0.7	4.8	1.4
	パートタイマー・アルバイト	504	58.5	34.1	21.6	45.8	26.2	8.7	31.3	33.3	54.2	5.8	1.2	21.6	48.4	9.7	0.8	3.8	0.8
	学生	58	50.0	27.6	13.8	39.7	20.7	3.4	25.9	56.9	22.4	3.4	0.0	19.0	32.8	6.9	0.0	12.1	0.0
	無職	422	60.4	31.5	17.8	53.1	38.9	7.1	30.8	28.0	43.1	4.7	1.9	34.1	49.1	13.7	1.2	4.0	0.7
	その他	144	54.9	39.6	26.4	46.5	27.8	2.8	36.8	41.0	46.5	6.9	1.4	17.4	33.3	8.3	2.1	6.9	0.0

全体より10%以上

全体より5%以上

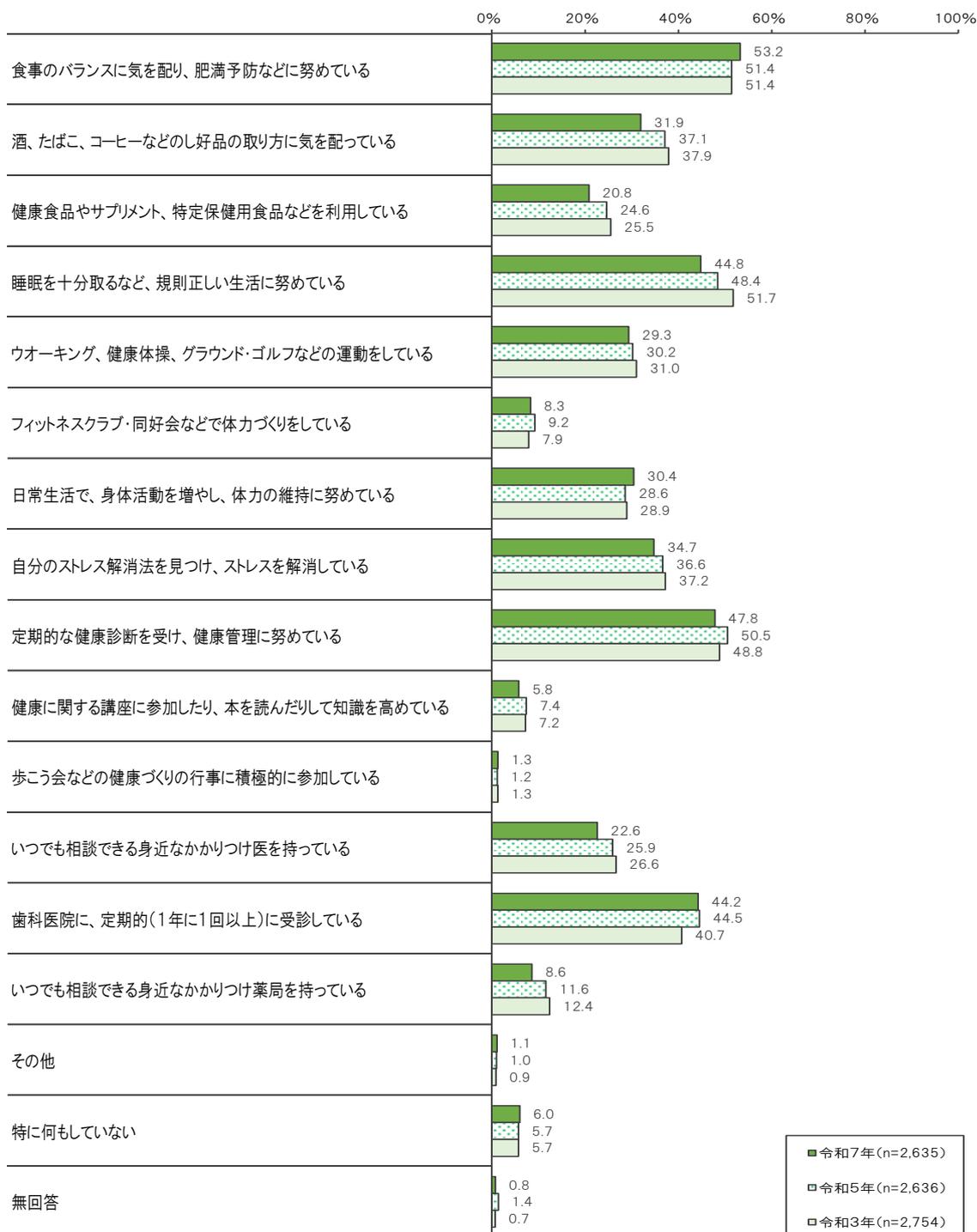
全体より5%以下

全体より10%以下

◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して増加した項目は、「食事のバランスに気を配り、肥満予防などに努めている」「日常生活で身体活動を増やし、体力の維持に努めている」（いずれも1.8ポイント増）などとなっている。一方、前回調査と比較して減少した項目は、「酒、たばこ、コーヒーなどの嗜好品の取り方に気を配っている」（5.2ポイント減）などとなっている。【図表 182】

図表 182 健康の維持・増進のための心掛け（経年比較）



6 建設・整備について

1 公共交通機関の利便性の行政への期待

問12 あなたは、公共交通機関（電車・バス）の利便性を向上させるために、行政にどのようなことを期待しますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで○印をつけてください。

◆ 公共交通機関の利便性向上のために行政に期待することは「駅周辺に駐車場や駐輪場を増やす」が34.6%

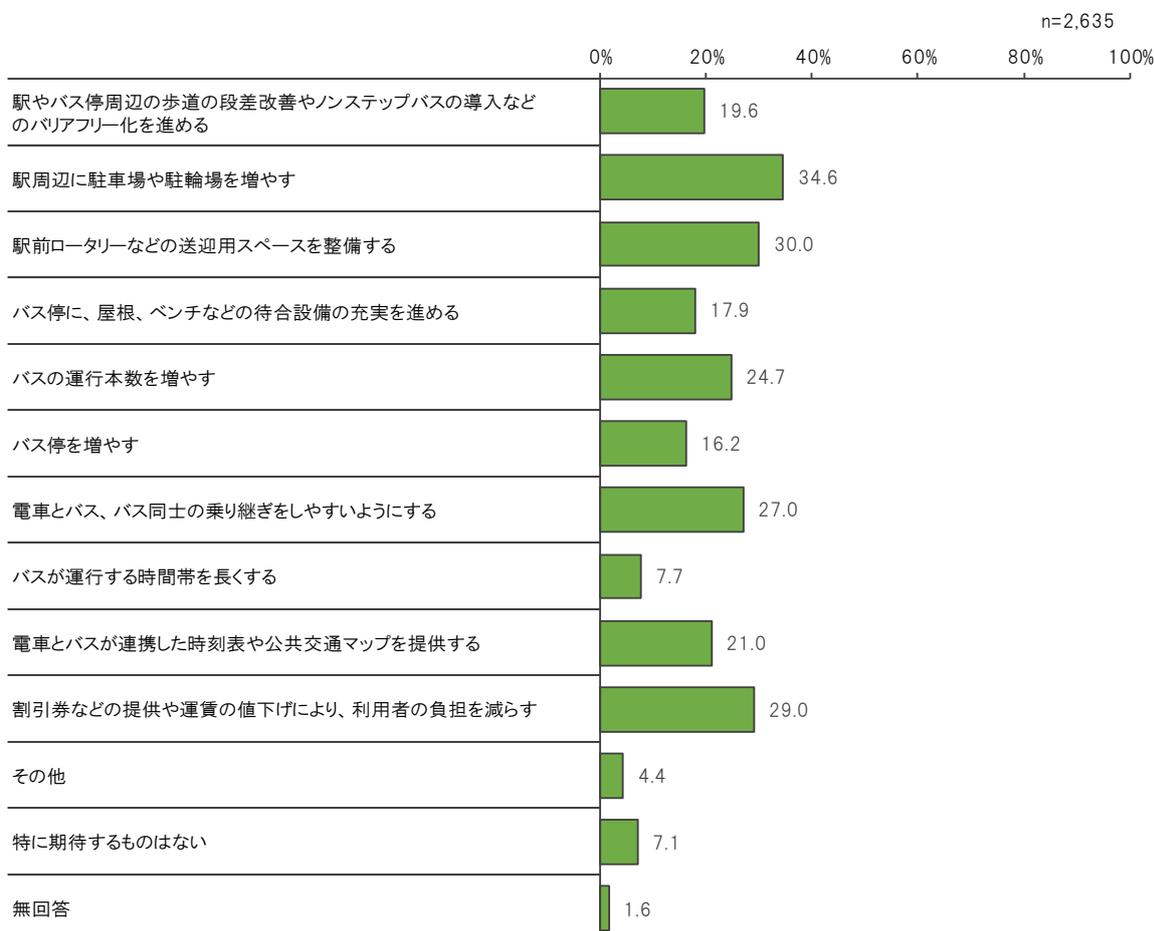
公共交通機関の利便性を向上させるために行政に期待することは、「駅周辺に駐車場や駐輪場を増やす」(34.6%)が最も高く、次いで「駅前ロータリーなどの送迎用スペースを整備する」(30.0%)、「割引券などの提供や運賃の値下げにより、利用者の負担を減らす」(29.0%)の順となっている。【図表 183】

年齢別でみると、全体平均と比較して、「駅周辺に駐車場や駐輪場を増やす」では、「10代(18・19歳)」(43.9%)、「30代」(41.9%)「20代」(40.5%)の割合が高くなっている。【図表 184】

通勤・通学先別でみると、全体平均と比較して「駅周辺に駐車場や駐輪場を増やす」では「田原市」の割合が10%以上高く、「電車とバス、バス同士の乗り継ぎをしやすいようにする」では「蒲郡市」の割合が10%以上高くなっている。【図表 184】

居住小学校区別でみると、全体平均と比較して、「駅周辺に駐車場や駐輪場を増やす」では「長沢小学校区」(53.7%)の割合が高く、「駅前ロータリーなどの送迎用スペースを整備する」では「国府小学校区」(41.5%)、「バスの運行本数を増やす」では「千両小学校区」(44.8%)、「電車とバス、バス同士の乗り継ぎをしやすいようにする」では「赤坂小学校区」(47.8%)の割合が高くなっている。【図表 184】

図表 183 公共交通機関の利便性の行政への期待（全体）



図表 184 公共交通機関の利便性の行政への期待

(全体・年齢・通勤・通学先・小学校区・公共交通機関の利便性の満足度別)

(%)

	件数	駅やバス停周辺の歩道の段差改善やアフリカ・バス・テツプバスの導入などのバリエーションを進める	駅周辺に駐車場や駐輪場を増やす	駅前ロータリーなどの送迎スペースを整備する	設備の充実を進める	バス停に、屋根、ベンチなどの待合	バスの運行本数を増やす	バス停を増やす	電車とバス、バス同士の乗り継ぎをしやすくようにする	バスが運行する時間帯を長くする	電車とバスが連携した時刻表や公共交通マップを提供する	割引券などの提供や運賃の値下げにより、利用者の負担を減らす	その他	特に期待するものはない	無回答
全体	2,635	19.6	34.6	30.0	17.9	24.7	16.2	27.0	7.7	21.0	29.0	4.4	7.1	1.6	
年齢別	10代(18・19歳)	41	22.0	43.9	31.7	19.5	31.7	12.2	26.8	9.8	26.8	14.6	7.3	2.4	0.0
	20代	210	17.6	40.5	30.5	16.7	22.9	16.7	22.9	11.0	16.7	29.0	4.8	6.2	0.5
	30代	308	17.9	41.9	31.8	15.3	21.4	12.7	25.6	8.4	16.9	26.9	1.9	11.7	0.0
	40代	436	18.1	36.5	32.3	13.5	24.5	17.9	30.7	8.5	22.7	26.1	4.6	3.7	1.4
	50代	550	20.2	35.1	33.3	15.6	24.7	19.3	27.3	7.5	21.3	27.8	5.3	6.4	0.7
	60代	493	20.5	33.1	31.2	21.1	22.3	12.4	27.0	6.7	21.3	30.2	3.9	7.9	1.2
	70歳以上	559	21.3	26.8	22.9	22.4	28.6	17.5	26.5	5.9	22.4	33.8	4.8	7.7	3.6
通勤・通学先	通勤・通学していない	527	23.1	29.2	25.4	23.9	25.6	15.7	26.4	6.3	23.0	29.2	5.9	7.4	1.5
	豊川市内	1,179	18.9	36.5	32.5	17.0	23.7	17.0	27.7	6.0	20.9	30.1	3.6	6.7	1.0
	豊橋市	272	18.4	37.9	31.3	15.8	23.2	20.2	26.8	10.7	18.8	26.8	4.4	5.9	2.2
	蒲郡市	48	12.5	39.6	29.2	18.8	27.1	8.3	41.7	12.5	25.0	25.0	2.1	8.3	0.0
	新城市	55	18.2	36.4	27.3	18.2	34.5	12.7	23.6	10.9	32.7	27.3	7.3	5.5	0.0
	田原市	25	32.0	56.0	24.0	20.0	8.0	0.0	24.0	16.0	24.0	28.0	0.0	8.0	0.0
	岡崎市	63	6.3	44.4	23.8	19.0	25.4	12.7	31.7	17.5	9.5	28.6	4.8	9.5	0.0
	名古屋市	73	17.8	31.5	35.6	9.6	28.8	11.0	27.4	9.6	19.2	31.5	11.0	6.8	0.0
	上記以外の愛知県	106	23.6	36.8	41.5	10.4	25.5	11.3	28.3	11.3	18.9	25.5	2.8	6.6	0.0
	県外	50	16.0	34.0	38.0	14.0	30.0	16.0	24.0	10.0	22.0	26.0	4.0	6.0	0.0
居住小学校区別	豊川小学校区	120	20.8	33.3	30.8	14.2	23.3	18.3	30.8	6.7	23.3	35.8	5.8	3.3	1.7
	桜木小学校区	107	21.5	38.3	35.5	20.6	19.6	18.7	26.2	8.4	25.2	31.8	2.8	3.7	1.9
	豊小学校区	100	18.0	28.0	37.0	17.0	24.0	22.0	29.0	6.0	17.0	25.0	7.0	6.0	2.0
	東部小学校区	89	16.9	25.8	29.2	13.5	22.5	24.7	16.9	11.2	23.6	32.6	4.5	10.1	4.5
	金屋小学校区	80	21.3	38.8	23.8	15.0	16.3	11.3	23.8	5.0	27.5	25.0	2.5	13.8	1.3
	三蔵子小学校区	130	14.6	32.3	24.6	16.9	27.7	24.6	26.9	6.9	25.4	28.5	6.2	7.7	0.0
	桜町小学校区	83	13.3	28.9	15.7	15.7	32.5	20.5	37.3	6.0	22.9	21.7	4.8	8.4	3.6
	代田小学校区	121	18.2	34.7	28.1	14.0	20.7	9.9	26.4	5.8	19.0	35.5	7.4	8.3	0.8
	中部小学校区	154	20.1	40.3	31.8	22.1	26.0	8.4	29.2	5.8	24.0	26.0	7.1	5.2	1.3
	牛久保小学校区	112	25.9	36.6	31.3	22.3	18.8	11.6	23.2	3.6	22.3	25.0	6.3	5.4	1.8
	天王小学校区	66	19.7	28.8	27.3	16.7	15.2	19.7	19.7	1.5	24.2	37.9	4.5	15.2	1.5
	国府小学校区	193	22.3	37.3	41.5	15.0	28.5	16.1	26.4	8.8	22.8	28.5	2.6	5.7	0.5
	御油小学校区	138	22.5	35.5	39.9	13.0	18.1	18.1	33.3	1.4	13.0	34.1	2.9	9.4	0.7
	千両小学校区	29	10.3	20.7	24.1	27.6	44.8	10.3	37.9	13.8	27.6	24.1	6.9	3.4	0.0
	八南小学校区	168	19.6	39.9	31.5	16.7	25.6	13.7	25.6	7.1	23.2	28.6	5.4	3.6	1.2
	平尾小学校区	68	10.3	41.2	38.2	19.1	33.8	16.2	13.2	16.2	16.2	26.5	4.4	8.8	0.0
	一宮東部小学校区	58	12.1	41.4	27.6	32.8	20.7	12.1	37.9	5.2	22.4	29.3	0.0	3.4	1.7
	一宮西部小学校区	122	25.4	34.4	28.7	24.6	19.7	10.7	29.5	8.2	18.0	27.0	4.9	3.3	0.8
	一宮南部小学校区	35	14.3	31.4	20.0	14.3	34.3	22.9	25.7	11.4	17.1	28.6	5.7	11.4	2.9
	赤坂小学校区	69	14.5	29.0	21.7	17.4	40.6	8.7	47.8	23.2	26.1	30.4	0.0	4.3	0.0
	長沢小学校区	41	9.8	53.7	19.5	12.2	34.1	4.9	26.8	12.2	19.5	29.3	2.4	9.8	0.0
	萩小学校区	20	5.0	25.0	20.0	20.0	40.0	10.0	35.0	25.0	15.0	15.0	5.0	15.0	0.0
	御津南部小学校区	130	20.0	33.8	40.8	12.3	26.9	15.4	23.1	6.9	17.7	22.3	3.1	5.4	0.8
	御津北部小学校区	42	33.3	28.6	26.2	16.7	35.7	21.4	28.6	7.1	19.0	26.2	4.8	7.1	2.4
小坂井東小学校区	121	22.3	36.4	27.3	18.2	19.8	22.3	29.8	7.4	14.0	26.4	0.8	10.7	2.5	
小坂井西小学校区	155	28.4	28.4	23.2	20.0	22.6	21.9	16.1	7.1	19.4	37.4	3.9	7.7	1.3	
「公共交通機関の利便性」の満足度	満足	202	24.8	40.1	25.2	20.8	19.8	11.4	19.8	6.4	18.3	34.7	2.0	5.9	2.0
	まあ満足	970	22.6	39.4	35.3	17.6	17.3	10.7	25.2	4.8	22.7	28.7	3.7	7.0	1.4
	やや不満	777	18.5	33.6	31.3	17.6	28.4	18.0	32.0	9.1	23.0	30.9	3.6	5.5	1.4
	不満	415	11.1	28.0	22.4	14.0	43.9	28.0	28.9	14.2	18.3	27.0	9.6	5.3	0.7
	わからない	215	20.5	27.0	22.3	23.3	14.0	15.3	19.5	3.7	14.0	22.3	1.9	19.1	2.8

全体より10%以上

全体より5%以上

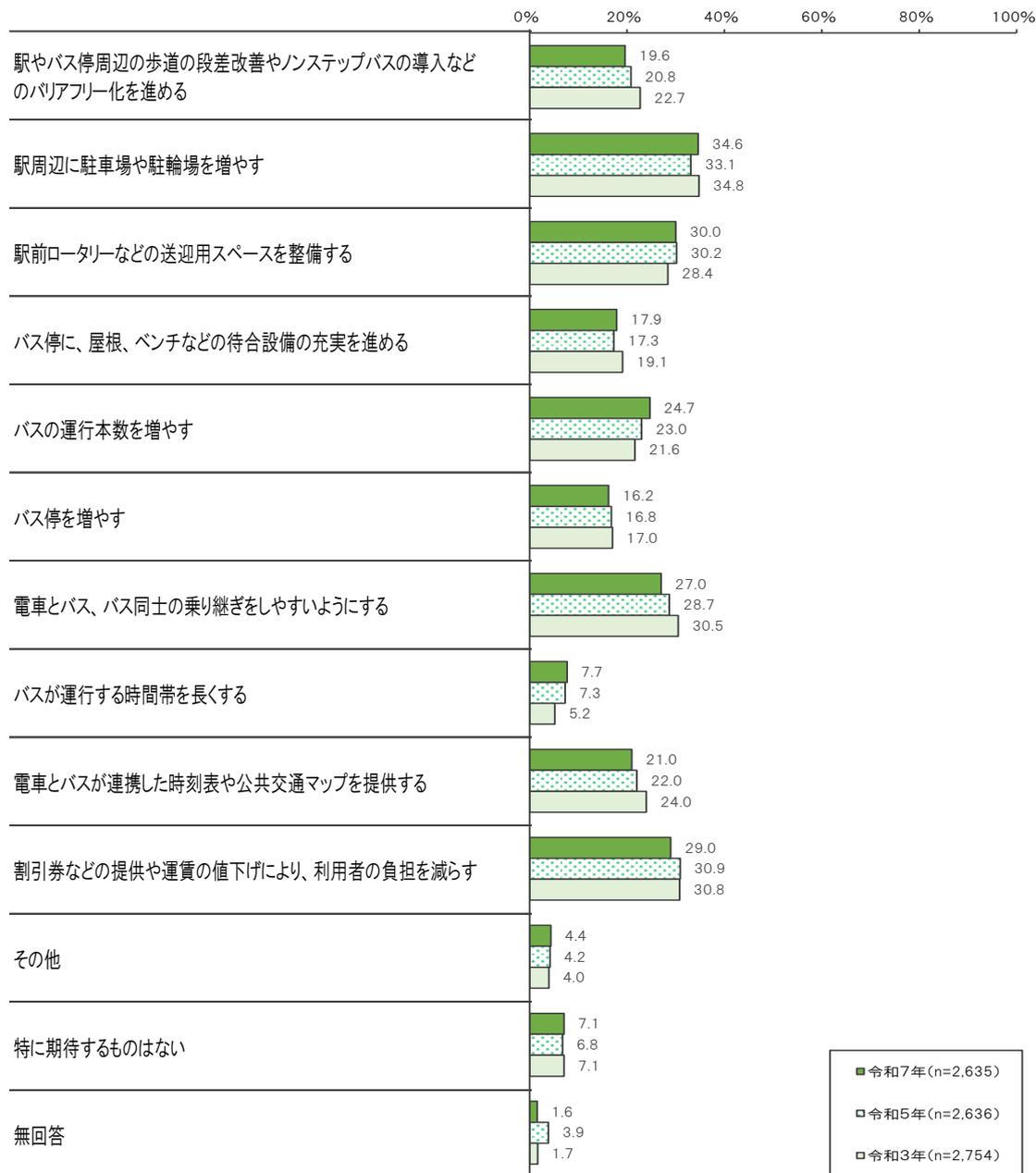
全体より5%以下

全体より10%以下

◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較で見ると、前回調査と比較して増加した項目は、「バスの運行本数を増やす」(1.7ポイント増)、「駅周辺に駐車場や駐輪場を増やす」(1.5ポイント増)などとなっている。一方、前回調査と比較して減少した項目は、「割引券などの提供や運賃の値下げにより、利用者の負担を減らす」(1.9ポイント減)、「電車とバス、バス同士の乗り継ぎをしやすいようにする」(1.7ポイント減)などとなっている。【図表 185】

図表 185 公共交通機関の利便性の行政への期待（経年比較）



2 道路の整備の行政への期待

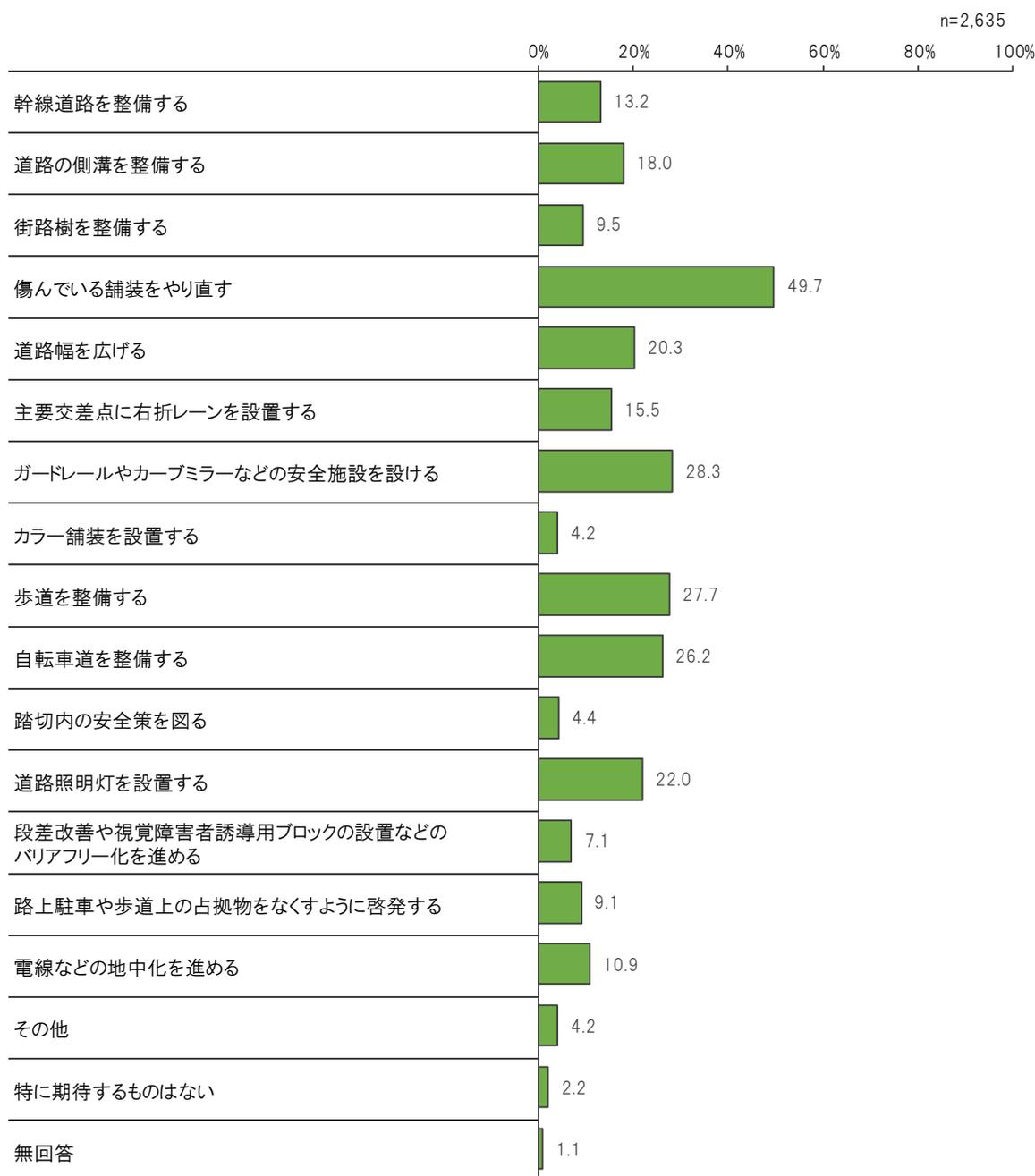
問13 あなたは、道路の整備について、行政にどのようなことを期待しますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで○印をつけてください。

◆ 道路の整備について行政に期待することは「傷んでいる舗装をやり直す」が49.7%、「ガードレールやカーブミラーなどの安全施設を設ける」が28.3%

道路の整備について行政に期待することは、「傷んでいる舗装をやり直す」(49.7%)が最も高く、次いで「ガードレールやカーブミラーなどの安全施設を設ける」(28.3%)、「歩道を整備する」(27.7%)となっている。【図表 186】

小学校区別でみると、全体平均と比較して、「傷んでいる舗装をやり直す」では「長沢小学校区」(65.9%)、「千両小学校区」(62.1%)の割合が高く、「ガードレールやカーブミラーなどの安全施設を設ける」では「桜町小学校区」(41.0%)、「歩道を整備する」では「千両小学校区」(37.9%)の割合が高くなっている。【図表 187】

図表 186 道路の整備の行政への期待 (全体)



図表 187 道路の整備の行政への期待

(全体・小学校区・道路の整備状況の満足度・歩行者にとっての道路の安全性の満足度別)

																					(%)
		件数	幹線道路を整備する	道路の側溝を整備する	街路樹を整備する	傷んでいる舗装をやり直す	道路幅を広げる	主要交差点に右折レーンを設置する	ガードレールやカーブミラーなどの安全施設を設ける	カラー舗装を設置する	歩道を整備する	自転車道を整備する	踏切内の安全策を図る	道路照明灯を設置する	段差改善や視覚障害者誘導用ブロックの設置などのバリアフリー化を進める	路上駐車や歩道上の占拠物をなくすように啓発する	電線などの地中化を進める	その他	特に期待するものはない	無回答	
全体		2,635	13.2	18.0	9.5	49.7	20.3	15.5	28.3	4.2	27.7	26.2	4.4	22.0	7.1	9.1	10.9	4.2	2.2	1.1	
居住 小学校区別	豊川小学校区	120	16.7	12.5	14.2	44.2	17.5	17.5	27.5	2.5	25.8	30.8	6.7	22.5	9.2	12.5	12.5	5.8	0.8	0.8	
	桜木小学校区	107	15.0	14.0	15.9	54.2	17.8	15.9	26.2	5.6	25.2	28.0	5.6	11.2	8.4	12.1	13.1	5.6	0.9	0.9	
	豊小学校区	100	10.0	18.0	12.0	48.0	19.0	12.0	31.0	5.0	26.0	28.0	4.0	22.0	10.0	8.0	5.0	5.0	2.0	2.0	
	東部小学校区	89	15.7	21.3	11.2	48.3	19.1	12.4	31.5	5.6	23.6	29.2	3.4	23.6	6.7	10.1	10.1	3.4	0.0	3.4	
	金屋小学校区	80	15.0	16.3	6.3	60.0	17.5	15.0	30.0	3.8	26.3	30.0	6.3	21.3	5.0	10.0	16.3	3.8	1.3	0.0	
	三蔵子小学校区	130	15.4	12.3	13.1	46.9	11.5	21.5	30.8	3.8	30.8	30.0	3.1	22.3	7.7	9.2	9.2	2.3	2.3	0.8	
	桜町小学校区	83	7.2	25.3	8.4	44.6	18.1	18.1	41.0	9.6	22.9	22.9	1.2	24.1	6.0	9.6	8.4	4.8	1.2	1.2	
	代田小学校区	121	9.9	14.9	8.3	50.4	10.7	14.9	27.3	5.0	28.9	25.6	2.5	24.8	10.7	8.3	11.6	7.4	4.1	0.0	
	中部小学校区	154	11.0	16.2	10.4	42.2	18.8	17.5	35.7	5.2	24.0	34.4	1.3	15.6	5.8	8.4	7.8	2.6	3.9	1.9	
	牛久保小学校区	112	14.3	17.9	13.4	53.6	13.4	18.8	30.4	3.6	25.9	31.3	0.9	20.5	7.1	6.3	11.6	5.4	1.8	0.9	
	天王小学校区	66	13.6	13.6	13.6	54.5	21.2	10.6	15.2	3.0	25.8	34.8	3.0	21.2	6.1	10.6	6.1	4.5	7.6	1.5	
	国府小学校区	193	19.2	14.5	8.3	51.3	28.0	17.1	24.9	4.1	27.5	20.7	5.2	18.1	6.2	11.4	14.0	2.1	2.6	0.5	
	御油小学校区	138	18.1	15.2	8.0	47.8	18.1	21.0	25.4	3.6	22.5	20.3	4.3	23.9	7.2	9.4	14.5	5.8	2.2	0.7	
	千両小学校区	29	10.3	34.5	10.3	62.1	13.8	13.8	31.0	0.0	37.9	34.5	0.0	17.2	6.9	0.0	17.2	0.0	0.0	0.0	
	八南小学校区	168	13.7	15.5	10.7	48.2	16.7	16.7	27.4	3.6	32.1	36.3	2.4	23.2	5.4	8.9	10.7	5.4	2.4	0.6	
	平尾小学校区	68	10.3	14.7	13.2	48.5	22.1	19.1	30.9	2.9	27.9	25.0	0.0	25.0	5.9	8.8	10.3	5.9	1.5	0.0	
	一宮東部小学校区	58	17.2	24.1	6.9	56.9	15.5	17.2	24.1	1.7	32.8	19.0	1.7	19.0	13.8	3.4	6.9	1.7	0.0	3.4	
	一宮西部小学校区	122	9.8	23.0	5.7	50.0	23.0	13.1	34.4	1.6	30.3	27.9	4.9	27.9	6.6	9.0	9.0	2.5	1.6	0.0	
	一宮南部小学校区	35	14.3	20.0	8.6	57.1	17.1	17.1	25.7	2.9	34.3	28.6	2.9	28.6	2.9	5.7	2.9	8.6	0.0	0.0	
	赤坂小学校区	69	11.6	21.7	5.8	53.6	20.3	11.6	29.0	7.2	21.7	24.6	7.2	24.6	5.8	13.0	13.0	5.8	2.9	0.0	
長沢小学校区	41	17.1	19.5	7.3	65.9	26.8	9.8	24.4	2.4	14.6	19.5	4.9	24.4	7.3	4.9	7.3	0.0	4.9	0.0		
萩小学校区	20	15.0	15.0	5.0	60.0	15.0	10.0	35.0	5.0	30.0	20.0	0.0	5.0	15.0	10.0	0.0	5.0	10.0	0.0		
御津南部小学校区	130	14.6	26.2	8.5	45.4	23.8	17.7	25.4	5.4	23.8	18.5	5.4	30.0	6.2	6.2	10.8	3.1	0.0	0.8		
御津北部小学校区	42	11.9	9.5	0.0	61.9	14.3	14.3	28.6	4.8	26.2	23.8	4.8	28.6	9.5	9.5	14.3	2.4	2.4	0.0		
小坂井東小学校区	121	9.9	20.7	4.1	49.6	35.5	9.9	28.1	3.3	36.4	24.0	5.8	22.3	4.1	11.6	8.3	2.5	1.7	1.7		
小坂井西小学校区	155	9.7	25.8	7.1	46.5	36.1	12.9	20.6	3.9	36.8	15.5	13.5	19.4	5.2	6.5	15.5	4.5	1.9	0.0		
「道路の 整備状況」 の満足度	満足	167	15.6	14.4	9.6	44.3	20.4	14.4	32.9	3.6	23.4	29.3	6.6	22.2	7.8	12.6	7.8	4.2	1.8	0.0	
	まあ満足	1,075	11.7	16.7	9.8	46.9	18.4	18.3	31.0	4.2	26.6	27.0	2.9	23.2	6.7	7.2	10.3	2.4	3.0	0.9	
	やや不満	819	15.0	18.9	9.2	53.8	22.0	15.5	26.1	4.9	29.8	27.0	4.8	19.9	7.3	10.3	11.7	3.8	1.0	0.9	
	不満	375	14.7	22.4	9.6	56.8	26.1	12.3	21.6	2.9	30.1	22.4	6.7	20.0	4.5	9.6	13.3	10.9	1.1	0.8	
	わからない	130	8.5	14.6	9.2	36.9	13.8	8.5	32.3	3.8	27.7	26.9	3.8	27.7	13.8	12.3	6.2	2.3	4.6	2.3	
「歩行者に とっての道路 の安全性」 の満足度	満足	77	20.8	11.7	9.1	48.1	19.5	14.3	28.6	5.2	20.8	22.1	1.3	22.1	9.1	11.7	9.1	5.2	5.2	0.0	
	まあ満足	939	14.5	16.8	10.9	50.8	17.9	16.7	29.6	4.2	20.4	24.1	4.2	23.1	7.3	7.9	9.5	3.3	3.4	1.1	
	やや不満	996	13.6	20.0	9.7	51.7	19.4	16.5	28.6	4.5	31.2	27.7	4.5	21.1	6.3	9.3	10.7	3.9	1.1	0.9	
	不満	375	8.8	17.1	6.4	45.6	29.6	13.1	25.3	3.5	42.4	29.3	6.4	20.8	7.2	8.5	14.1	7.7	0.8	0.3	
	わからない	185	10.3	18.9	7.6	43.8	23.2	13.0	28.6	2.7	21.6	27.0	2.7	22.2	7.0	13.0	13.5	3.2	2.2	1.6	

全体より10%以上

全体より5%以上

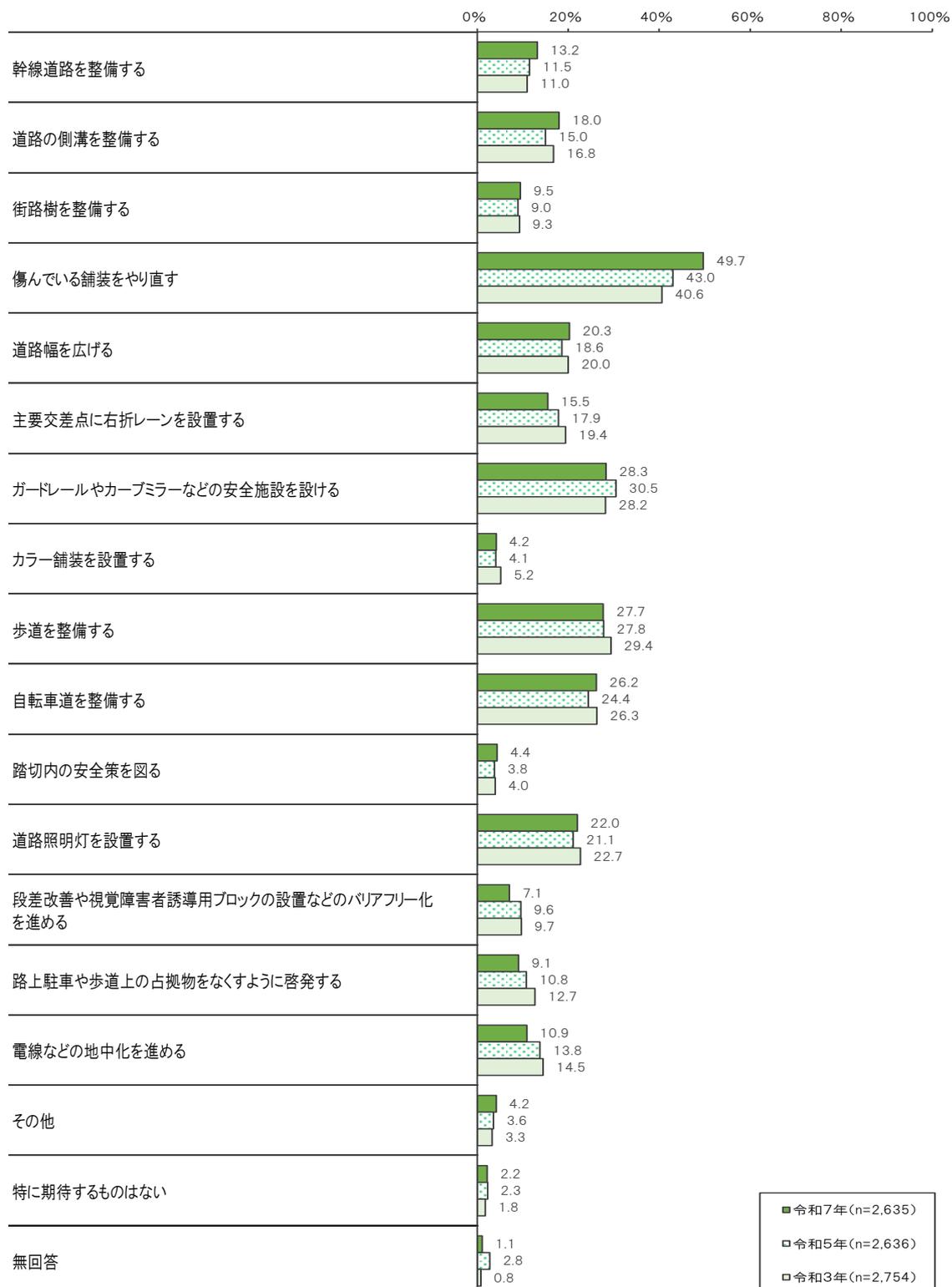
全体より5%以下

全体より10%以下

◆ 経年比較 ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して増加した項目は、「傷んでいる舗装をやり直す」(6.7ポイント増)、「道路の側溝を整備する」(3.0ポイント増)などとなっている。一方、前回調査と比較して減少した項目は、「電線などの地中化を進める」(2.9ポイント減)、「段差改善や視覚障害者誘導用ブロックの設置などのバリアフリー化を進める」(2.5ポイント減)などとなっている。【図表 188】

図表 188 道路の整備の行政への期待（経年比較）



3 公園の整備や緑地の保全のために行政が取り組むべきこと

問14 あなたは、公園の整備や緑地の保全について、行政がどのようなことに取り組むべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで○印をつけてください。

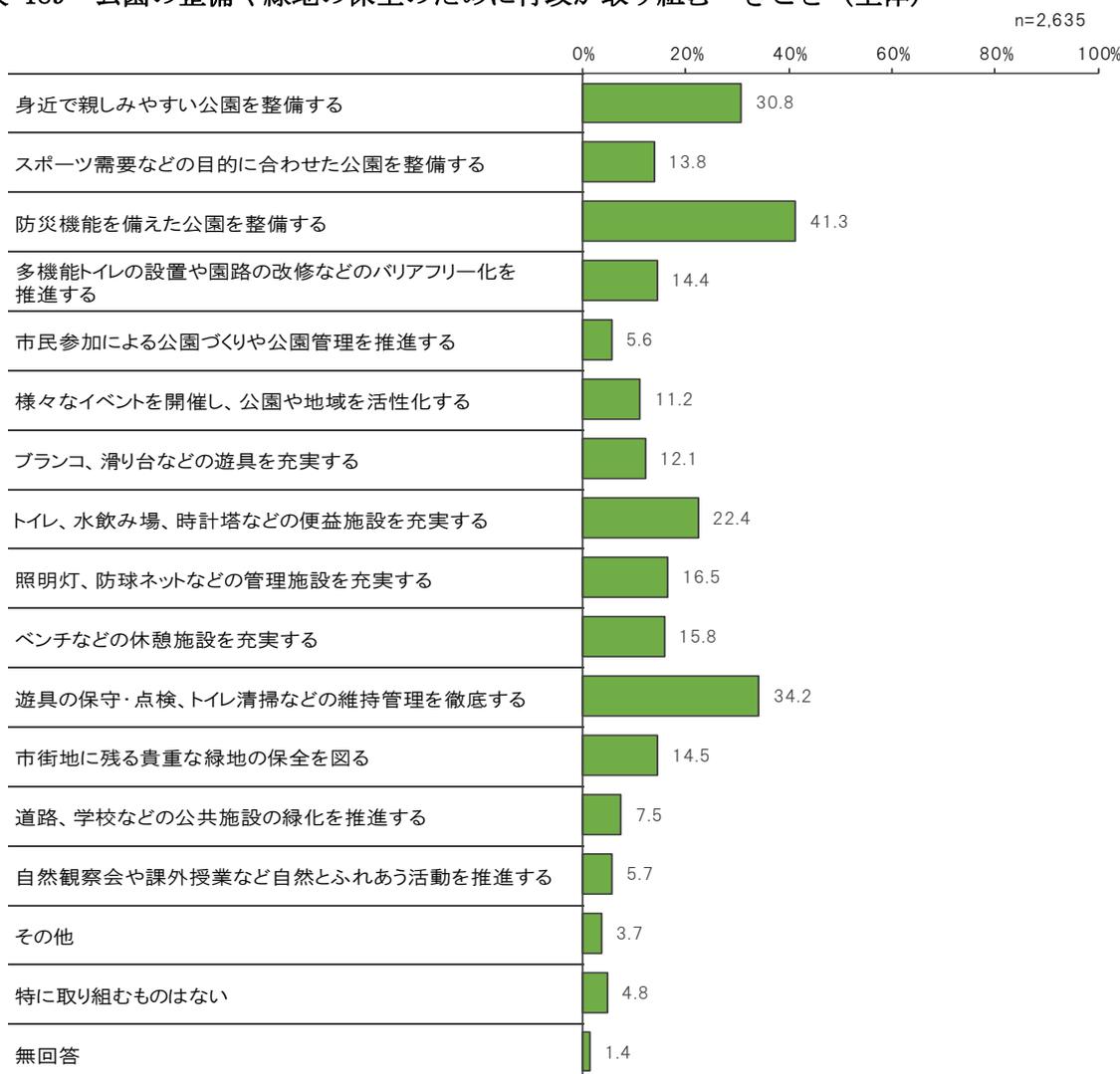
- ◆ 公園の整備や緑地の保全について行政が取り組むべきことは「防災機能を備えた公園を整備する」が41.3%、「遊具の保守・点検、トイレ清掃などの維持管理を徹底する」が34.2%

公園の整備や緑地の保全について行政が取り組むべきことは、「防災機能を備えた公園を整備する」(41.3%)が最も高く、次いで「遊具の保守・点検、トイレ清掃などの維持管理を徹底する」(34.2%)、「身近で親しみやすい公園を整備する」(30.8%)の順となっている。【図表189】

年齢別で見ると、全体平均と比較して「スポーツ需要などの目的に合わせた公園を整備する」では「20代」(26.2%)「10代(18・19歳)」(24.4%)、「ブランコ、滑り台などの遊具を充実する」では「30代」(29.2%)、「照明灯、防球ネットなどの管理施設を充実する」では「10代(18・19歳)」(26.8%)の割合が高くなっている。【図表190】

小学校区別で見ると、全体平均と比較して「防災機能を備えた公園を整備する」は、「千両小学校区」(51.7%)、「ベンチなどの休憩施設を充実する」は、「長沢小学校区」(26.8%)、「赤坂小学校区」(26.1%)の割合が高くなっている。【図表190】

図表 189 公園の整備や緑地の保全のために行政が取り組むべきこと (全体)



図表 190 公園の整備や緑地の保全のために行政が取り組むべきこと

(全体・年齢・小学校区・緑、自然の豊かさの満足度・公園の状況の満足度別)

(%)

	件数	身近で親しみやすい公園を整備する	スポーツ需要などの目的に合わせた公園を整備する	防災機能を備えた公園を整備する	多機能トイレの設置や園路の改修などのバリアフリー化を推進する	公園管理を推進する	市民参加による公園づくりや公園管理を推進する	様々なイベントを開催し、公園や地域を活性化させる	ブランコ、滑り台などの遊具を充実させる	トイレ、水飲み場、時計塔などの便益施設を充実させる	照明灯、防球ネットなどの管理施設を充実させる	ベンチなどの休憩施設を充実させる	遊具の保守・点検、トイレ清掃などの維持管理を徹底する	市街地に残る貴重な緑地の保全を図る	道路、学校などの公共施設の緑化を推進する	自然観察会や課外授業など自然とふれあう活動を推進する	その他	特に取り組むものはない	無回答
全体	2,635	30.8	13.8	41.3	14.4	5.6	11.2	12.1	22.4	16.5	15.8	34.2	14.5	7.5	5.7	3.7	4.8	1.4	
年齢別	10代(18・19歳)	41	29.3	24.4	29.3	12.2	7.3	4.9	19.5	31.7	26.8	12.2	29.3	7.3	7.3	4.9	4.9	0.0	
	20代	210	31.4	26.2	35.7	12.4	1.9	10.5	22.9	21.9	18.6	16.7	30.0	7.1	5.2	2.4	2.4	0.5	
	30代	308	31.5	19.8	30.5	14.6	2.9	14.9	29.2	17.5	15.9	10.7	39.9	8.4	5.8	4.9	4.5	0.3	
	40代	436	32.8	21.1	40.4	13.1	5.0	10.3	13.3	16.1	18.3	8.3	35.3	11.0	10.1	9.2	5.7	0.5	
	50代	550	28.5	12.2	45.3	13.5	5.1	14.2	7.8	23.6	17.8	13.6	35.6	16.0	7.3	5.8	3.5	0.5	
	60代	493	33.7	7.5	44.6	15.6	8.1	10.3	8.3	25.6	13.0	17.0	37.3	17.8	6.5	4.5	3.9	1.2	
	70歳以上	559	28.6	6.3	44.9	15.4	7.5	8.4	5.2	24.5	15.7	25.8	28.4	19.0	8.6	5.4	2.0	3.4	
居住小学校区別	豊川小学校区	120	36.7	20.0	46.7	11.7	7.5	15.0	11.7	16.7	16.7	11.7	30.8	14.2	10.8	5.0	5.8	0.8	
	桜木小学校区	107	25.2	17.8	38.3	11.2	3.7	14.0	15.9	24.3	15.0	18.7	28.0	17.8	8.4	9.3	5.6	1.9	
	豊小学校区	100	38.0	11.0	40.0	15.0	5.0	13.0	14.0	13.0	10.0	16.0	38.0	12.0	7.0	6.0	4.0	2.0	
	東部小学校区	89	30.3	16.9	38.2	9.0	9.0	12.4	15.7	19.1	15.7	15.7	36.0	12.4	6.7	3.4	0.0	3.4	
	金星小学校区	80	21.3	8.8	33.8	21.3	8.8	10.0	13.8	28.8	16.3	25.0	40.0	17.5	6.3	2.5	1.3	0.0	
	三蔵子小学校区	130	33.8	14.6	39.2	17.7	4.6	15.4	8.5	28.5	16.9	18.5	28.5	14.6	5.4	5.4	3.8	0.8	
	桜町小学校区	83	34.9	12.0	49.4	10.8	4.8	9.6	10.8	13.3	18.1	19.3	32.5	13.3	9.6	3.6	2.4	1.2	
	代田小学校区	121	25.6	14.9	39.7	12.4	5.0	12.4	12.4	19.8	16.5	13.2	38.0	11.6	9.9	9.1	8.3	0.0	
	中部小学校区	154	31.8	13.6	39.0	12.3	7.1	7.8	13.0	24.0	18.8	10.4	38.3	14.3	11.7	4.5	3.9	1.3	
	牛久保小学校区	112	29.5	11.6	46.4	7.1	4.5	4.5	17.0	18.8	15.2	16.1	40.2	17.9	9.8	9.8	0.9	0.9	
	天王小学校区	66	33.3	4.5	31.8	15.2	4.5	9.1	10.6	15.2	16.7	10.6	37.9	16.7	10.6	7.6	4.5	0.0	
	国府小学校区	193	35.2	17.1	37.8	16.6	4.1	9.3	11.9	24.4	18.1	17.6	33.7	14.0	4.7	6.7	2.1	1.6	
	御油小学校区	138	25.4	11.6	39.1	17.4	5.1	11.6	10.1	21.7	18.1	15.2	31.9	13.8	2.2	5.8	4.3	1.4	
	千両小学校区	29	37.9	13.8	51.7	13.8	0.0	10.3	10.3	24.1	13.8	20.7	31.0	24.1	3.4	6.9	0.0	0.0	
	八南小学校区	168	31.0	11.9	44.0	12.5	8.9	13.7	12.5	22.0	14.3	13.7	32.1	20.2	4.8	6.0	3.6	0.0	
	平尾小学校区	68	30.9	14.7	45.6	11.8	5.9	8.8	11.8	27.9	16.2	17.6	27.9	11.8	7.4	8.8	7.4	1.5	
	一宮東部小学校区	58	32.8	13.8	34.5	10.3	12.1	13.8	12.1	25.9	19.0	6.9	34.5	22.4	8.6	6.9	0.0	1.7	
	一宮西部小学校区	122	27.9	14.8	47.5	13.1	2.5	7.4	12.3	21.3	19.7	20.5	36.1	13.1	9.8	2.5	3.3	0.8	
	一宮南部小学校区	35	37.1	8.6	45.7	17.1	5.7	11.4	8.6	17.1	14.3	20.0	40.0	14.3	5.7	5.7	2.9	0.0	
	赤坂小学校区	69	23.2	18.8	31.9	13.0	5.8	14.5	18.8	21.7	24.6	26.1	29.0	5.8	2.9	7.2	1.4	2.9	
長沢小学校区	41	36.6	14.6	48.8	17.1	0.0	14.6	12.2	19.5	14.6	26.8	26.8	4.9	7.3	2.4	0.0	0.0		
菟小学校区	20	10.0	5.0	40.0	15.0	5.0	20.0	5.0	30.0	20.0	15.0	30.0	10.0	15.0	0.0	0.0	0.0		
御津南部小学校区	130	35.4	13.1	42.3	14.6	6.2	12.3	8.5	25.4	11.5	17.7	41.5	9.2	7.7	1.5	3.1	0.8		
御津北部小学校区	42	33.3	21.4	38.1	21.4	9.5	14.3	4.8	23.8	9.5	14.3	31.0	7.1	11.9	7.1	9.5	0.0		
小坂井東小学校区	121	31.4	14.0	42.1	14.9	5.0	9.1	14.0	16.5	23.1	12.4	33.9	17.4	6.6	7.4	6.6	2.5		
小坂井西小学校区	155	28.4	14.2	50.3	18.1	5.2	10.3	11.0	27.1	13.5	11.6	32.3	17.4	7.7	4.5	3.9	0.0		
「緑・自然の豊かさ」の満足度	満足	574	29.6	15.9	41.6	13.8	5.9	13.4	12.9	22.8	17.4	15.0	36.8	14.3	8.9	7.3	4.0	3.3	
	まあ満足	1,508	31.6	13.9	41.8	15.2	5.5	10.7	12.8	22.5	16.6	16.0	35.4	12.5	6.4	4.8	3.2	1.4	
	やや不満	265	30.2	12.5	43.4	11.7	5.3	10.6	9.8	22.3	16.2	15.8	30.2	22.6	11.7	7.2	6.4	1.1	
	不満	76	35.5	11.8	38.2	10.5	11.8	15.8	6.6	15.8	13.2	14.5	22.4	35.5	14.5	10.5	2.6	1.3	
	わからない	152	22.4	12.5	32.9	15.8	4.6	5.9	9.9	25.0	15.1	15.8	31.6	11.2	3.9	1.3	3.3	2.0	
「公園の状況」の満足度	満足	347	28.0	18.4	38.9	15.3	5.5	15.9	12.4	20.7	19.0	12.7	33.1	13.3	11.0	9.8	3.7	1.4	
	まあ満足	1,278	33.2	13.5	42.4	14.4	5.3	10.3	12.1	23.1	17.6	16.5	34.4	14.9	6.8	5.7	2.3	1.4	
	やや不満	492	30.9	15.9	40.9	14.8	6.9	13.6	16.3	24.0	13.0	15.9	37.2	14.4	7.9	4.5	6.3	0.6	
	不満	154	37.7	16.9	39.6	10.4	11.0	11.7	18.8	15.6	11.0	18.2	23.4	18.8	4.5	7.1	12.3	0.0	
	わからない	313	19.8	6.4	42.2	13.4	3.2	6.1	2.9	23.3	17.3	14.4	36.7	12.5	8.0	1.6	1.3	1.9	

全体より10%以上

全体より5%以上

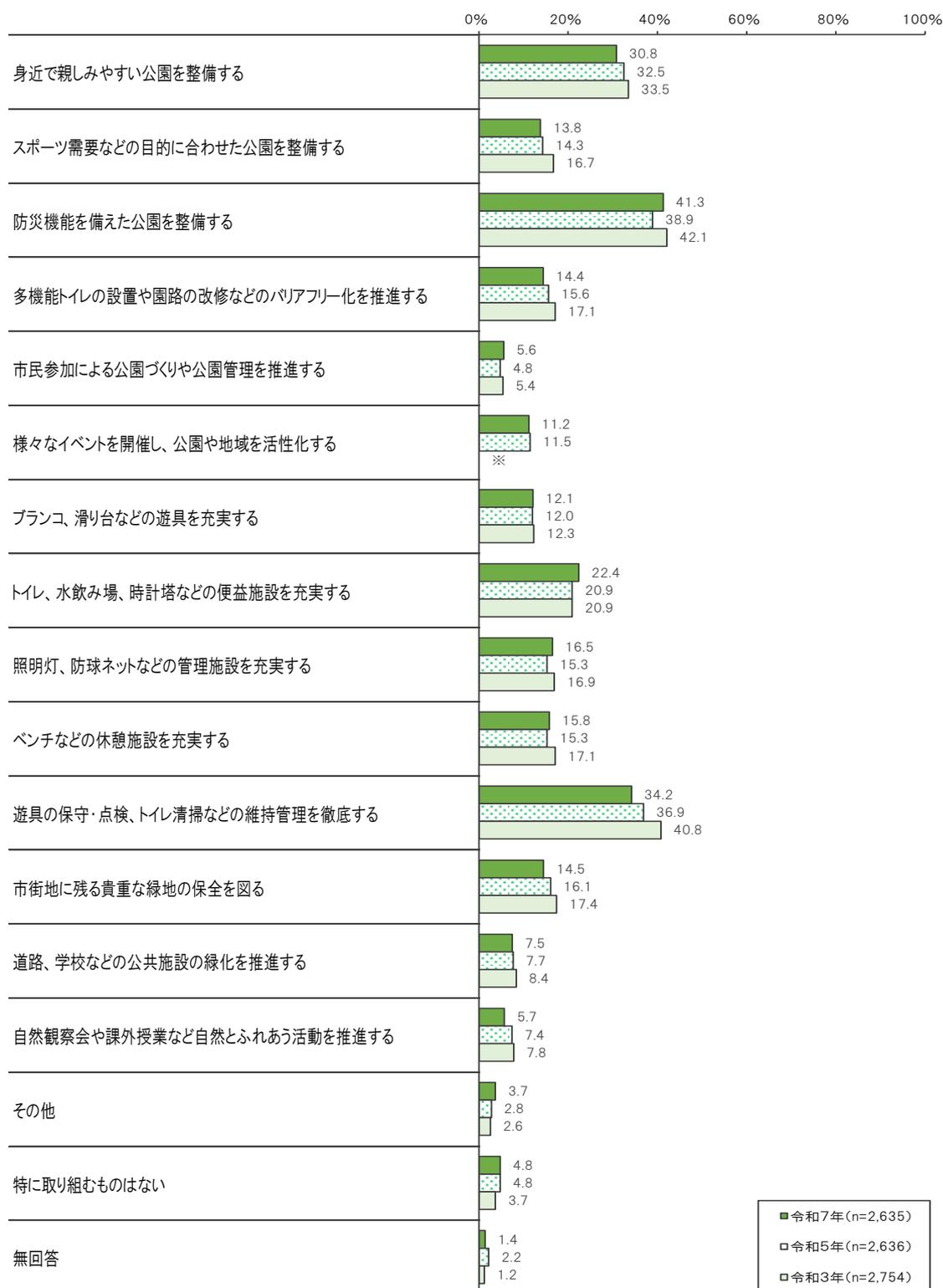
全体より5%以下

全体より10%以下

◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して増加した項目は、「防災機能を備えた公園を整備する」(2.4ポイント増)などとなっている。一方、前回調査と比較して減少した項目は、「遊具の保守・点検、トイレ清掃などの維持管理を徹底する」(2.7ポイント減)などとなっている。
【図表 191】

図表 191 公園の整備や緑地の保全のために行政が取り組むべきこと（経年比較）



※調査項目に含まれず

4 河川の整備のために行政が取り組むべきこと

問15 あなたは、河川の整備について、行政が今後どのようなことに取り組むべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで○印をつけてください。

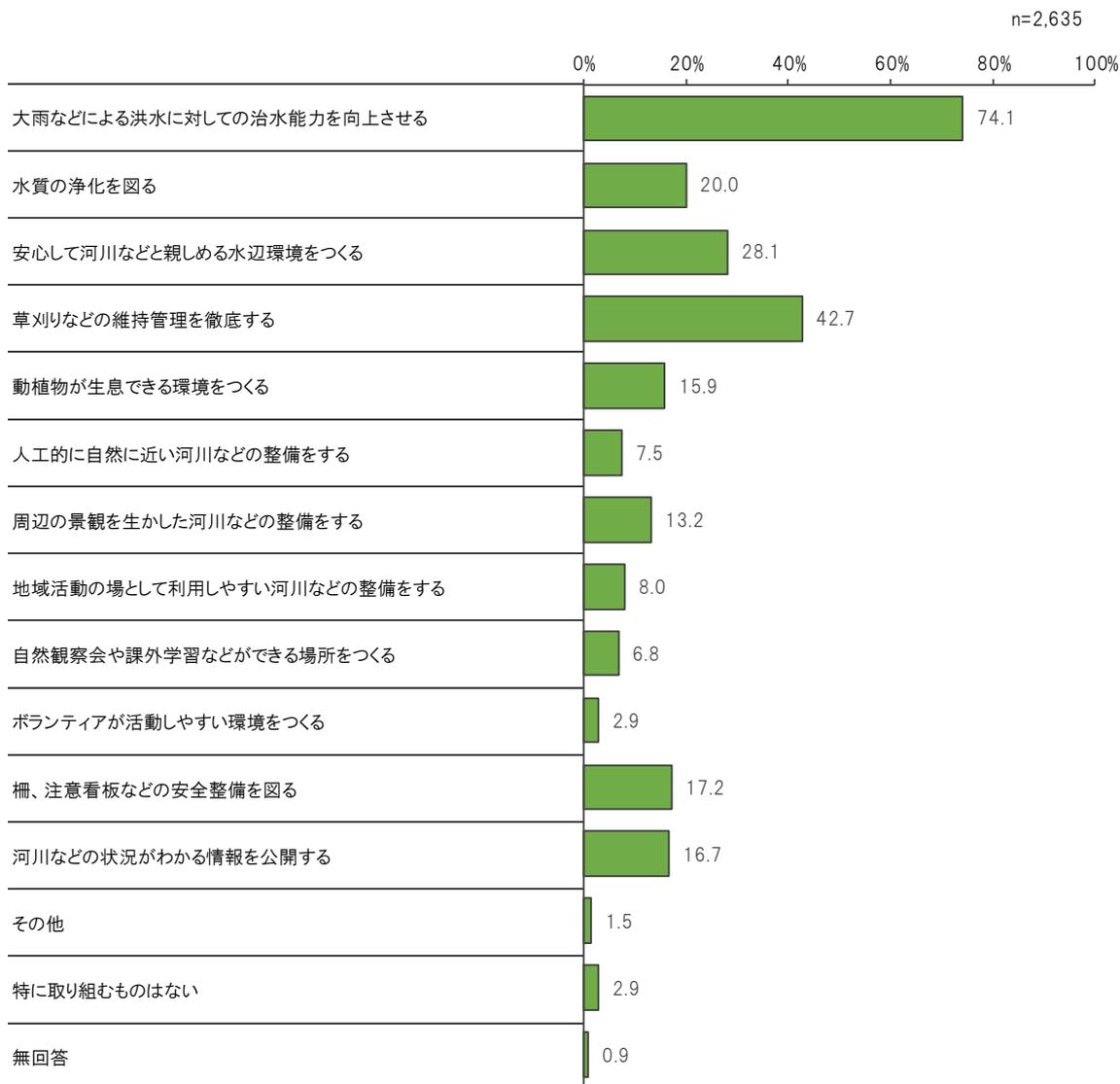
◆ 河川の整備について行政が取り組むべきことは「大雨などによる洪水に対しての治水能力を向上させる」が74.1%、「草刈りなどの維持管理を徹底する」が42.7%

河川の整備について行政が取り組むべきことは、「大雨などによる洪水に対しての治水能力を向上させる」(74.1%)が最も高く、「草刈りなどの維持管理を徹底する」(42.7%)、「安心して河川などと親しめる水辺環境をつくる」(28.1%)の順となっている。【図表 192】

性別でみると、最も差がある項目「柵、注意看板などの安全整備を図る」では「女性」(20.8%)が「男性」(13.2%)を7.6ポイント上回っている。【図表 193】

小学校区別でみると、全体平均と比較して「大雨などによる洪水に対しての治水能力を向上させる」では「桜町小学校区」(84.3%)、「草刈りなどの維持管理を徹底する」では「千両小学校区」(55.2%)、「御津南部小学校区」(53.8%)、「桜町小学校区」(53.0%)、「動植物が生息できる環境をつくる」では「千両小学校区」(27.6%)の割合が高くなっている。【図表 193】

図表 192 河川の整備のために行政が取り組むべきこと (全体)



図表 193 河川の整備のために行政が取り組むべきこと（全体・性別・小学校区別）

（%）

		件数	大雨などによる洪水に対する治水能力を向上させる	水質の浄化を図る	安心して河川など親しめる水辺環境をつくる	草刈りなどの維持管理を徹底する	動植物が生息できる環境をつくる	人工的に自然に近い河川などの整備をする	周辺の景観を生かした河川などの整備をする	地域活動の場として利用しやすい河川などの整備をする	自然観察会や課外学習などができる場所をつくる	ボランティアが活動しやすい環境をつくる	柵、注意看板などの安全整備を図る	河川などの状況がわかる情報を公開する	その他	特に取り組むものはない	無回答
全体		2,635	74.1	20.0	28.1	42.7	15.9	7.5	13.2	8.0	6.8	2.9	17.2	16.7	1.5	2.9	0.9
性別	男性	1,096	75.6	21.9	30.5	40.8	15.9	9.8	14.0	10.2	6.3	3.7	13.2	15.5	2.3	2.6	0.6
	女性	1,390	73.3	19.0	26.5	43.8	15.8	5.7	12.6	6.5	7.1	2.3	20.8	17.8	0.9	3.3	0.9
居住 小学校区別	豊川小学校区	120	70.0	26.7	21.7	34.2	17.5	10.0	10.0	7.5	12.5	5.8	18.3	16.7	1.7	2.5	0.8
	桜木小学校区	107	70.1	24.3	31.8	41.1	17.8	12.1	16.8	4.7	3.7	1.9	15.9	14.0	3.7	3.7	1.9
	豊小学校区	100	74.0	16.0	35.0	37.0	17.0	2.0	11.0	10.0	0.0	4.0	21.0	13.0	0.0	4.0	1.0
	東部小学校区	89	77.5	19.1	27.0	40.4	11.2	4.5	10.1	6.7	10.1	3.4	20.2	21.3	0.0	2.2	2.2
	金屋小学校区	80	71.3	22.5	28.8	50.0	20.0	6.3	22.5	2.5	3.8	6.3	13.8	15.0	1.3	5.0	0.0
	三蔵子小学校区	130	70.0	20.0	23.8	49.2	16.9	2.3	11.5	3.1	9.2	2.3	22.3	13.8	0.0	3.8	1.5
	桜町小学校区	83	84.3	15.7	25.3	53.0	12.0	7.2	7.2	3.6	3.6	2.4	15.7	25.3	3.6	1.2	0.0
	代田小学校区	121	77.7	15.7	30.6	52.1	12.4	6.6	15.7	5.8	5.8	2.5	19.0	12.4	4.1	3.3	0.0
	中部小学校区	154	74.0	20.1	30.5	47.4	16.2	4.5	9.1	10.4	6.5	5.2	11.7	16.9	1.9	1.9	1.3
	牛久保小学校区	112	75.0	24.1	29.5	38.4	16.1	6.3	19.6	3.6	9.8	0.0	17.9	18.8	0.9	4.5	0.9
	天王小学校区	66	71.2	15.2	22.7	37.9	16.7	12.1	12.1	7.6	9.1	3.0	12.1	19.7	1.5	9.1	0.0
	国府小学校区	193	77.7	22.3	29.5	41.5	19.2	5.7	11.4	10.4	7.3	2.6	14.5	10.9	1.0	1.6	0.5
	御油小学校区	138	65.9	16.7	33.3	32.6	15.2	7.2	14.5	13.0	3.6	3.6	18.1	19.6	0.7	4.3	1.4
	千両小学校区	29	69.0	13.8	27.6	55.2	27.6	10.3	17.2	6.9	10.3	0.0	13.8	17.2	3.4	0.0	0.0
	八南小学校区	168	76.8	17.9	26.2	46.4	17.3	8.9	13.1	7.1	4.8	4.8	17.9	14.3	0.0	2.4	0.0
	平尾小学校区	68	63.2	22.1	25.0	45.6	19.1	1.5	13.2	11.8	14.7	2.9	19.1	19.1	2.9	1.5	0.0
	一宮東部小学校区	58	70.7	13.8	34.5	32.8	12.1	10.3	17.2	20.7	8.6	0.0	12.1	17.2	0.0	1.7	1.7
	一宮西部小学校区	122	75.4	23.8	35.2	41.0	13.1	10.7	15.6	5.7	8.2	0.0	10.7	20.5	1.6	0.8	0.0
	一宮南部小学校区	35	71.4	14.3	31.4	40.0	8.6	2.9	11.4	17.1	8.6	5.7	11.4	25.7	5.7	0.0	2.9
	赤坂小学校区	69	76.8	14.5	24.6	50.7	15.9	15.9	15.9	11.6	10.1	1.4	15.9	10.1	1.4	2.9	0.0
	長沢小学校区	41	70.7	17.1	31.7	29.3	17.1	14.6	12.2	12.2	9.8	0.0	14.6	17.1	0.0	4.9	0.0
	萩小学校区	20	55.0	25.0	35.0	30.0	25.0	10.0	15.0	5.0	5.0	5.0	20.0	5.0	0.0	10.0	0.0
	御津南部小学校区	130	76.2	16.2	24.6	53.8	10.0	6.9	11.5	8.5	4.6	2.3	18.5	24.6	0.8	0.8	0.8
御津北部小学校区	42	73.8	23.8	31.0	42.9	23.8	11.9	14.3	9.5	7.1	0.0	23.8	9.5	4.8	2.4	0.0	
小坂井東小学校区	121	81.8	24.8	24.8	38.0	20.7	5.0	9.9	7.4	5.0	2.5	19.8	17.4	0.8	2.5	1.7	
小坂井西小学校区	155	82.6	23.2	22.6	38.7	13.5	9.7	13.5	7.1	5.2	1.3	20.0	19.4	0.6	3.2	0.0	

全体より10%以上

全体より5%以上

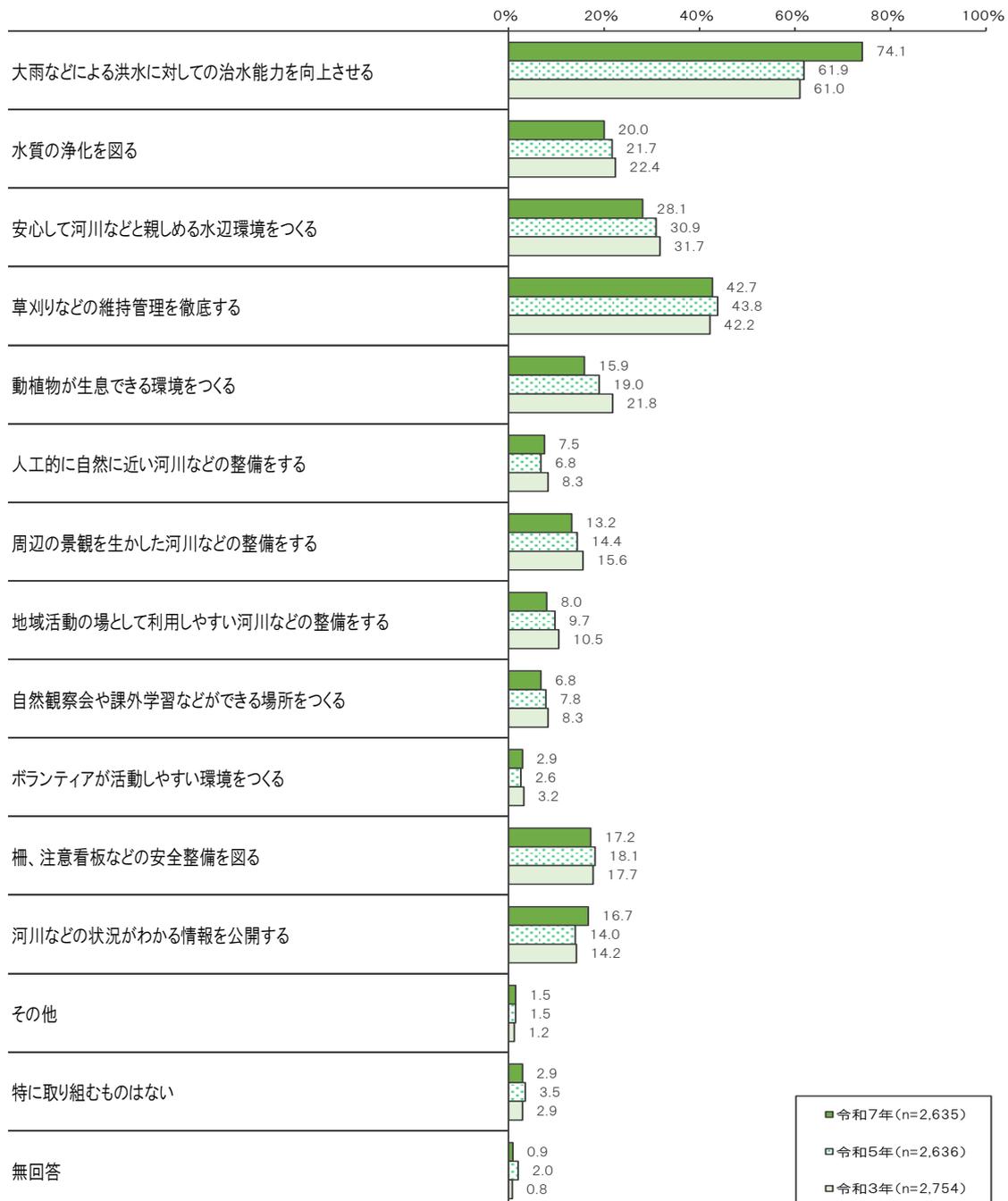
全体より5%以下

全体より10%以下

◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して増加した項目は、「大雨などによる洪水に対しての治水能力を向上させる」（12.2ポイント増）などとなっている。一方、前回調査と比較して減少した項目は、「動植物が生息できる環境をつくる」（3.1ポイント減）、などとなっている。【図表 194】

図表 194 河川の整備のために行政が取り組むべきこと（経年比較）



7 教育・文化について

1 地域づくりに向けた学校と地域との関わり

問 16 学校と地域が協力して地域づくりをしていくために、「学校公開日」や「登下校の見守り活動」などを実施しています。あなたは、協力して地域づくりをするために、学校と関わりを持っていききたいと思いませんか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。

◆ 地域づくりに向けた学校と地域との関わりについて “関わりを持っていききたい” が 42.9%、 “関わりを持ちたくない” が 23.0%

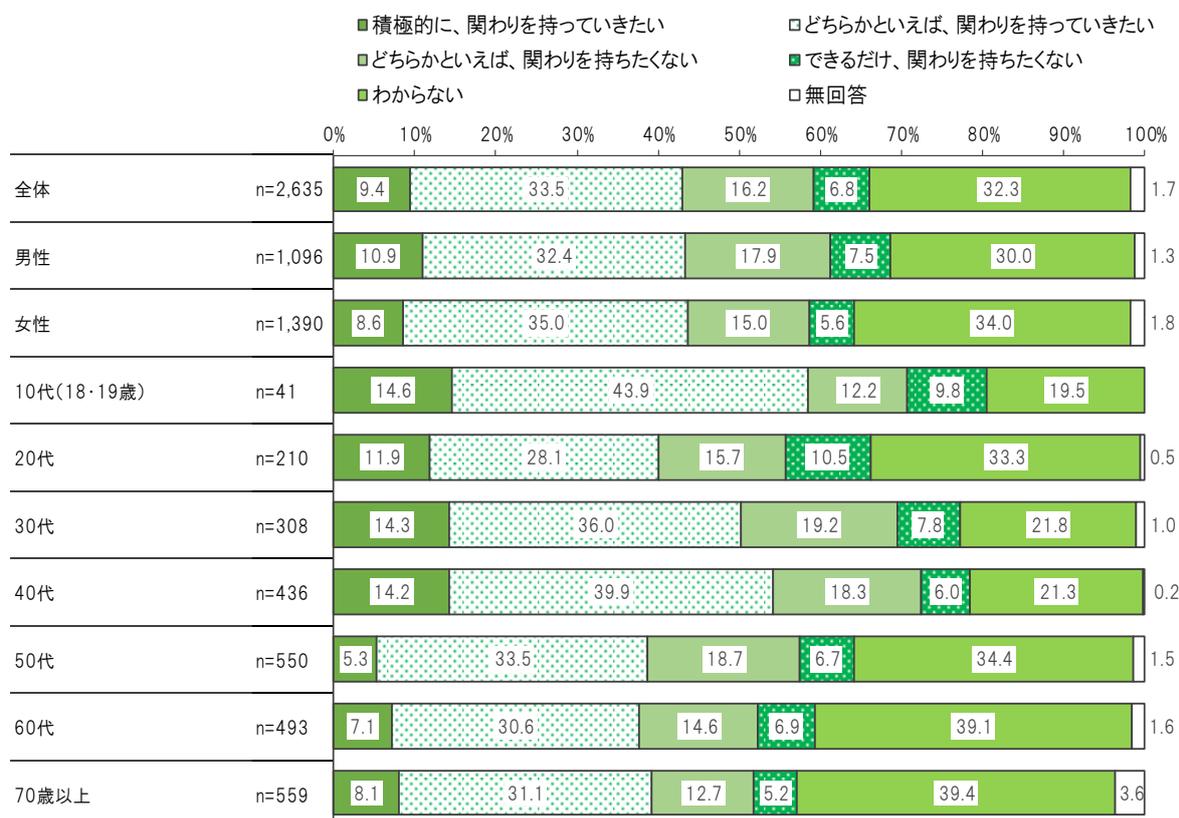
地域づくりに向けた学校と地域との関わりについて、「積極的に、関わりを持っていききたい」(9.4%)と「どちらかといえば、関わりを持っていききたい」(33.5%)をあわせた“関わりを持っていききたい”が42.9%となっている。一方、「どちらかといえば、関わりを持ちたくない」(16.2%)と「できるだけ、関わりを持ちたくない」(6.8%)をあわせた“関わりを持ちたくない”が23.0%となっている。【図表 195】

性別でみると、“関わりを持っていききたい”は「男性」(43.3%)が「女性」(43.6%)を0.3ポイント下回っている。【図表 195】

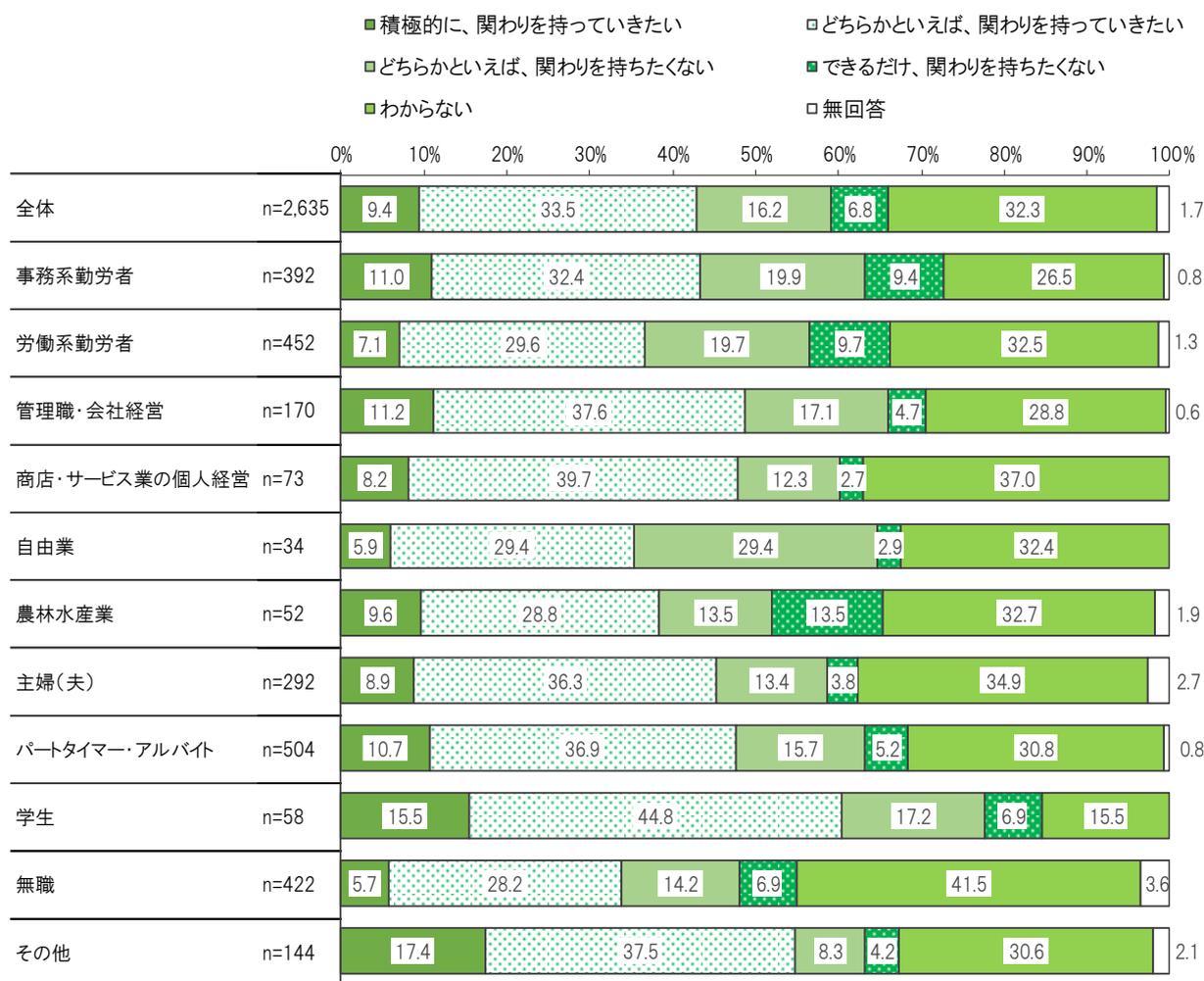
年齢別でみると、全体平均と比較して、“関わりを持っていききたい”は、「10代(18・19歳)」(58.5%)、「40代」(54.1%)での割合が高くなっている。【図表 195】

職業別でみると、全体平均と比較して、“関わりを持っていききたい”は、「学生」(60.3%)、「その他」(54.9%)、「管理職・会社経営」(48.8%)、「商店・サービス業の個人経営」(47.9%)、「パートタイマー・アルバイト」(47.6%)、「主婦(夫)」(45.2%)、「事務系勤労者」(43.4%)の割合が高くなっている。【図表 196】

図表 195 地域づくりに向けた学校と地域との関わり（全体・性別・年齢別）



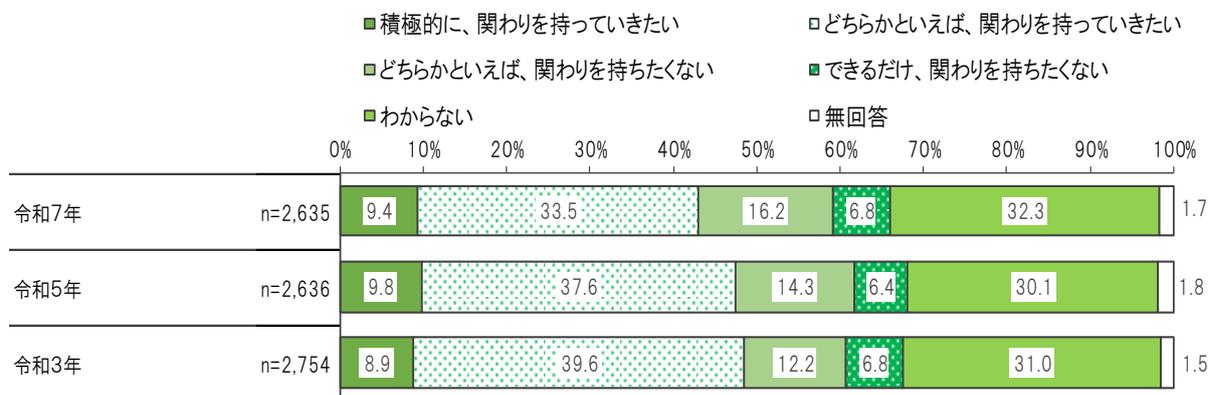
図表 196 地域づくりに向けた学校と地域との関わり（全体・職業別）



◆ 経年比較 ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して減少した項目は、「どちらかといえば、関わりを持っていきたい」（4.1ポイント減）などとなっている。【図表 197】

図表 197 地域づくりに向けた学校と地域との関わり（経年比較）



2 生涯学習の活動状況

問 17 あなたは、生涯学習としてどのような活動をしていますか。次の中からあてはまるものすべてに○印をつけてください。

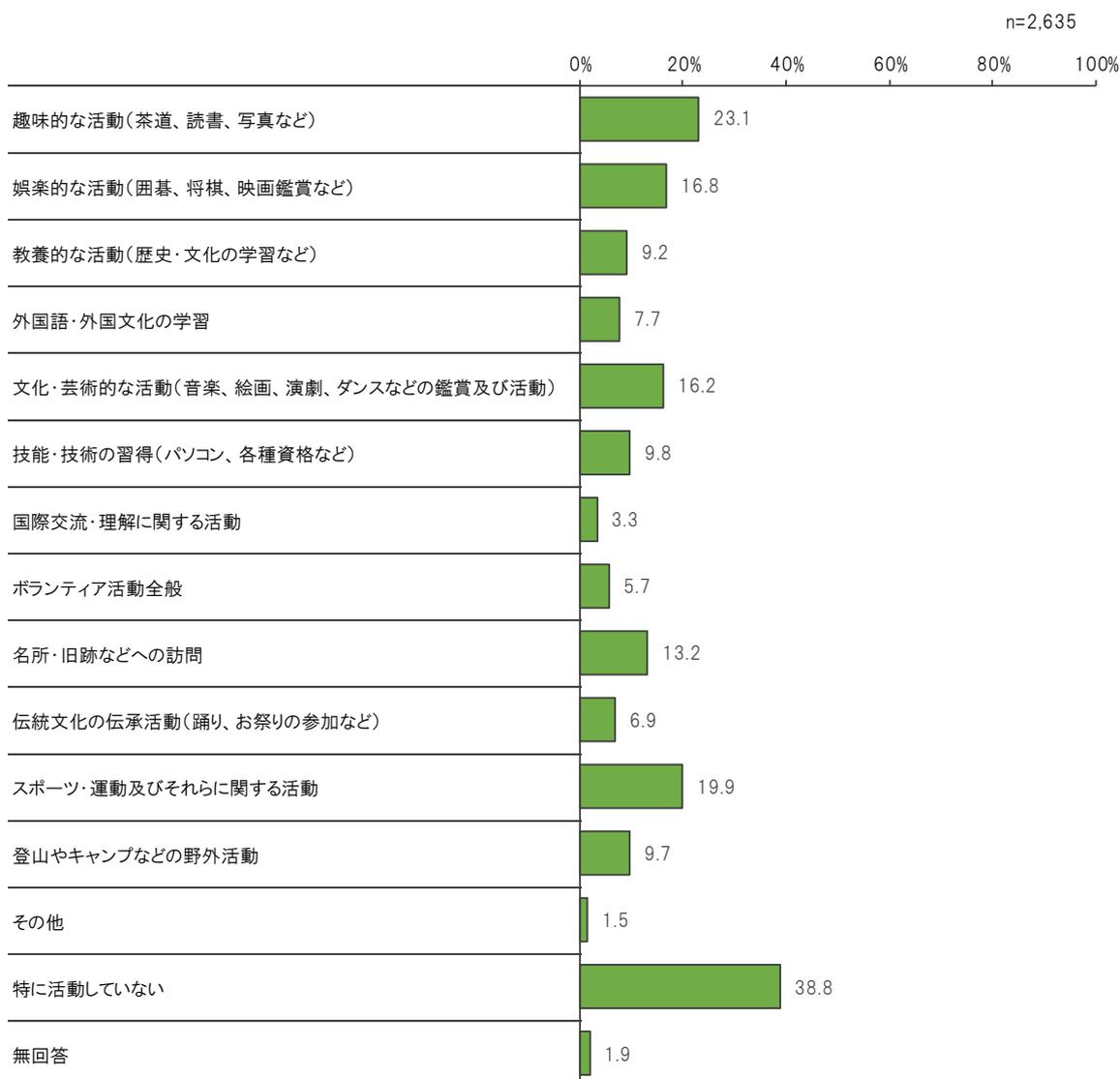
◆ 生涯学習の活動状況は「特に活動していない」が38.8%

生涯学習の活動状況は、「特に活動していない」(38.8%)が最も高く、次いで「趣味的な活動(茶道、読書、写真など)」(23.1%)、「スポーツ・運動及びそれらに関する活動」(19.9%)の順となっている。【図表 198】

性別でみると、「スポーツ・運動及びそれらに関する活動」では「男性」(26.6%)が「女性」(15.3%)を11.3ポイント上回り、「文化・芸術的な活動(音楽、絵画、演劇、ダンスなどの鑑賞及び活動)」では「女性」(19.1%)が「男性」(12.9%)を6.2ポイント上回っている。【図表 199】

年齢別でみると、「10代(18・19歳)」「20代」で全体平均よりも高い割合の項目が多く、特に「10代(18・19歳)」は全体より10%以上高い項目が多くなっている。一方で、「特に活動していない」は「60代」「70歳以上」の割合が高い。【図表 199】

図表 198 生涯学習の活動状況(全体)



図表 199 生涯学習の活動状況（全体・性別・年齢別）

（%）

		件数	趣味的な活動（茶道、読書、写真など）	娯楽的な活動（囲碁、将棋、映画鑑賞など）	教養的な活動（歴史・文化の学習など）	外国語・外国文化の学習	文化・芸術的な活動（音楽、絵画、演劇、ダンスなどの鑑賞及び活動）	技能・技術の習得（パソコン、各種資格など）	国際交流・理解に関する活動	ボランティア活動全般	名所・旧跡などへの訪問	伝統文化の伝承活動（踊り、お祭りの参加など）	スポーツ・運動及びそれらに関する活動	登山やキャンプなどの野外活動	その他	特に活動していない	無回答
全体		2,635	23.1	16.8	9.2	7.7	16.2	9.8	3.3	5.7	13.2	6.9	19.9	9.7	1.5	38.8	1.9
性別	男性	1,096	23.4	18.6	12.1	8.0	12.9	13.0	3.9	5.7	16.8	6.5	26.6	12.7	1.5	33.8	1.7
	女性	1,390	23.6	15.4	7.0	7.4	19.1	7.6	2.7	5.6	11.0	7.5	15.3	8.1	1.6	42.3	1.6
年齢別	10代(18・19歳)	41	41.5	46.3	17.1	19.5	31.7	24.4	4.9	9.8	12.2	14.6	24.4	9.8	0.0	29.3	0.0
	20代	210	37.1	28.6	7.1	13.3	23.3	14.8	4.3	2.9	9.0	8.6	22.4	11.4	1.0	24.8	0.5
	30代	308	30.5	26.3	7.8	10.1	18.5	14.0	5.5	3.6	11.4	7.1	24.0	13.0	1.3	33.8	0.3
	40代	436	21.3	18.1	9.4	10.1	12.8	12.8	5.3	5.0	12.6	8.3	24.8	15.6	1.1	38.8	0.9
	50代	550	23.3	16.5	9.5	9.1	17.6	9.1	3.3	6.2	16.7	6.2	18.9	10.4	1.8	38.7	1.1
	60代	493	21.1	12.8	8.9	4.7	14.0	8.1	1.6	5.1	13.2	4.7	16.8	6.7	1.2	44.2	2.0
	70歳以上	559	15.7	7.7	9.8	3.2	14.1	4.7	1.6	8.2	12.9	7.0	16.8	4.7	2.3	43.3	4.1

全体より10%以上

全体より5%以上

全体より5%以下

全体より10%以下

3 スポーツや運動の頻度

問 18 あなたは、どの程度の頻度でスポーツや運動をしていますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。なお、スポーツには、ウォーキング、ハイキング、体操、ダンス、ヨガなども含まれます。

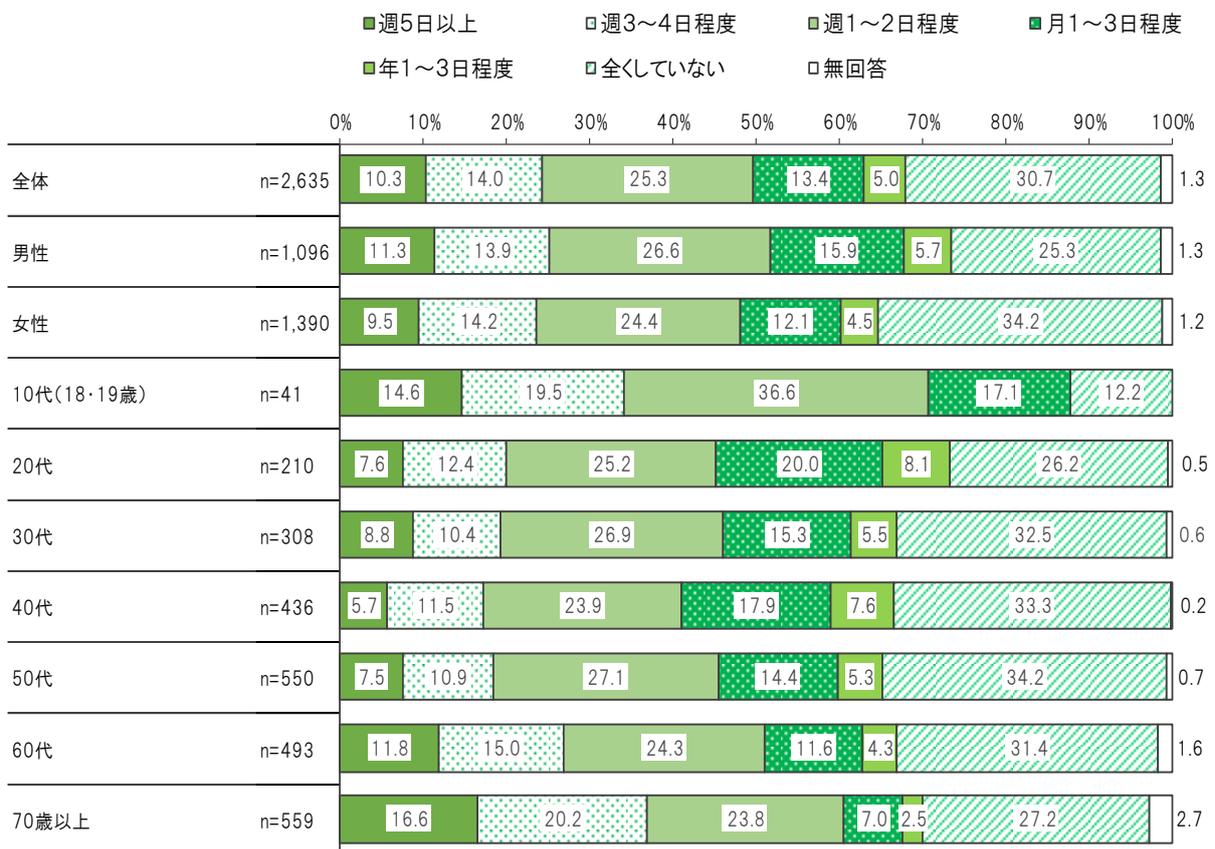
◆ スポーツや運動の頻度は「全くしていない」が30.7%

スポーツや運動の頻度は、「全くしていない」(30.7%)が最も高く、次いで「週1～2日程度」(25.3%)、「週3～4日程度」(14.0%)の順となっている。【図表 200】

性別でみると、「全くしていない」では「女性」(34.2%)が「男性」(25.3%)を8.9ポイント上回っている。【図表 200】

年齢別でみると、全体平均と比較して、「週5日以上」は「70歳以上」が16.6%と高く、「40代」(5.7%)は低くなっている。一方、「全くしていない」は、「50代」(34.2%)の割合が高く、「10代(18・19歳)」(12.2%)、「20代」(26.2%)の割合が低くなっている。【図表 200】

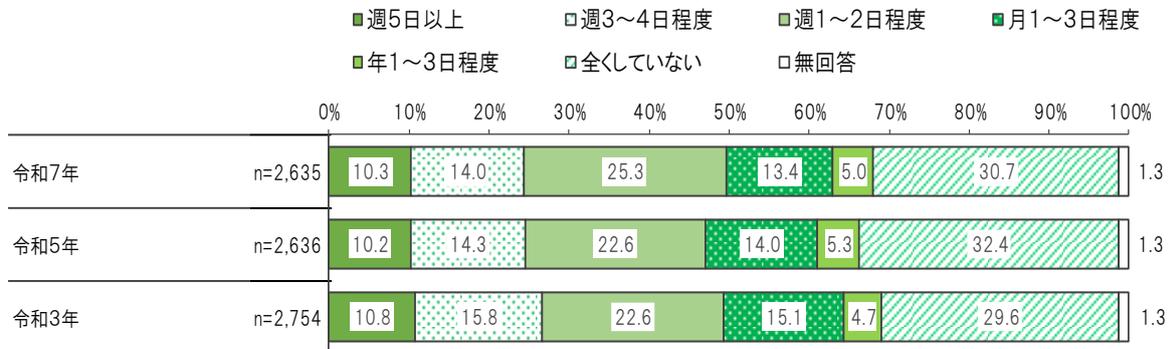
図表 200 スポーツや運動の頻度 (全体・性別・年齢別)



◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較で見ると、前回調査と比較して増加した項目は、「週1～2日程度」(2.7ポイント増)などとなっている。一方、前回調査と比較して減少した項目は、「全くしていない」(1.7ポイント減)などとなっている。【図表 201】

図表 201 スポーツや運動の頻度 (経年比較)



※「週5日以上」について、前回調査までは「毎日」と表記

4 文化・芸術の振興のために行政が取り組むべきこと

問 19 あなたは、文化・芸術の振興のために、行政が今後どのようなことに取り組むべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで○印をつけてください。

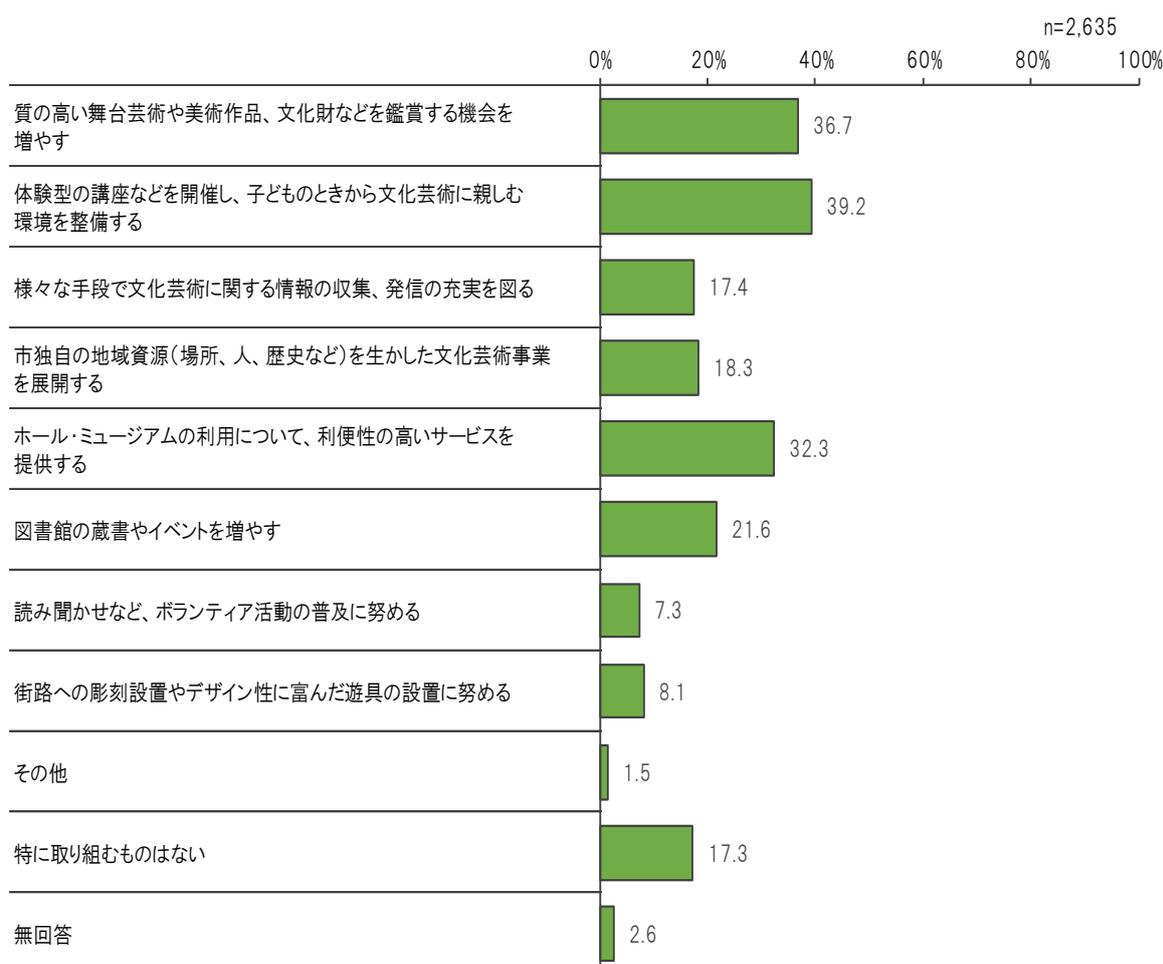
◆ 文化・芸術の振興のために行政が取り組むべきことは「体験型の講座などを開催し、子どものときから文化芸術に親しむ環境を整備する」が39.2%

文化・芸術の振興のために行政が取り組むべきことは、「体験型の講座などを開催し、子どものときから文化芸術に親しむ環境を整備する」(39.2%)が最も高く、次いで「質の高い舞台芸術や美術作品、文化財などを鑑賞する機会を増やす」(36.7%)、「ホール・ミュージアムの利用について、利便性の高いサービスを提供する」(32.3%)の順となっている。【図表 202】

性別でみると、最も差がある項目「体験型の講座などを開催し、子どものときから文化芸術に親しむ環境を整備する」では、「女性」(42.9%)が「男性」(35.3%)を7.6ポイント上回り、「質の高い舞台芸術や美術作品、文化財などを鑑賞する機会を増やす」では、「女性」(40.4%)が「男性」(33.5%)を6.9ポイント上回っている。【図表 203】

年齢別でみると、全体平均と比較して、「体験型の講座などを開催し、子どものときから文化芸術に親しむ環境を整備する」では「30代」(47.7%)、「40代」(46.8%)、「70歳以上」では「市独自の地域資源(場所、人、歴史など)を生かした文化芸術事業を展開する」(24.0%)の割合が高くなっている。【図表 203】

図表 202 文化・芸術の振興のために行政が取り組むべきこと (全体)



図表 203 文化・芸術の振興のために行政が取り組むべきこと（全体・性別・年齢別）

		件数	機会を増やす	質の高い舞台芸術や美術作品、文化財などを鑑賞する	体験型の講座などを開催し、子どものときから文化芸術に親しむ環境を整備する	様々な手段で文化芸術に関する情報の収集、発信の充実を図る	市独自の地域資源（場所、人、歴史など）を生かした文化芸術事業を展開する	ホール・ミュージアムについて、利便性の高いサービスを提供する	図書館の蔵書やイベントを増やす	読み聞かせなど、ボランティア活動の普及に努める	街路への彫刻設置やデザイン性に富んだ遊具の設置に努める	その他	特に取り組むものはない	無回答
全体		2,635	36.7	39.2	17.4	18.3	32.3	21.6	7.3	8.1	1.5	17.3	2.6	
性別	男性	1,096	33.5	35.3	18.2	21.4	33.6	22.4	7.0	8.8	1.7	19.1	1.9	
	女性	1,390	40.4	42.9	17.0	16.0	31.5	21.4	7.8	8.1	1.3	15.4	2.4	
年齢別	10代(18・19歳)	41	41.5	36.6	14.6	22.0	36.6	22.0	4.9	14.6	0.0	14.6	0.0	
	20代	210	27.6	39.5	12.4	13.3	28.1	24.8	7.6	16.2	0.5	20.0	1.0	
	30代	308	28.9	47.7	16.9	14.3	30.2	23.7	11.7	10.7	1.6	19.2	0.3	
	40代	436	36.7	46.8	13.5	15.8	32.8	23.2	6.9	7.1	3.2	16.5	0.7	
	50代	550	37.8	40.0	15.5	17.3	33.8	20.0	4.2	5.8	1.3	17.8	1.8	
	60代	493	41.0	37.3	21.5	18.9	36.1	20.7	8.3	7.7	0.8	15.6	2.6	
	70歳以上	559	40.1	30.4	20.9	24.0	29.2	20.4	7.9	7.0	1.4	17.4	5.9	

全体より10%以上

全体より5%以上

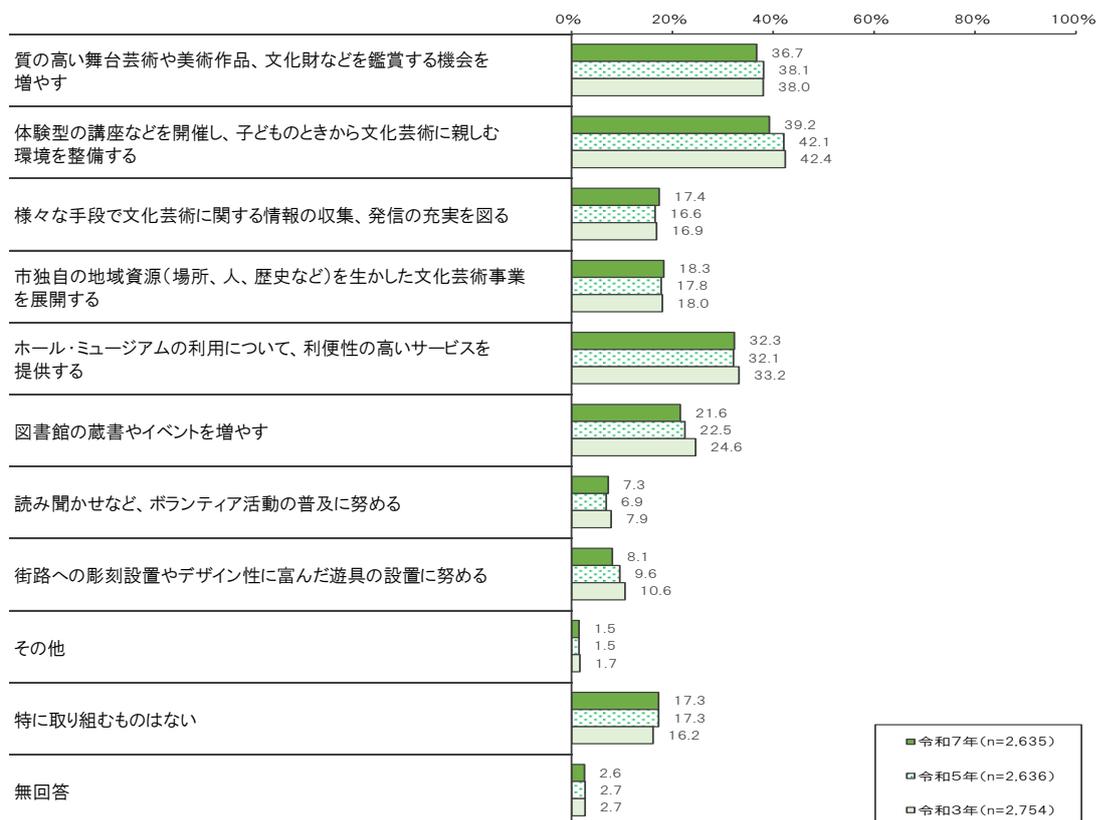
全体より5%以下

全体より10%以下

◆ 経年比較 ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して増加した項目は、「様々な手段で文化芸術に関する情報の収集、発信の充実を図る」(0.8ポイント増)などとなっている。一方、前回調査と比較して減少した項目は、「体験型の講座などを開催し、子どものときから文化芸術に親しむ環境を整備する」(2.9ポイント減)などとなっている。【図表 204】

図表 204 文化・芸術の振興のために行政が取り組むべきこと（経年比較）



8 産業・雇用について

1 観光客増加のために取り組むべきこと

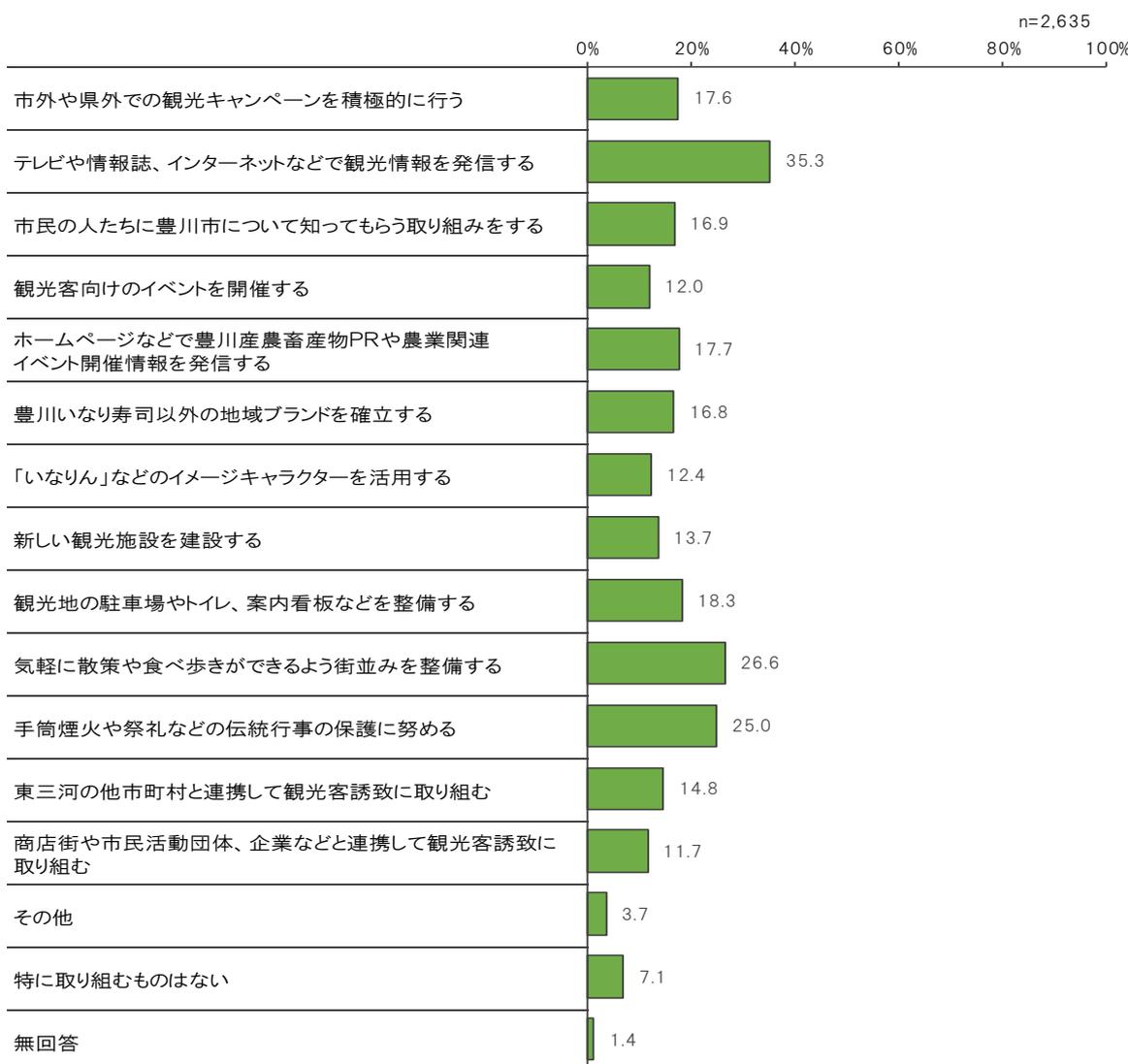
問20 あなたは、多くの観光客の方に豊川市に来ていただくために、どのようなことに取り組むべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで○印をつけてください。

◆ **観光客増加のために取り組むべきことは「テレビや情報誌、インターネットなどで観光情報を発信する」が35.3%**

観光客増加のために取り組むべきことは、「テレビや情報誌、インターネットなどで観光情報を発信する」(35.3%)が最も高く、次いで「気軽に散策や食べ歩きができるよう街並みを整備する」(26.6%)、「手筒煙火や祭礼などの伝統行事の保護に努める」(25.0%)、「観光地の駐車場やトイレ、案内看板などを整備する」(18.3%)の順となっている。【図表 205】

年齢別でみると、全体平均と比較して、「テレビや情報誌、インターネットなどで観光情報を発信する」では「10代(18・19歳)」(48.8%)、「手筒煙火や祭礼などの伝統行事の保護に努める」では「10代(18・19歳)」(36.6%)、「気軽に散策や食べ歩きができるよう街並みを整備する」では「20代」(32.4%)、「30代」(31.8%)、また、「70歳以上」では「ホームページなどで豊川産農畜産物PRや農業関連イベント開催情報を発信する」(26.3%)の割合が高くなっている。【図表 206】

図表 205 観光客増加のために取り組むべきこと (全体)



図表 206 観光客増加のために取り組むべきこと（全体・年齢別）

(%)

	件数	市外や県外での観光キャンペーンを積極的に	テレビや情報誌、インターネットなどで	観光情報を発信する	観光客向けのイベントを開催する	市民の人たちに豊川市について知ってもら	取り組む	観光客向けのイベントを開催する	ホームページなどで豊川産農畜産物PRや	農業関連イベント開催情報を発信する	豊川いなり寿司以外の地域ブランドを確立	する	「いなりん」などのイメージキャラクターを	活用する	新しい観光施設を建設する	整地	観光地の駐車場やトイレ、案内看板などを	整備する	気軽に散策や食べ歩きができるよう街並みを	整備する	手筒煙火や祭礼などの伝統行事の保護に	努める	東三河の他市町村と連携して観光客誘致に	取り組む	商店街や市民活動団体、企業などと連携して観	光客誘致に取り組む	その他	特に取り組むものはない	無回答
		行	観	取	観	取	取	取	取	取	取	取	取	取	取	取	取	取	取	取	取	取	取	取	取	取	取	取	取
全 体	2,635	17.6	35.3	16.9	12.0	17.7	16.8	12.4	13.7	18.3	26.6	25.0	14.8	11.7	3.7	7.1	1.4												
年齢別	10代(18・19歳)	41	19.5	48.8	24.4	17.1	4.9	19.5	22.0	7.3	2.4	22.0	36.6	4.9	9.8	0.0	9.8	0.0											
	20代	210	20.0	35.7	10.0	12.9	8.6	18.1	13.8	23.3	19.0	32.4	25.7	6.7	8.1	2.9	9.0	0.5											
	30代	308	14.9	32.5	16.2	12.7	10.1	20.5	16.9	19.5	16.2	31.8	28.2	9.7	9.7	4.9	8.1	0.3											
	40代	436	19.0	37.8	15.6	13.5	11.2	16.1	15.6	18.6	17.2	28.0	27.5	12.4	11.0	5.0	5.3	0.5											
	50代	550	16.7	36.9	12.9	12.0	17.3	18.0	14.0	12.4	15.6	29.5	24.0	15.8	14.2	5.3	5.6	0.5											
	60代	493	19.7	37.5	18.9	10.1	23.5	15.8	8.7	12.0	18.5	25.8	21.3	19.5	12.0	2.8	6.1	1.4											
	70歳以上	559	16.1	30.8	22.4	11.1	26.3	15.0	8.6	7.0	22.9	19.1	24.3	18.4	12.2	1.8	9.8	3.2											

全体より10%以上

全体より5%以上

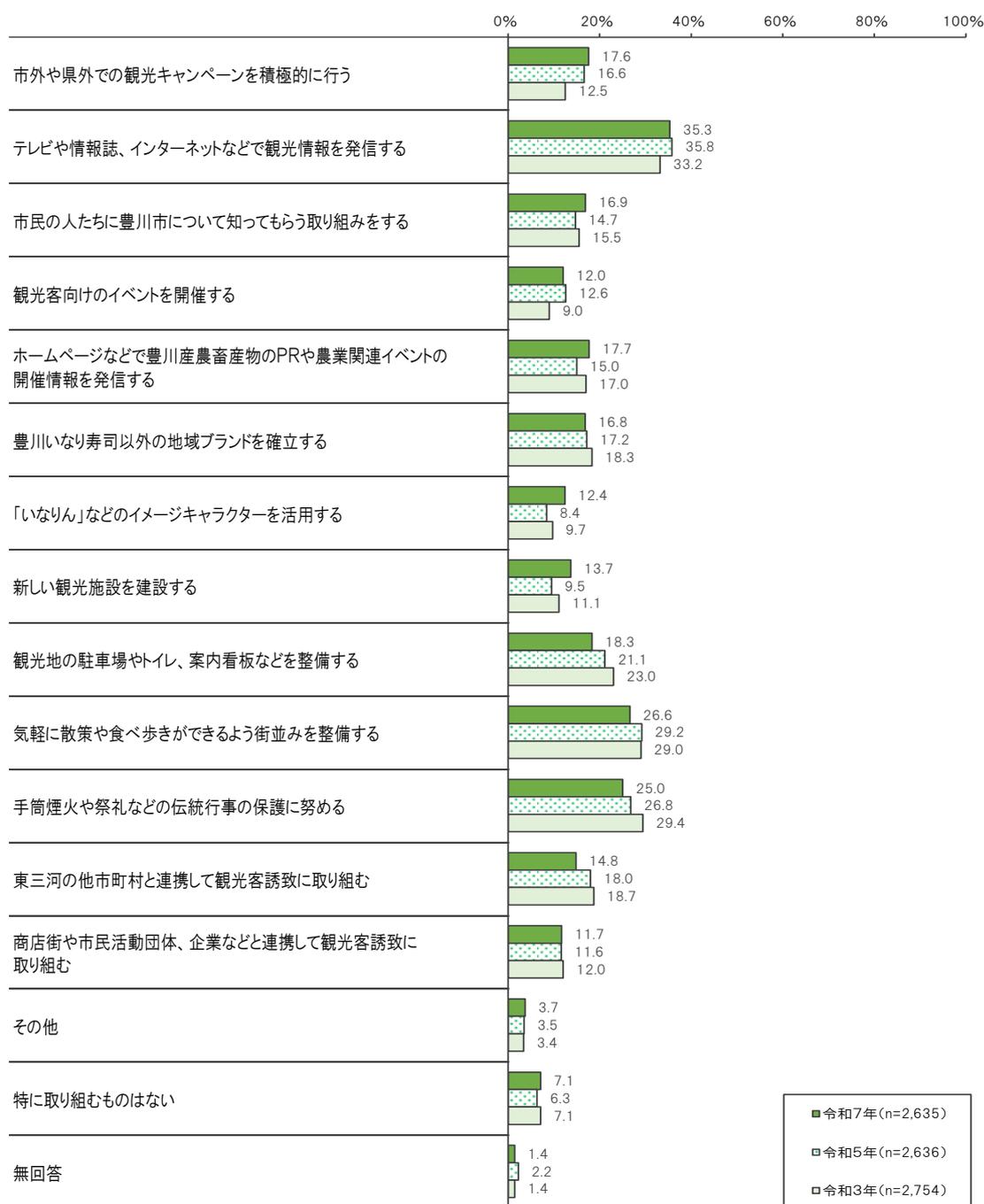
全体より5%以下

全体より10%以下

◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して増加した項目は、「新しい観光施設を建設する」(4.2ポイント増)、「「いなりん」などのイメージキャラクターを活用する」(4.0ポイント増)、「ホームページなどで豊川産農畜産物のPRや農業関連イベントの開催情報を発信する」(2.7ポイント増)などとなっている。一方、前回調査と比較して減少した項目は、「東三河の他市町村と連携して観光客誘致に取り組む」(3.2ポイント減)、「観光地の駐車場やトイレ、案内看板などを整備する」(2.8ポイント減)などとなっている。【図表 207】

図表 207 観光客増加のために取り組むべきこと（経年比較）



9 地域・行政について

1 まちづくり活動への参加状況

問 21 あなたは、まちづくり活動（町内会・お祭りなどの地域活動、NPO活動、ボランティア・市民活動など）に参加したことがありますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。

◆ まちづくり活動への参加状況は“参加したことがある”が59.9%、“参加したことがない”が39.0%

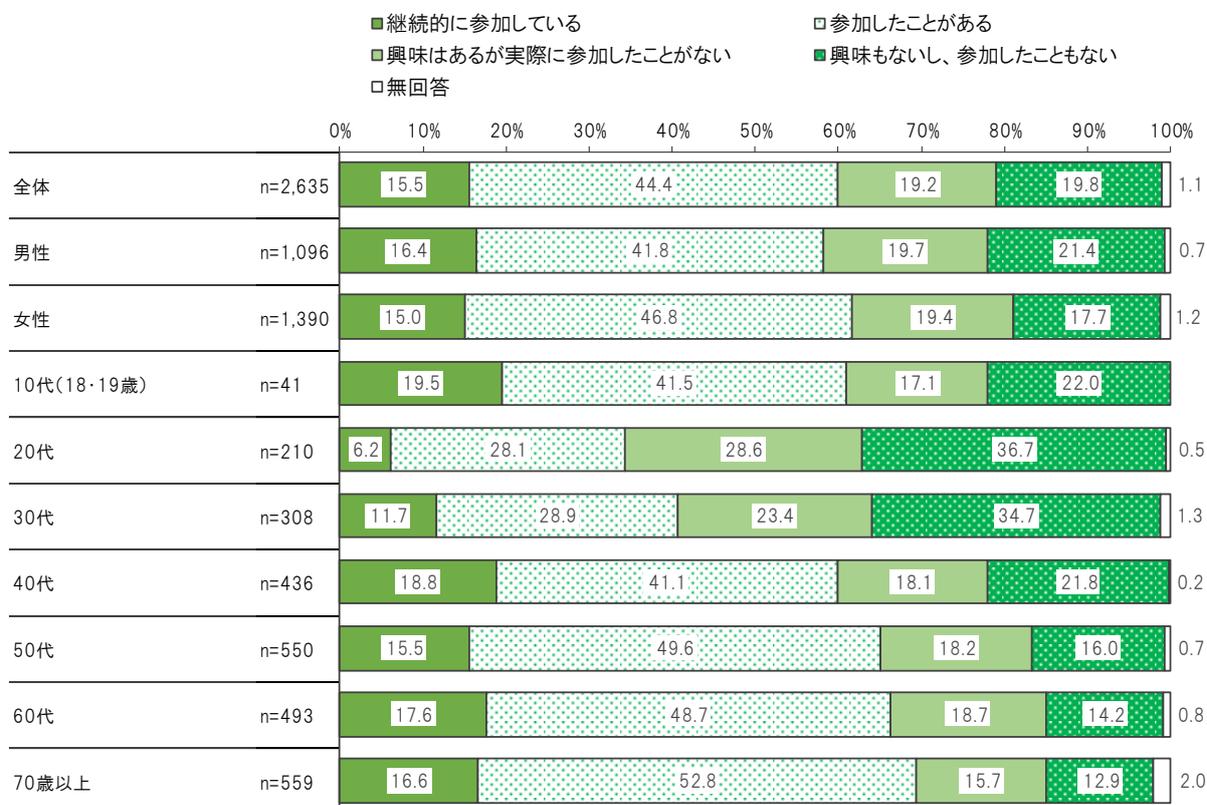
まちづくり活動への参加状況は、「継続的に参加している」（15.5%）と「参加したことがある」（44.4%）をあわせた“参加したことがある”は59.9%、「興味はあるが実際に参加したことがない」（19.2%）と「興味もないし、参加したこともない」（19.8%）をあわせた“参加したことがない”は39.0%となっている。【図表 208】

性別でみると、最も差がある項目「参加したことがある」では「女性」（46.8%）が「男性」（41.8%）を5.0ポイント上回っている。【図表 208】

年齢別でみると、「20代」、「30代」では“参加したことがない”の割合が“参加したことがある”を上回っている。【図表 208】

小学校区別でみると、全体平均と比較して“参加したことがある”では「八南小学校区」（75.0%）、「御油小学校区」「赤坂小学校区」（いずれも68.1%）、「豊小学校区」（67.0%）の割合が高くなっている。また、“参加したことがない”では「豊川小学校区」（49.1%）、「代田小学校区」（47.1%）、「小坂井東小学校区」（46.3%）の割合が高くなっている。【図表 209】

図表 208 まちづくり活動への参加状況（全体・性別・年齢別）



図表 209 まちづくり活動への参加状況（全体・小学校区別）

(%)

		件数	継続的に参加している	参加したことがある	興味はあるが実際に参加したことがない	興味もないし、参加したこともない	無回答
全 体		2,635	15.5	44.4	19.2	19.8	1.1
居住 小学校区別	豊川小学校区	120	20.0	30.0	25.8	23.3	0.8
	桜木小学校区	107	16.8	43.0	19.6	19.6	0.9
	豊小学校区	100	19.0	48.0	17.0	15.0	1.0
	東部小学校区	89	20.2	38.2	23.6	16.9	1.1
	金屋小学校区	80	18.8	38.8	22.5	18.8	1.3
	三蔵子小学校区	130	14.6	41.5	17.7	24.6	1.5
	桜町小学校区	83	12.0	50.6	21.7	14.5	1.2
	代田小学校区	121	9.9	43.0	25.6	21.5	0.0
	中部小学校区	154	14.9	40.3	20.1	23.4	1.3
	牛久保小学校区	112	23.2	41.1	14.3	19.6	1.8
	天王小学校区	66	12.1	43.9	19.7	24.2	0.0
	国府小学校区	193	17.1	47.2	12.4	22.3	1.0
	御油小学校区	138	13.0	55.1	12.3	18.8	0.7
	千両小学校区	29	20.7	37.9	20.7	20.7	0.0
	八南小学校区	168	17.9	57.1	13.7	11.3	0.0
	平尾小学校区	68	19.1	41.2	17.6	22.1	0.0
	一宮東部小学校区	58	19.0	39.7	17.2	24.1	0.0
	一宮西部小学校区	122	14.8	39.3	19.7	25.4	0.8
	一宮南部小学校区	35	25.7	34.3	20.0	20.0	0.0
	赤坂小学校区	69	17.4	50.7	24.6	7.2	0.0
	長沢小学校区	41	14.6	43.9	19.5	22.0	0.0
	萩小学校区	20	25.0	30.0	30.0	15.0	0.0
	御津南部小学校区	130	11.5	51.5	19.2	16.2	1.5
御津北部小学校区	42	14.3	50.0	14.3	21.4	0.0	
小坂井東小学校区	121	9.9	42.1	24.0	22.3	1.7	
小坂井西小学校区	155	9.7	50.3	20.6	19.4	0.0	

全体より10%以上

全体より5%以上

全体より5%以下

全体より10%以下

2 男女共同参画

問 22 あなたは、「男は仕事、女は家庭」といった固定的な性別役割分担について見直すべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。

◆ 「男は仕事、女は家庭」という考え方を“見直すべき（そう思う）”が68.3%、“そう思わない”が24.0%

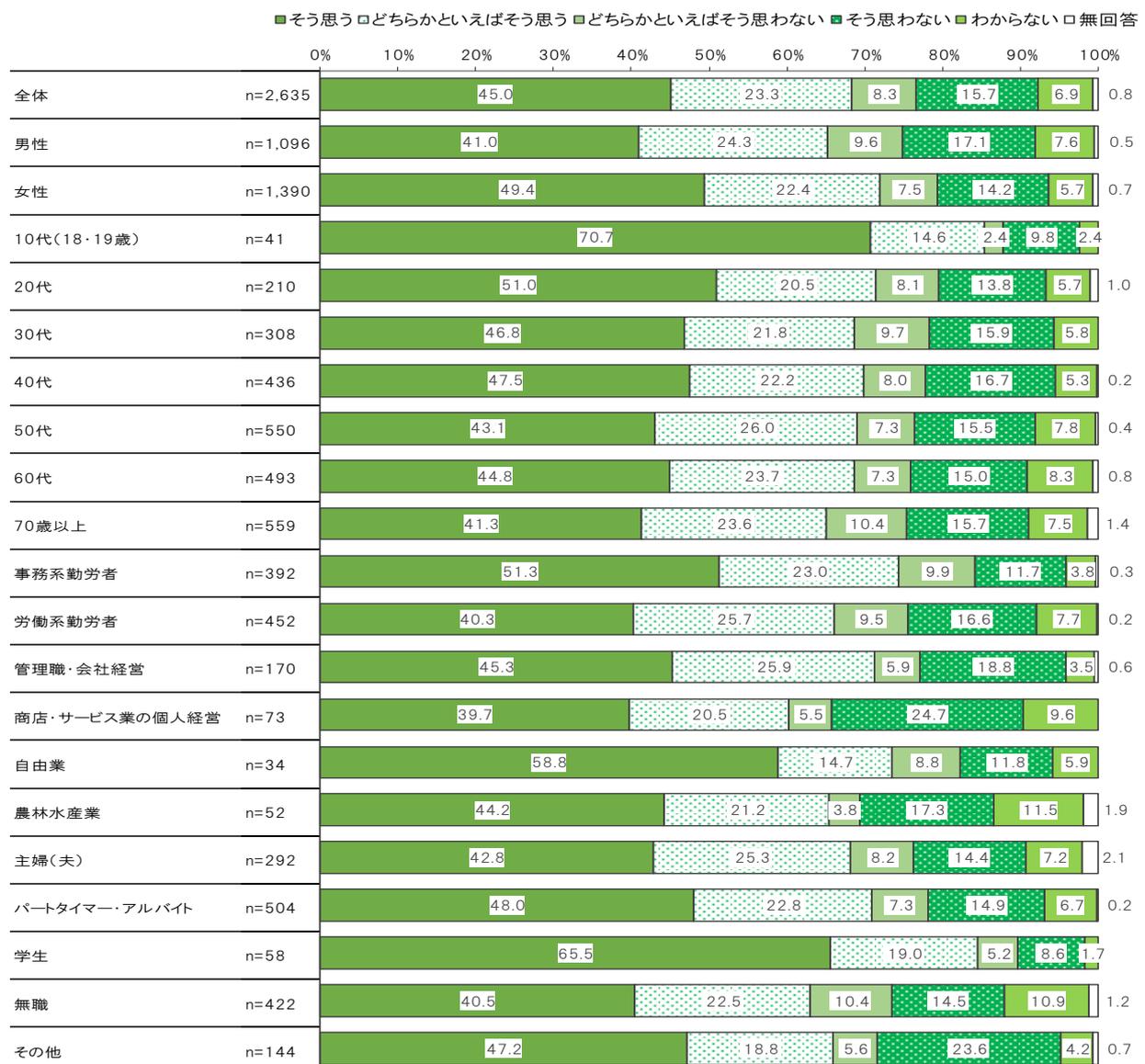
「男は仕事、女は家庭」という考え方を見直すべきかについて「そう思う」（45.0%）と「どちらかといえばそう思う」（23.3%）をあわせた“見直すべき（そう思う）”が68.3%、「どちらかといえばそう思わない」（8.3%）と「そう思わない」（15.7%）をあわせた“そう思わない”が24.0%となっている。【図表 210】

性別でみると、“見直すべき（そう思う）”では「女性」（71.8%）が「男性」（65.3%）を6.5ポイント上回っている。【図表 210】

年齢別でみると、「10代（18・19歳）」では“見直すべき（そう思う）”の割合が85.3%と高くなっている。

職業別でみると、“そう思う”は「学生」（84.5%）、「事務系勤労者」（74.3%）で割合が高く、一方、“そう思わない”は、「商店・サービス業の個人経営」（30.2%）、「労働系勤労者」（26.1%）、「無職」（24.9%）で割合が高くなっている。【図表 210】

図表 210 男女共同参画（全体・性別・年齢・職業別）



3 外国人とのつきあい方

問 23 現在、豊川市には、多くの外国人市民が暮らしています。日本人と外国人が、同じ豊川市民として快適に暮らしていける多文化共生社会にするために、あなたは、どのようなことができると思いますか。次の中からあてはまるものを2つまで選んで○印をつけてください。

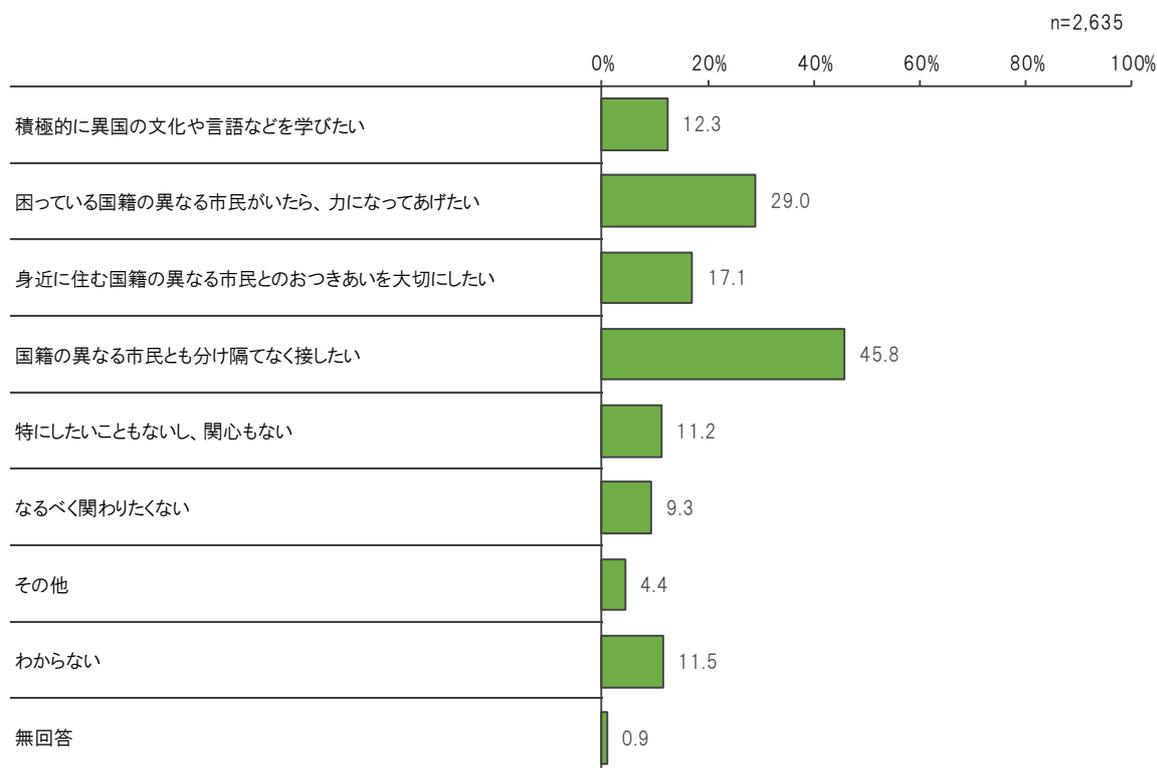
◆ 外国人とのつきあい方は「国籍の異なる市民とも分け隔てなく接したい」が45.8%

外国人とのつきあい方は「国籍の異なる市民とも分け隔てなく接したい」(45.8%)が最も高く、次いで「困っている国籍の異なる市民がいたら、力になってあげたい」(29.0%)、「身近に住む国籍の異なる市民とのおつきあいを大切にしたい」(17.1%)の順となっている。【図表 211】

年齢別で見ると、全体平均と比較して「積極的に異国の文化や言語などを学びたい」では「10代(18・19歳)」(29.3%)、「20代」(17.1%)、「40代」(17.0%)の割合が高くなっている。

「困っている国籍の異なる市民がいたら、力になってあげたい」では「10代(18・19歳)」(46.3%)の割合が高く、また、「国籍の異なる市民とも分け隔てなく接したい」では「70歳以上」(56.5%)、「60代」(51.7%)の割合が高くなっている。【図表 212】

図表 211 外国人とのつきあい方 (全体)



図表 212 外国人とのつきあい方（全体・年齢別）

(%)

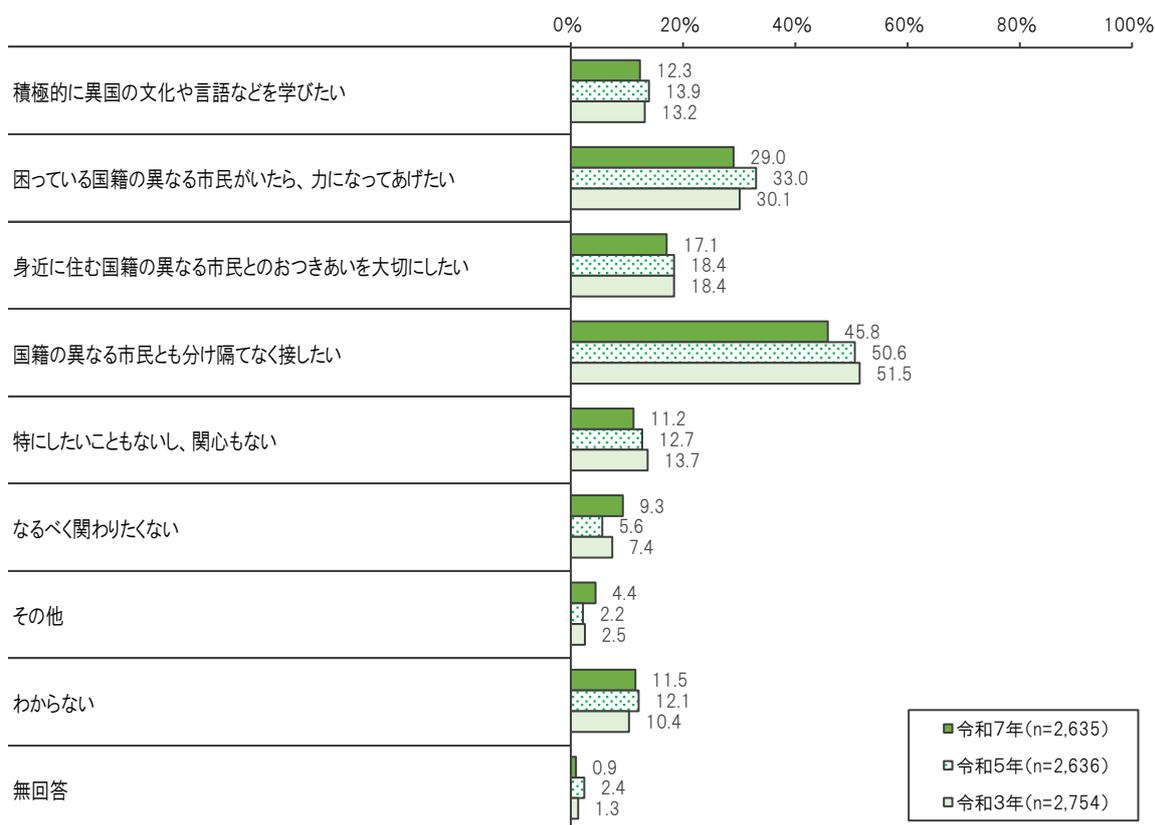
	件数	積極的に異国の文化や言語などを学びたい	困っている国籍の異なる市民がいたら、力になってあげたい	身近に住む国籍の異なる市民とおつきあいを大切にしたい	国籍の異なる市民とも分け隔てなく接したい	特にしたくないし、関心もない	なるべく関わりたくない	その他	わからない	無回答	
全 体	2,635	12.3	29.0	17.1	45.8	11.2	9.3	4.4	11.5	0.9	
年齢別	10代(18・19歳)	41	29.3	46.3	19.5	36.6	14.6	4.9	4.9	0.0	
	20代	210	17.1	31.0	12.9	29.5	12.9	16.7	3.8	12.4	0.5
	30代	308	16.2	31.8	13.3	34.4	11.7	15.3	7.1	10.4	0.0
	40代	436	17.0	29.8	13.8	45.4	10.8	7.6	6.2	10.3	0.0
	50代	550	12.5	28.2	18.0	43.8	11.8	9.1	5.5	9.8	0.7
	60代	493	8.3	25.8	17.6	51.7	11.8	6.5	1.6	15.0	0.6
	70歳以上	559	7.0	28.4	20.9	56.5	9.8	7.2	3.6	12.2	1.8



◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して増加した項目は、「なるべく関わりたくない」(3.7ポイント増)などとなっている。一方、前回調査と比較して減少した項目は、「国籍の異なる市民とも分け隔てなく接したい」(4.8ポイント減)などとなっている。【図表 213】

図表 213 外国人とのつきあい方（経年比較）



4 広報紙等の閲読率

問24 あなたは、市が配付している広報紙（毎月1日発行）や議会だより（6月・8月・11月・2月に発行。広報紙に折り込み）などをどの程度読んでいますか。次の中からそれぞれにあてはまるものを1つずつ選んで○印をつけてください。

①広報とよかわ

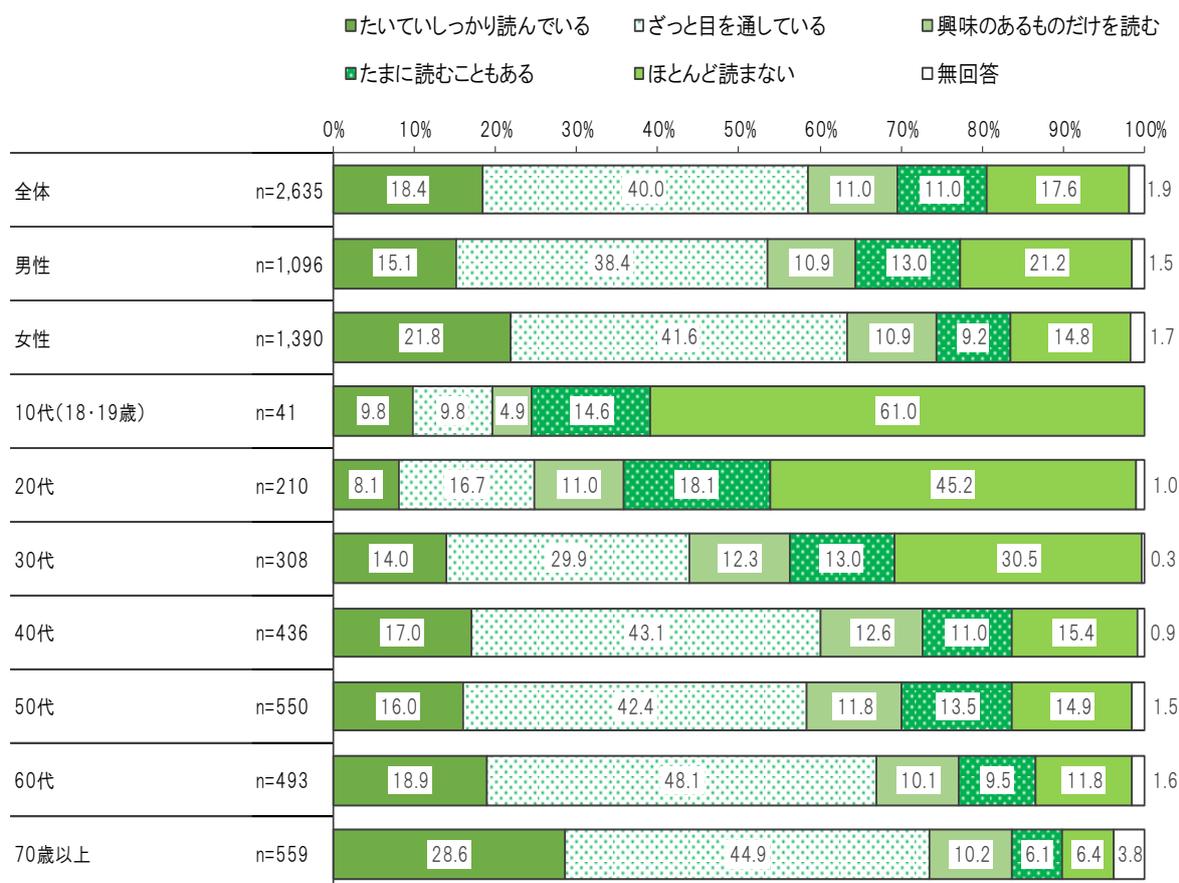
◆ 広報とよかわの閲読率は「ざっと目を通してている」が40.0%、「たいていしっかり読んでいる」が18.4%

広報とよかわの閲読率は「ざっと目を通してている」（40.0%）が最も高く、次いで「たいていしっかり読んでいる」（18.4%）、「ほとんど読まない」（17.6%）、「興味のあるものだけを読む」、「たまに読むこともある」（いずれも11.0%）の順となっている。【図表 214】

性別でみると、「たいていしっかり読んでいる」では「女性」（21.8%）が「男性」（15.1%）を6.7ポイント上回っている。【図表 214】

年齢別でみると、「たいていしっかり読んでいる」と「ざっと目を通してている」を合わせた“ひと通り読んでいる”では、「40代」から「70歳以上」で50%を上回っている。また、「ほとんど読まない」では「10代（18・19歳）」（61.0%）と「70歳以上」（6.4%）の差が54.6ポイントと大きくなっている。【図表 214】

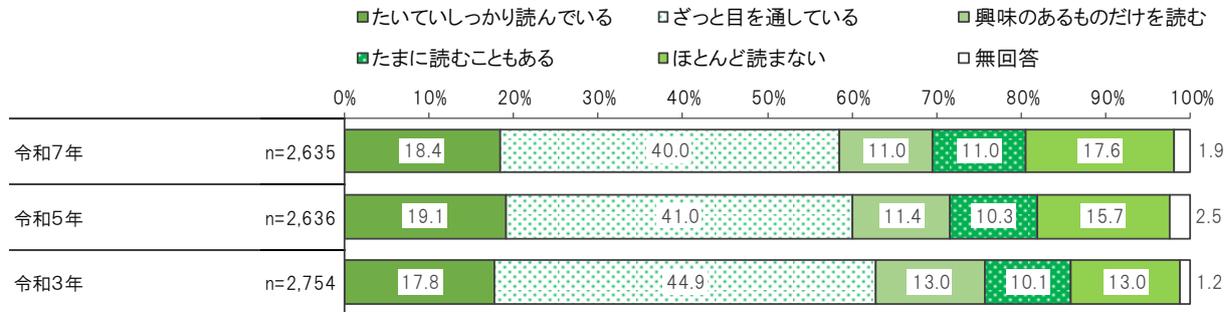
図表 214 広報紙等の閲読率「広報とよかわ」（全体・性別・年齢別）



◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較で見ると、前回調査と比較して増加した項目は、「ほとんど読まない」(1.9ポイント増)などとなっている。一方、前回調査と比較して減少した項目は、「ざっと目を通している」(1.0ポイント減)などとなっている。【図表 215】

図表 215 広報紙等の閲読率「広報とよかわ」(経年比較)



②議会だより

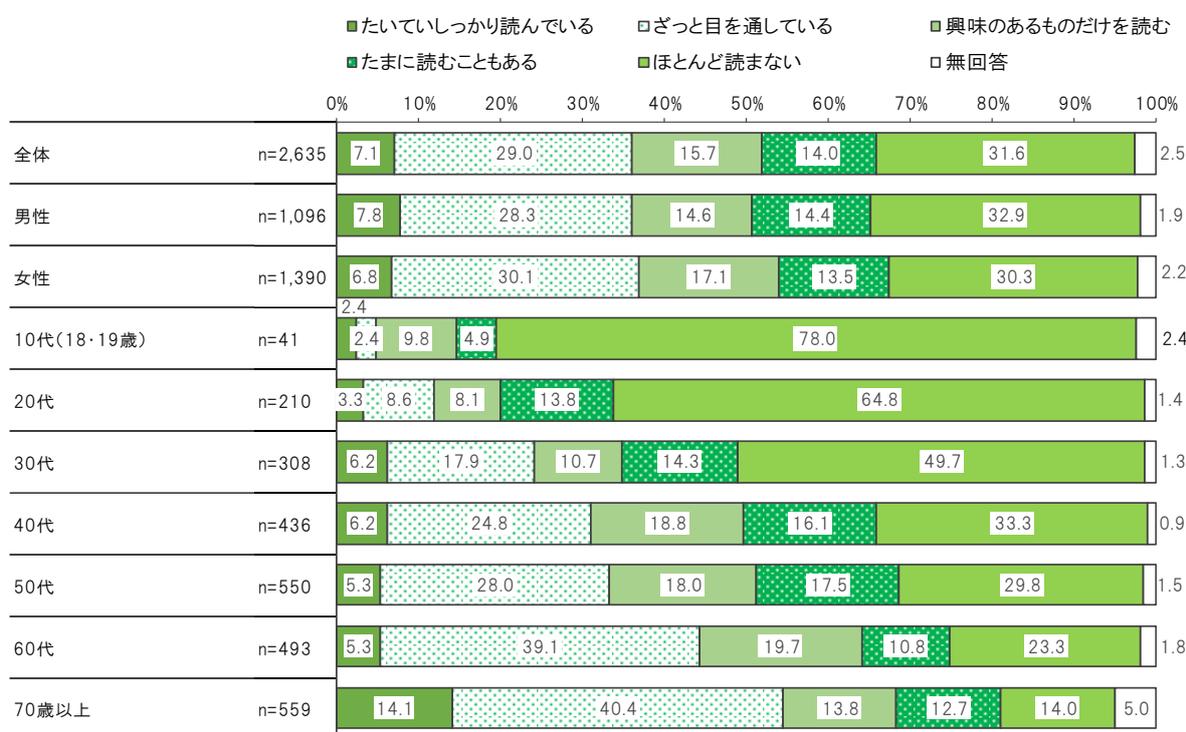
◆ 議会だよりの閲読率は「ほとんど読まない」が31.6%、「ざっと目を通している」が29.0%

議会だよりの閲読率は「ほとんど読まない」(31.6%)が最も高く、次いで「ざっと目を通している」(29.0%)、「興味のあるものだけを読む」(15.7%)、「たまに読むこともある」(14.0%)、「たいていしっかり読んでいます」(7.1%)の順となっている。【図表 216】

性別による大きな差はみられない。【図表 216】

年齢別でみると、年齢が高くなるほど、「たいていしっかり読んでいます」と「ざっと目を通している」をあわせた“ひと通り読んでいます”割合が高くなっている。また、「ほとんど読まない」では「10代(18・19歳)」(78.0%)と「70歳以上」(14.0%)との差が64.0ポイントと大きくなっている。【図表 216】

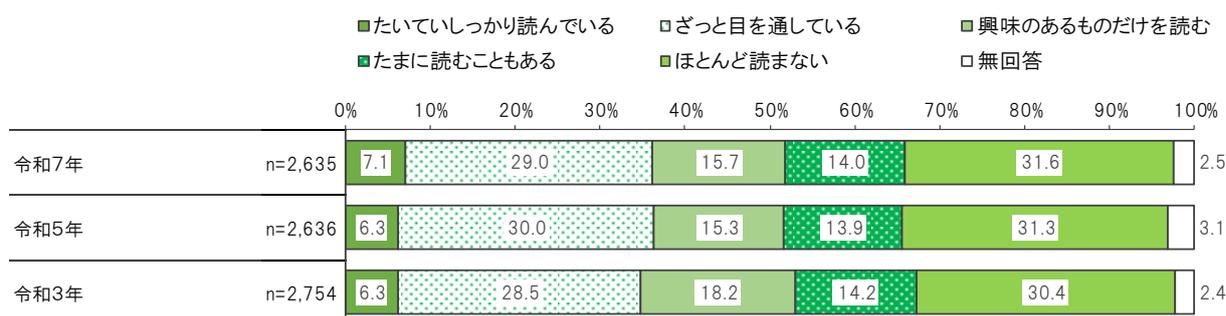
図表 216 広報紙等の閲読率「議会だより」(全体・性別・年齢別)



◆ 経年比較 ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して増加した項目は、「たいていしっかり読んでいます」(0.8ポイント増)などとなっている。一方、前回調査と比較して減少した項目は、「ざっと目を通している」(1.0ポイント減)などとなっている。【図表 217】

図表 217 広報紙等の閲読率「議会だより」(経年比較)



③その他のお知らせ

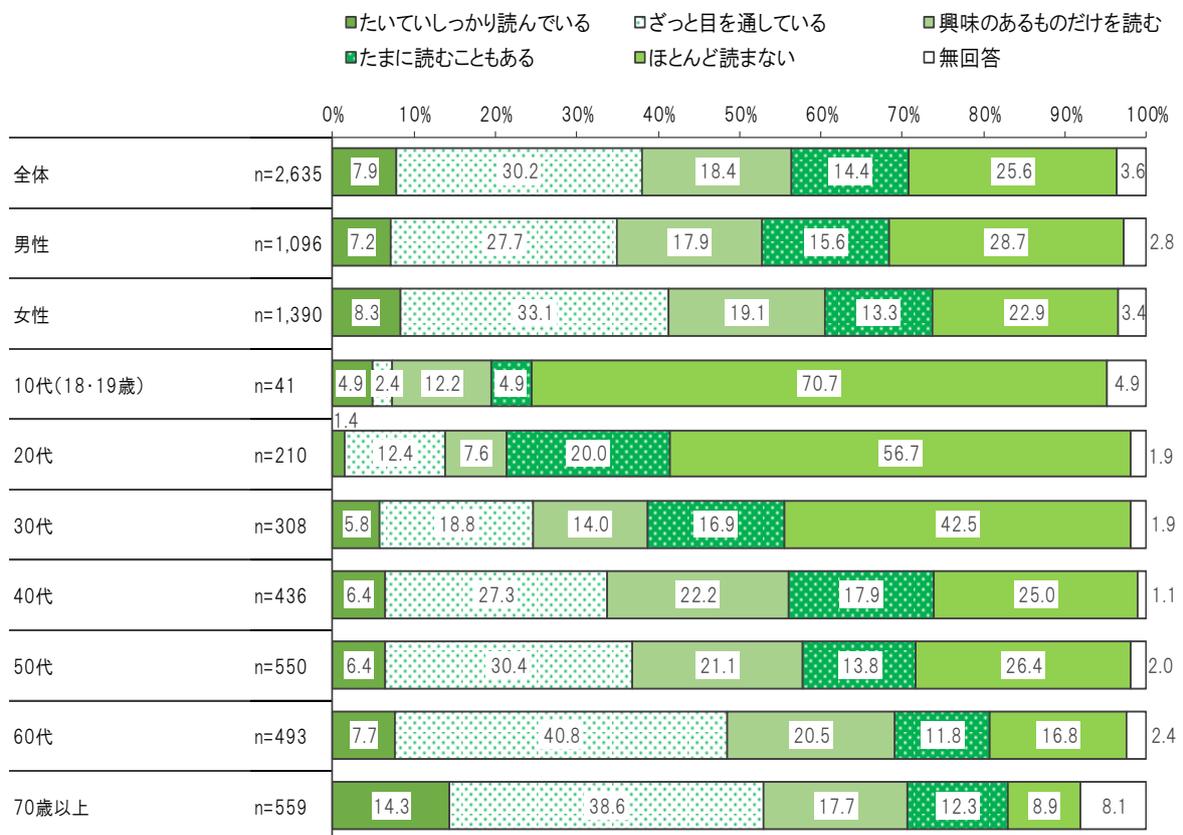
◆ その他のお知らせの閲読率は「ざっと目を通している」30.2%、「ほとんど読まない」25.6%

その他のお知らせの閲読率は「ざっと目を通している」(30.2%)が最も高く、次いで「ほとんど読まない」(25.6%)、「興味のあるものだけを読む」(18.4%)、「たまに読むこともある」(14.4%)、「たいていしっかり読んでいる」(7.9%)の順となっている。【図表 218】

性別でみると、「ほとんど読まない」では「男性」(28.7%)が「女性」(22.9%)を5.8ポイント上回っている。【図表 218】

年齢別でみると、年齢が高くなるほど、「たいていしっかり読んでいる」と「ざっと目を通している」を合わせた“ひと通り読んでいる”割合が高くなっている。また、「ほとんど読まない」では「10代(18・19歳)」(70.7%)と「70歳以上」(8.9%)との差が61.8ポイントと大きくなっている。【図表 218】

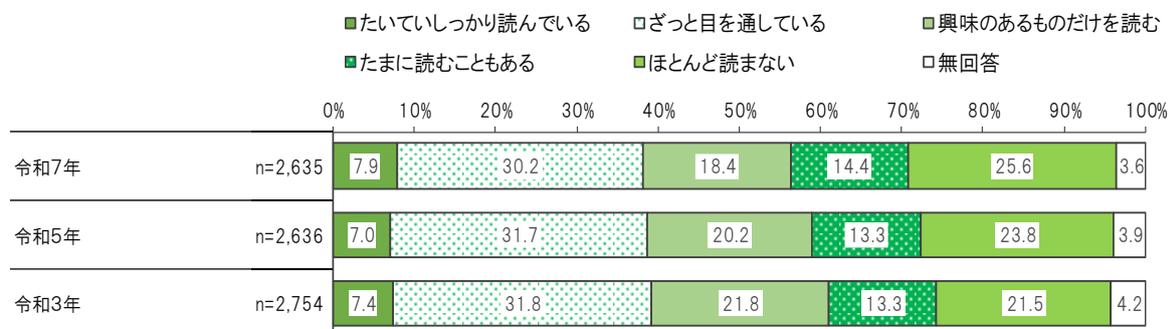
図表 218 広報紙等の閲読率「その他のお知らせ」(全体・性別・年齢別)



◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較で見ると、前回調査と比較して増加した項目は、「ほとんど読まない」（1.8ポイント増）などとなっている。【図表 219】

図表 219 広報紙等の読読率「その他のお知らせ」（経年比較）



5 市の職員の対応への評価

問 25 あなたは最近、市の職員の対応についてどのように感じましたか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。

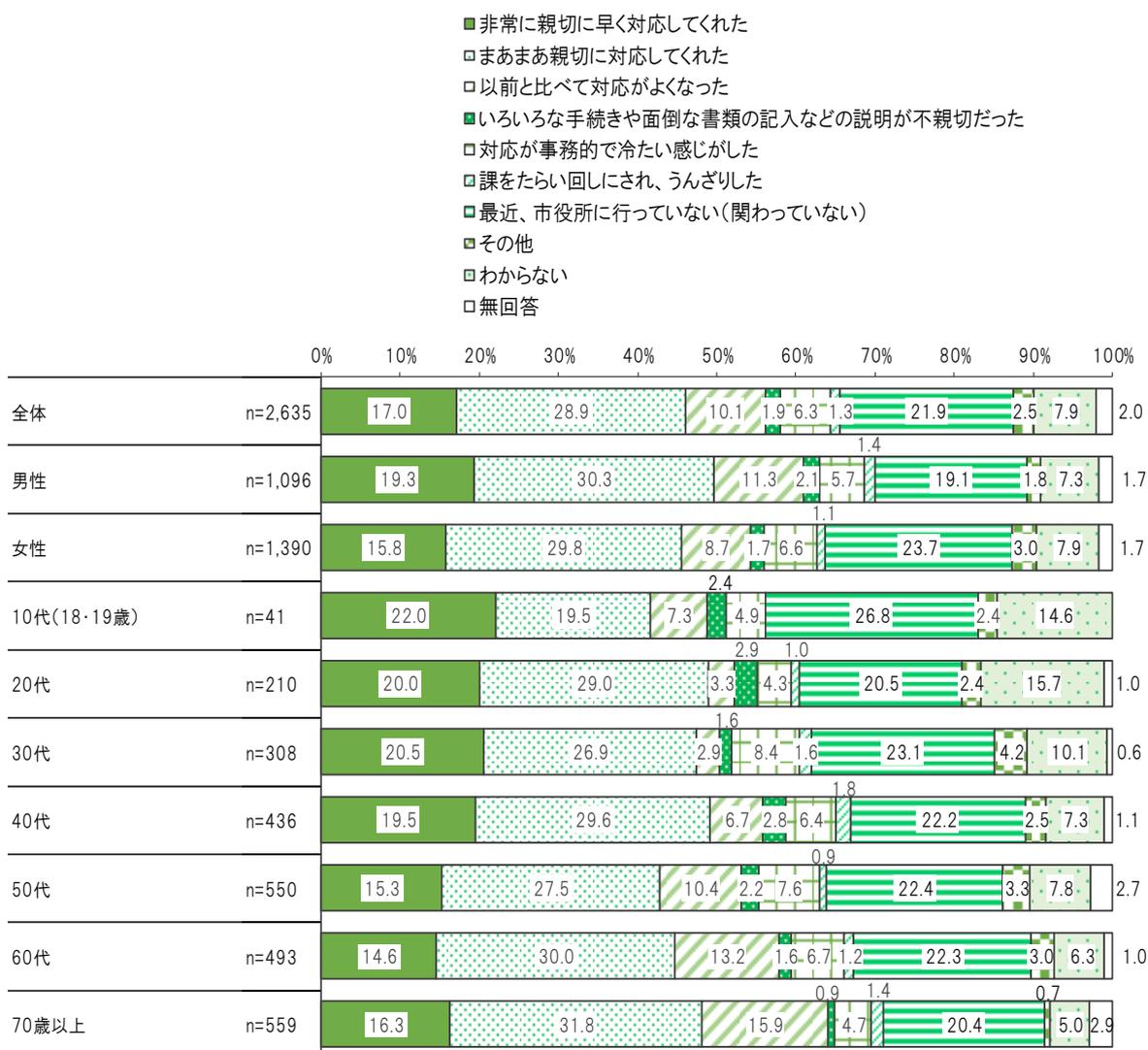
◆ 市の職員の対応への評価は「まあまあ親切に対応してくれた」が28.9%

市の職員の対応への評価は「まあまあ親切に対応してくれた」(28.9%)が最も高く、次いで「最近、市役所に行っていない(関わっていない)」(21.9%)、「非常に親切に早く対応してくれた」(17.0%)、「以前と比べて対応がよくなった」(10.1%)、「わからない」(7.9%)の順となっている。【図表 220】

性別でみると、「非常に親切に早く対応してくれた」では「男性」(19.3%)が「女性」(15.8%)を3.5ポイント上回っている。【図表 220】

年齢別でみると、「非常に親切に早く対応してくれた」は「10代(18・19歳)」(22.0%)の割合が最も高くなっている。また、「以前と比べて対応がよくなった」は、「70歳以上」(15.9%)、「60代」(13.2%)で割合が高くなっている。【図表 220】

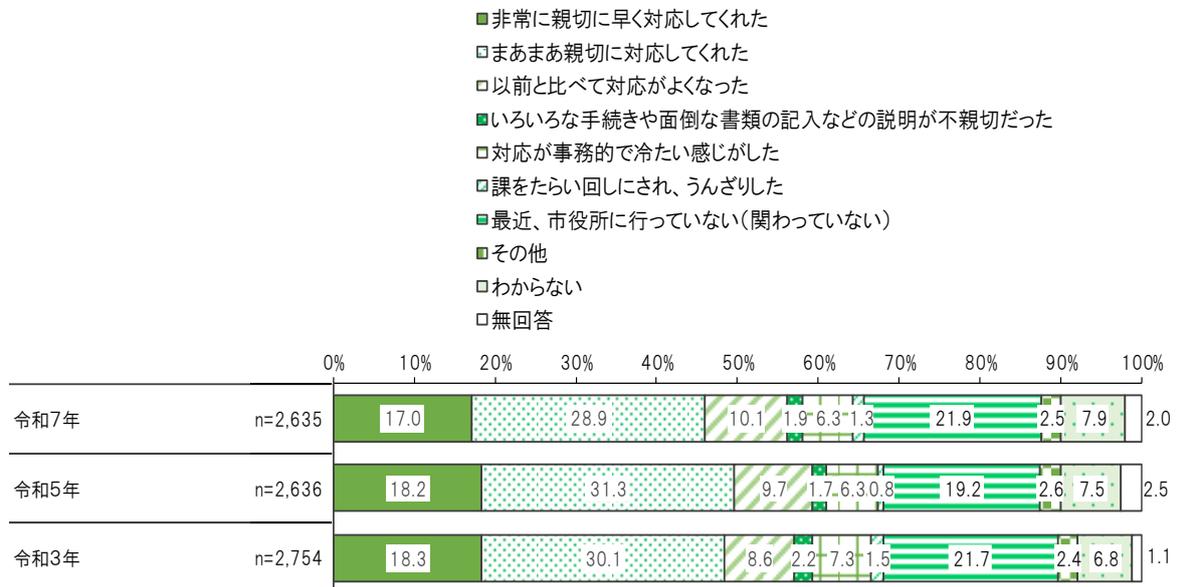
図表 220 市の職員の対応への評価(全体・性別・年齢別)



◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較でみると、前回の調査と比較して増加した項目は、「最近、市役所に行っていない（関わっていない）」（2.7ポイント増）などとなっている。【図表 221】

図表 221 市の職員の対応への評価（経年比較）



6 定住・交流施策

問 26 今後、豊川市が少子高齢化や人口減少といった課題に対応し、持続可能で安定した市政運営を行うためには、定住する人口と、通勤・観光などの交流人口、両方を増やすことが大切です。この中で、あなたが大切だと考える定住・交流施策を大切だと思う順に3つまで選び、下の解答欄に番号を記入してください。

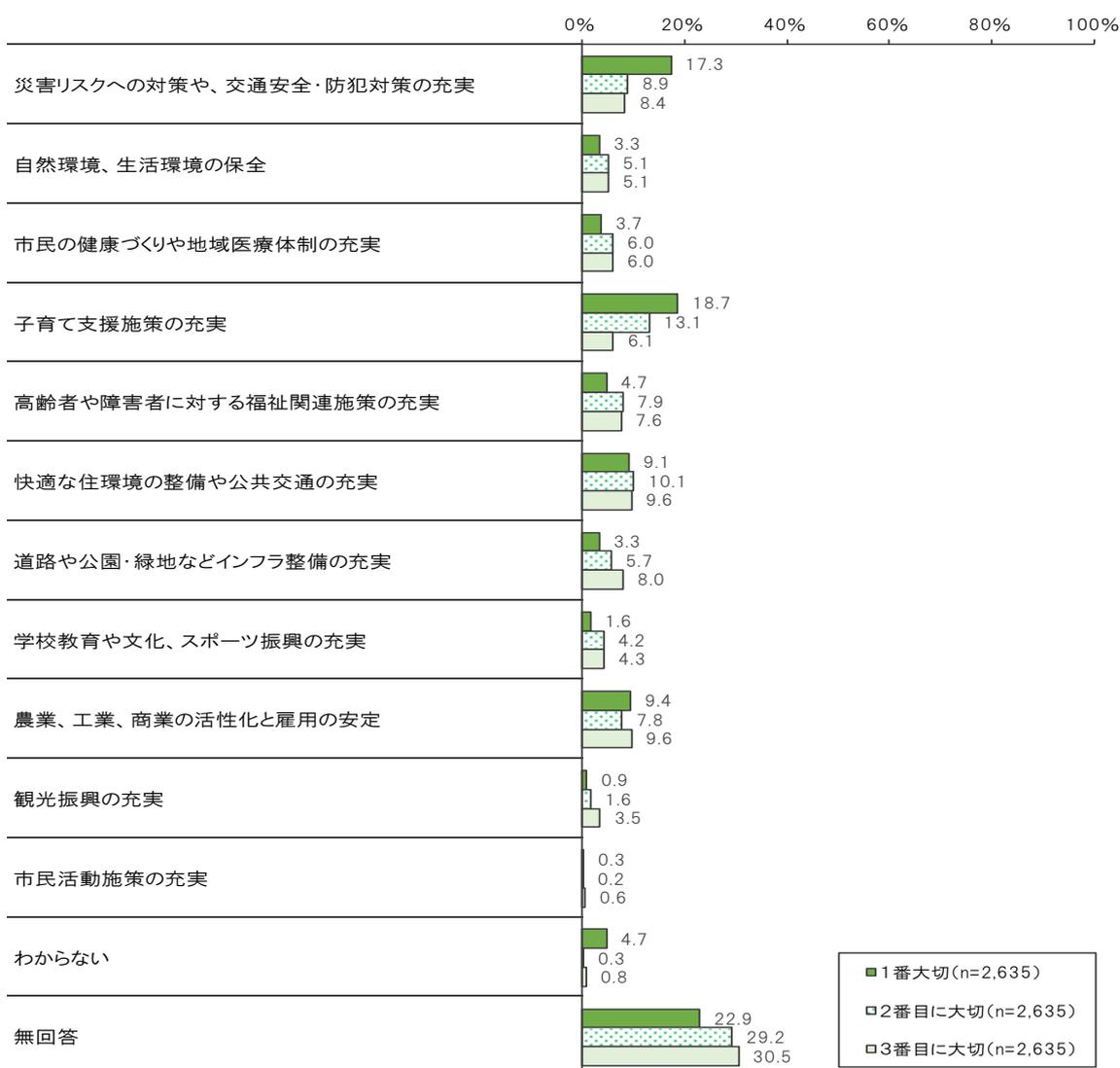
◆ 1番大切だと考える定住・交流施策は“子育て支援施策の充実”が18.7%

1番大切だと考える定住・交流施策は「子育て支援施策の充実」(18.7%)が最も高く、次いで「災害リスクへの対策や、交通安全・防犯対策の充実」(17.3%)、「農業、工業、商業の活性化と雇用の安定」(9.4%)の順となっている。【図表 222】

2番目に大切だと考える定住・交流施策は「子育て支援施策の充実」(13.1%)が最も高く、次いで「快適な住環境の整備や公共交通の充実」(10.1%)、「災害リスクへの対策や、交通安全・防犯対策の充実」(8.9%)の順となっている。【図表 222】

3番目に大切だと考える定住・交流施策は「快適な住環境の整備や公共交通の充実」「農業、工業、商業の活性化と雇用の安定」(いずれも9.6%)が最も高く、次いで「災害リスクへの対策や、交通安全・防犯対策の充実」(8.4%)、「道路や公園・緑地などのインフラ整備の充実」(8.0%)の順となっている。【図表 222】

図表 222 大切だと考える定住・交流施策（全体）



◆ ■ 1 番大切だと考える定住・交流施策 ■ ◆

性別でみると、「子育て支援施策の充実」では、「男性」(21.9%)が「女性」(17.1%)を4.8ポイント上回っている。【図表 223】

年齢別でみると、全体平均と比較して、「子育て支援施策の充実」では「20代」「30代」(いずれも36.7%)の割合が高くなっている。【図表 223】

小学校区別でみると、「災害リスクへの対策や交通安全・防犯対策の充実」では「萩小学校区」、「赤坂小学校区」、「代田小学校区」、「御津北部小学校区」の割合が高くなっている。【図表 223】

図表 223 1 番大切だと考える定住・交流施策 (全体・性別・年齢・小学校区別)

(%)

		件数	災害・リスク対策への対策や、交通安全	自然環境、生活環境の保全	市民の健康づくりや地域医療	子育て支援施策の充実	高齢者や障害者に対する福祉	関連施策の充実	高年齢者や障害者に対する福祉	通の充実	快適な住環境の整備や公共交通	道路や公園・緑地などインフラ整備の充実	学校教育や文化、スポーツ振興の充実	農業、工業、商業の活性化と雇用の安定	観光振興の充実	市民活動施策の充実	わからない	無回答
全体		2,635	17.3	3.3	3.7	18.7	4.7	9.1	3.3	1.6	9.4	0.9	0.3	4.7	22.9			
性別	男性	1,096	16.1	3.1	3.3	21.9	4.3	9.9	4.4	1.9	10.5	0.9	0.3	3.8	19.5			
	女性	1,390	18.4	3.2	4.4	17.1	5.0	8.4	2.5	1.3	8.6	0.9	0.4	4.9	24.9			
年齢別	10代(18・19歳)	41	29.3	4.9	2.4	22.0	2.4	2.4	7.3	4.9	2.4	2.4	2.4	4.9	12.2			
	20代	210	16.7	2.9	1.4	36.7	1.4	11.4	3.8	3.3	5.7	1.9	0.5	5.7	8.6			
	30代	308	13.3	2.6	1.3	36.7	2.9	8.1	5.2	2.9	7.8	1.3	0.3	5.5	12.0			
	40代	436	19.5	1.8	4.1	22.9	3.4	11.5	2.5	3.0	8.5	0.7	0.2	3.0	18.8			
	50代	550	18.2	2.5	5.1	13.5	4.0	10.2	3.8	1.1	12.2	0.9	0.4	5.1	23.1			
	60代	493	18.1	3.9	3.2	13.8	7.3	8.7	3.7	0.4	10.1	0.6	0.0	4.5	25.8			
	70歳以上	559	16.1	5.0	5.0	9.1	6.8	7.0	1.6	0.4	9.7	0.5	0.4	5.4	33.1			
居住 小学校区別	豊川小学校区	120	21.7	5.0	4.2	14.2	5.0	8.3	1.7	0.8	7.5	0.0	0.0	5.0	26.7			
	桜木小学校区	107	15.9	3.7	1.9	18.7	3.7	7.5	5.6	0.9	14.0	1.9	0.9	8.4	16.8			
	豊小学校区	100	22.0	1.0	4.0	26.0	3.0	6.0	3.0	2.0	11.0	0.0	0.0	6.0	16.0			
	東部小学校区	89	12.4	4.5	2.2	20.2	2.2	12.4	1.1	0.0	6.7	1.1	1.1	4.5	31.5			
	金屋小学校区	80	20.0	2.5	8.8	12.5	5.0	6.3	5.0	1.3	10.0	0.0	0.0	5.0	23.8			
	三蔵子小学校区	130	18.5	3.1	3.8	16.2	5.4	11.5	3.1	2.3	6.9	0.8	0.8	4.6	23.1			
	桜町小学校区	83	18.1	0.0	2.4	20.5	6.0	4.8	4.8	1.2	12.0	0.0	1.2	3.6	25.3			
	代田小学校区	121	24.0	0.8	5.0	19.0	0.8	7.4	2.5	2.5	4.1	0.8	1.7	4.1	27.3			
	中部小学校区	154	14.3	2.6	4.5	18.2	4.5	8.4	4.5	1.9	12.3	0.6	0.0	4.5	23.4			
	牛久保小学校区	112	15.2	2.7	4.5	17.9	5.4	9.8	4.5	0.0	13.4	0.0	0.0	5.4	21.4			
	天王小学校区	66	15.2	1.5	3.0	15.2	7.6	6.1	3.0	1.5	12.1	6.1	0.0	4.5	24.2			
	国府小学校区	193	16.6	4.7	2.6	21.2	4.7	10.9	4.7	3.1	8.8	1.6	0.0	4.7	16.6			
	御油小学校区	138	18.8	4.3	6.5	16.7	6.5	13.0	2.9	0.7	7.2	1.4	0.0	3.6	18.1			
	千両小学校区	29	13.8	3.4	0.0	20.7	0.0	13.8	3.4	3.4	6.9	3.4	0.0	0.0	31.0			
	八南小学校区	168	16.1	3.0	2.4	22.0	4.2	10.7	2.4	2.4	11.9	1.8	0.0	1.8	21.4			
	平尾小学校区	68	11.8	2.9	7.4	25.0	10.3	8.8	1.5	1.5	2.9	0.0	1.5	4.4	22.1			
	一宮東部小学校区	58	15.5	3.4	6.9	15.5	8.6	8.6	0.0	0.0	17.2	0.0	0.0	3.4	20.7			
	一宮西部小学校区	122	11.5	4.1	2.5	21.3	6.6	14.8	1.6	3.3	8.2	1.6	0.0	4.9	19.7			
	一宮南部小学校区	35	14.3	2.9	0.0	11.4	8.6	11.4	5.7	8.6	5.7	0.0	0.0	8.6	22.9			
	赤坂小学校区	69	24.6	2.9	4.3	17.4	7.2	10.1	1.4	0.0	10.1	0.0	0.0	1.4	20.3			
長沢小学校区	41	14.6	4.9	4.9	22.0	4.9	4.9	9.8	2.4	7.3	0.0	0.0	7.3	17.1				
萩小学校区	20	25.0	5.0	0.0	5.0	5.0	10.0	5.0	0.0	5.0	0.0	0.0	5.0	35.0				
御津南部小学校区	130	20.0	4.6	2.3	13.8	2.3	11.5	3.1	1.5	8.5	0.0	0.0	6.9	25.4				
御津北部小学校区	42	23.8	2.4	2.4	14.3	2.4	7.1	9.5	2.4	9.5	0.0	0.0	4.8	21.4				
小坂井東小学校区	121	19.8	5.0	2.5	26.4	1.7	6.6	0.8	0.8	9.9	0.8	0.0	1.7	24.0				
小坂井西小学校区	155	14.8	1.9	3.2	20.6	4.5	5.8	4.5	0.0	10.3	0.6	0.6	5.8	27.1				

全体より10%以上 全体より5%以上 全体より5%以下 全体より10%以下

◆ 2番目に大切だと考える定住・交流施策 ◆

性別でみると、「高齢者や障害者に対する福祉関連施策の充実」では「女性」(9.3%)が「男性」(6.2%)を3.1ポイント上回っている。【図表 224】

年齢別でみると、全体平均と比較して、「災害リスクへの対策や、交通安全・防犯対策の充実」では「10代(18・19歳)」(17.1%)、「20代」(14.8%)、「子育て支援施策の充実」では「30代」(19.2%)の割合が高くなっている。【図表 224】

小学校区別でみると、「子育て支援施策の充実」では「御津北部小学校区」(23.8%)、「快適な住環境の整備や公共交通の充実」では「一宮東部小学校区」(19.0%)の割合が高くなっている。【図表 224】

図表 224 2番目に大切だと考える定住・交流施策 (全体・性別・年齢・小学校区別)

		件数	災害・防犯対策への対策や、交通安全	自然環境、生活環境の保全	市民の健康づくりや地域医療体制の充実	子育て支援施策の充実	高齢者や障害者に対する福祉関連施策の充実	快適な住環境の整備や公共交通の充実	道路整備や公園・緑地などインフラの充実	学校教育や文化、スポーツ振興の充実	農業、工業、商業の活性化と雇用の安定	観光振興の充実	市民活動施策の充実	わからない	無回答
全体		2,635	8.9	5.1	6.0	13.1	7.9	10.1	5.7	4.2	7.8	1.6	0.2	0.3	29.2
性別	男性	1,096	9.3	4.7	5.9	14.1	6.2	11.2	7.1	5.0	9.0	2.2	0.2	0.4	24.6
	女性	1,390	8.8	5.5	6.4	12.7	9.3	9.5	4.3	3.7	6.8	1.2	0.1	0.1	31.6
年齢別	10代(18・19歳)	41	17.1	7.3	2.4	14.6	2.4	14.6	7.3	4.9	12.2	2.4	0.0	0.0	14.6
	20代	210	14.8	3.3	7.1	12.9	6.7	14.8	9.5	5.7	6.2	1.9	0.5	0.5	16.2
	30代	308	12.7	4.5	5.8	19.2	3.9	9.1	7.1	7.5	9.1	2.6	0.0	0.0	18.5
	40代	436	9.4	5.0	6.9	14.9	6.0	10.6	5.0	6.2	11.0	1.6	0.5	0.9	22.0
	50代	550	8.7	5.1	5.8	12.0	8.5	11.8	5.6	2.7	7.5	2.2	0.2	0.2	29.6
	60代	493	7.3	6.1	5.1	12.8	10.3	10.1	4.9	2.6	6.5	1.2	0.0	0.4	32.7
	70歳以上	559	5.4	5.4	6.4	10.2	9.8	7.0	4.5	2.9	6.8	0.7	0.2	0.0	40.8
居住小学校区別	豊川小学校区	120	4.2	5.8	5.0	11.7	7.5	13.3	6.7	2.5	6.7	2.5	0.0	1.7	32.5
	桜木小学校区	107	6.5	5.6	5.6	20.6	6.5	6.5	5.6	5.6	9.3	2.8	0.9	0.0	24.3
	豊小学校区	100	8.0	10.0	5.0	10.0	11.0	12.0	4.0	4.0	10.0	3.0	0.0	0.0	23.0
	東部小学校区	89	6.7	2.2	11.2	12.4	7.9	6.7	4.5	1.1	7.9	2.2	0.0	0.0	37.1
	金屋小学校区	80	5.0	5.0	8.8	18.8	6.3	11.3	5.0	2.5	6.3	0.0	0.0	0.0	31.3
	三蔵子小学校区	130	7.7	5.4	3.1	16.2	6.9	10.0	4.6	1.5	9.2	2.3	0.8	0.8	31.5
	桜町小学校区	83	8.4	2.4	3.6	15.7	9.6	9.6	4.8	2.4	8.4	2.4	0.0	1.2	31.3
	代田小学校区	121	5.8	7.4	5.0	13.2	8.3	7.4	2.5	8.3	5.8	2.5	0.0	0.0	33.9
	中部小学校区	154	11.0	4.5	7.8	13.6	9.1	8.4	5.2	1.9	7.8	1.3	0.0	0.6	28.6
	生久保小学校区	112	10.7	2.7	5.4	9.8	7.1	10.7	4.5	8.9	7.1	3.6	0.0	0.0	29.5
	天王小学校区	66	6.1	7.6	7.6	10.6	10.6	9.1	6.1	4.5	6.1	0.0	0.0	0.0	31.8
	国府小学校区	193	11.4	5.7	5.7	18.7	7.8	9.8	6.7	3.1	7.3	2.1	0.0	0.0	21.8
	御油小学校区	138	8.0	7.2	2.9	16.7	9.4	10.1	8.0	7.2	3.6	1.4	0.0	0.0	25.4
	千両小学校区	29	0.0	10.3	6.9	10.3	6.9	6.9	6.9	3.4	13.8	3.4	0.0	0.0	31.0
	八南小学校区	168	11.3	7.1	5.4	11.3	5.4	13.7	6.0	6.0	8.9	1.8	0.6	0.0	22.6
	平尾小学校区	68	10.3	8.8	4.4	11.8	8.8	7.4	2.9	4.4	11.8	0.0	0.0	0.0	29.4
	一宮東部小学校区	58	8.6	3.4	10.3	6.9	3.4	19.0	5.2	5.2	8.6	1.7	0.0	0.0	27.6
	一宮西部小学校区	122	10.7	4.1	8.2	11.5	6.6	6.6	5.7	4.9	14.8	1.6	0.0	0.0	25.4
	一宮南部小学校区	35	14.3	2.9	11.4	11.4	5.7	2.9	5.7	2.9	11.4	0.0	2.9	0.0	28.6
	赤坂小学校区	69	11.6	2.9	7.2	14.5	8.7	11.6	8.7	5.8	4.3	1.4	0.0	0.0	23.2
	長沢小学校区	41	14.6	0.0	4.9	12.2	7.3	4.9	9.8	7.3	9.8	2.4	0.0	2.4	24.4
	萩小学校区	20	0.0	0.0	5.0	10.0	10.0	15.0	5.0	0.0	15.0	0.0	0.0	0.0	40.0
	御津南部小学校区	130	10.0	1.5	6.9	12.3	6.2	11.5	6.2	2.3	9.2	1.5	0.0	0.0	32.3
御津北部小学校区	42	0.0	7.1	2.4	23.8	9.5	11.9	2.4	4.8	4.8	0.0	0.0	2.4	31.0	
小坂井東小学校区	121	17.4	5.0	6.6	5.8	11.6	8.3	5.8	5.0	5.8	0.0	0.8	0.0	28.1	
小坂井西小学校区	155	9.0	3.2	5.2	8.4	7.1	15.5	6.5	2.6	6.5	0.0	0.0	0.6	35.5	

全体より10%以上

全体より5%以上

全体より5%以下

全体より10%以下

◆ 3番目に大切だと考える定住・交流施策 ◆

性別でみると、「道路や公園・緑地などインフラ整備の充実」では「男性」（10.2%）が「女性」（6.6%）を3.6ポイント上回っている。【図表 225】

年齢別でみると、全体平均と比較して、「快適な住環境の整備や公共交通の充実」では「10代（18・19歳）」（14.6%）、「子育て支援施策の充実」では「10代（18・19歳）」（12.2%）の割合が高くなっている。【図表 225】

小学校区別でみると、「快適な住環境の整備や公共交通の充実」では「長沢小学校区」（19.5%）、「農業、工業、商業の活性化と雇用の安定」では「赤坂小学校区」（18.8%）の割合が高くなっている。【図表 225】

図表 225 3番目に大切だと考える定住・交流施策（全体・性別・年齢・小学校区別）

(%)

		件数	災害・防犯対策の充実や、交通安全	自然環境、生活環境の保全	市民の健康づくりや地域医療体制の充実	子育て支援施策の充実	高齢者や障害者に対する福祉関連施策の充実	快適な住環境の整備や公共交通の充実	道路や公園・緑地などインフラ整備の充実	学校教育や文化、スポーツ振興の充実	農業、工業、商業の活性化と雇用の安定	観光振興の充実	市民活動施策の充実	わからない	無回答
全体		2,635	8.4	5.1	6.0	6.1	7.6	9.6	8.0	4.3	9.6	3.5	0.6	0.8	30.5
性別	男性	1,096	8.5	5.8	6.6	6.7	6.3	9.5	10.2	4.7	10.7	4.2	0.7	0.7	25.5
	女性	1,390	8.4	4.8	5.6	5.7	8.9	9.9	6.6	3.7	9.1	2.9	0.5	0.6	33.2
年齢別	10代(18・19歳)	41	7.3	4.9	4.9	12.2	4.9	14.6	12.2	7.3	9.8	2.4	0.0	2.4	17.1
	20代	210	12.4	7.6	10.0	4.8	4.3	10.0	9.0	8.6	9.0	7.1	0.0	0.5	16.7
	30代	308	11.7	4.9	8.1	6.2	3.9	14.3	12.7	3.9	8.4	4.5	0.3	0.6	20.5
	40代	436	9.6	4.8	5.7	8.5	8.3	11.0	9.6	5.3	8.5	4.4	0.5	0.7	23.2
	50代	550	8.5	4.4	5.3	6.7	9.6	8.2	7.8	4.4	7.8	4.0	0.5	1.1	31.6
	60代	493	6.9	5.7	4.9	7.1	8.7	7.5	6.3	3.7	11.8	2.4	0.8	1.2	33.1
	70歳以上	559	5.5	4.8	5.4	3.2	7.9	8.6	5.9	2.3	11.3	1.3	1.1	0.5	42.2
居住小学校区別	豊川小学校区	120	6.7	0.8	5.0	9.2	9.2	6.7	12.5	3.3	8.3	1.7	0.8	1.7	34.2
	桜木小学校区	107	12.1	3.7	11.2	3.7	4.7	8.4	11.2	4.7	10.3	3.7	0.0	0.0	26.2
	豊小学校区	100	11.0	5.0	5.0	7.0	6.0	14.0	6.0	4.0	9.0	5.0	1.0	1.0	26.0
	東部小学校区	89	4.5	2.2	6.7	6.7	7.9	9.0	7.9	4.5	6.7	3.4	1.1	1.1	38.2
	金屋小学校区	80	6.3	5.0	2.5	5.0	10.0	11.3	11.3	3.8	8.8	1.3	1.3	1.3	32.5
	三蔵子小学校区	130	4.6	4.6	10.8	6.9	6.2	11.5	5.4	3.1	10.0	5.4	0.0	0.0	31.5
	桜町小学校区	83	6.0	2.4	7.2	6.0	7.2	16.9	7.2	2.4	8.4	3.6	0.0	0.0	32.5
	代田小学校区	121	8.3	6.6	7.4	2.5	5.0	9.9	7.4	3.3	9.9	2.5	1.7	1.7	33.9
	中部小学校区	154	10.4	5.2	4.5	7.1	6.5	7.1	7.8	6.5	6.5	6.5	1.3	1.3	29.2
	牛久保小学校区	112	6.3	3.6	3.6	8.0	10.7	11.6	9.8	2.7	8.0	4.5	0.0	0.9	30.4
	天王小学校区	66	6.1	4.5	13.6	6.1	4.5	3.0	6.1	6.1	10.6	6.1	0.0	0.0	33.3
	国府小学校区	193	7.3	8.3	6.2	7.3	11.4	9.3	8.8	3.6	11.4	2.6	0.0	1.0	22.8
	御油小学校区	138	9.4	8.0	3.6	1.4	11.6	9.4	9.4	3.6	9.4	5.8	1.4	0.0	26.8
	千両小学校区	29	6.9	6.9	0.0	6.9	17.2	10.3	0.0	10.3	6.9	3.4	0.0	0.0	31.0
	八南小学校区	168	9.5	7.1	6.5	9.5	6.5	9.5	9.5	5.4	8.9	2.4	0.0	0.6	24.4
	平尾小学校区	68	13.2	5.9	2.9	5.9	4.4	8.8	10.3	4.4	4.4	5.9	2.9	0.0	30.9
	一宮東部小学校区	58	8.6	6.9	12.1	5.2	5.2	5.2	5.2	5.2	13.8	0.0	1.7	3.4	27.6
	一宮西部小学校区	122	12.3	3.3	7.4	4.9	7.4	9.0	8.2	4.1	12.3	3.3	0.8	0.8	26.2
	一宮南部小学校区	35	0.0	8.6	0.0	11.4	5.7	2.9	17.1	0.0	17.1	2.9	0.0	2.9	31.4
	赤坂小学校区	69	10.1	5.8	5.8	2.9	8.7	8.7	5.8	8.7	18.8	0.0	0.0	1.4	23.2
長沢小学校区	41	17.1	7.3	0.0	2.4	4.9	19.5	7.3	2.4	7.3	4.9	0.0	0.0	26.8	
萩小学校区	20	5.0	10.0	10.0	5.0	5.0	5.0	0.0	0.0	15.0	0.0	0.0	0.0	45.0	
御津南部小学校区	130	5.4	1.5	4.6	9.2	10.0	10.0	7.7	6.2	9.2	0.8	0.0	1.5	33.8	
御津北部小学校区	42	7.1	7.1	7.1	0.0	11.9	11.9	9.5	2.4	4.8	4.8	0.0	2.4	31.0	
小坂井東小学校区	121	9.1	9.1	5.0	7.4	9.9	10.7	9.1	0.8	8.3	0.8	0.8	0.8	28.1	
小坂井西小学校区	155	10.3	0.6	5.8	6.5	2.6	9.7	5.2	5.2	11.6	3.9	0.6	0.0	38.1	

全体より10%以上

全体より5%以上

全体より5%以下

全体より10%以下

V 参考資料

1 標本誤差

この調査は、母集団である 18 歳以上の全市民から一部の標本を無作為に抽出して行っている。この調査結果からもとの全体の値を推定する標本調査である。この“標本調査の結果”と“全数調査の結果”との差が標本誤差である。今回の調査では下記の式で標本誤差を求めることができる。

$$\text{標本誤差} \quad \sigma = \pm 2 \sqrt{\frac{P(100-P)}{n}} \quad P: \text{回答率}(\%) \quad n: \text{有効回収数}(\text{件})$$

以下の表は、上式に n と P の値を代入して標本誤差を求め、作成したものである。

信頼度95%（100回中95回はこの範囲に収まる）の場合

		回答率 (%)									
		5%	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%	45%	50%
		(95%)	(90%)	(85%)	(80%)	(75%)	(70%)	(65%)	(60%)	(55%)	(50%)
全体	2,635	0.8	1.2	1.4	1.5	1.7	1.8	1.8	1.9	1.9	1.9

この表の見方について例を挙げると、「全体の回収数が 2,635 人であり、ある設問の 1 つの選択肢の回答率が 50%であった場合、全数調査との誤差の範囲は 95%の確率で ±1.9%以内であり、実際の回答率は 48.1%～51.9%の範囲にある」と意味づけられるものである。なお、標本誤差は回答率が 50%のときに最も大きい値となり、本調査においては最大の場合でも ±1.9%の誤差である。

2 使用調査票

第16回豊川市市民意識調査

● 調査ご協力のお願い ●

市民の皆様には、日ごろから市政の運営につきまして、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、市では、総合計画に基づき「光・緑・人 輝くとよかわ」の実現を目指し、定住・交流施策、シティセールス、市民協働、行政経営改革という4つの基本方針のもと、「安全・安心」「健康・福祉」「建設・整備」「教育・文化」「産業・雇用」「地域・行政」といった施策に取り組んでいます。今後も、こうした取り組みを進めていくには、皆様のご意見を積極的に伺うことが重要であると考えております。

そこで、市民の皆様には、市のこれまでの取り組みに対する評価をいただき、現在の生活環境や今後のまちづくりについてのご意見などをお聴きするため、市民意識調査を実施することといたしました。調査結果は、市民の皆様にご満足いただける市政の実現に向けて活用してまいります。

このアンケートは、豊川市にお住まいの18歳以上の方の中から、5,000人を無作為に選んでお願いするものです。回答は無記名の上、すべて統計的に処理され、個人的な意見や考えが外部に漏れることは、一切ありません。また、アンケートの集計結果につきましては、広報「とよかわ」などを通して皆様にお知らせいたします。お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年4月

豊川市長 竹本 幸夫

<ご記入にあたってのお願い>

- このアンケートは、宛名の方にご記入をお願いいたしますが、もしご都合でご記入ができない場合は、ご家族のどなたでも結構ですので代わってご記入ください。その場合は、**記入される方の立場**でお答えください。
- ご回答にあたっては、設問の中にお願ひしてある数だけ、**答えの番号に○印**をつけてください。
- この調査票は、ご記入の上、同封しました返信用封筒に入れ、**令和7年5月16日（金）**までにご投函ください（**切手は不要です**）。
- 本調査は、**インターネットでも回答できます**。パソコン、スマートフォン、タブレットのいずれかを用いて、次のURLまたは二次元バーコードからアクセスし、**画面の案内に従って下記のID、パスワードを入力し、質問項目にお答えください**。
(URL) <https://wsurvey.jp/s.php?clear=1&a=TYK-359>
- ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。



豊川市企画部秘書課広報聴係 担当 橋本、小林

電話 0533-89-2121

A. 全体の生活環境についておたずねします

問1 豊川市は、**住みよいまち**だと思いますか。次の中からあてはまるものを**1つだけ**選んで○印をつけてください。

- | | |
|------------------|----------|
| 1. 住みよい | 4. 住みにくい |
| 2. どちらかといえば住みよい | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば住みにくい | |

問2 あなたは、**豊川市の市政**に関する次の 01～49の各項目について、**どの程度満足**していますか。また、今後の市政を進めるにあたって**どの程度重要**だと思いますか。最もあなたの気持ちに近いものを「満足度」と「重要度」から**それぞれ1つだけ**選んで○印をつけてください。

	満 足 度					重 要 度					
	満足	まあ満足	やや不満	不満	わからない	非常に重要	やや重要	さほど重要でない	重要でない	わからない	
(記入例) 01. 交通安全対策	1	②	3	4	5	1	2	③	4	5	
安全・安心	01. 交通安全対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	02. 歩行者にとっての道路の安全性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	03. 防犯対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	04. 地震などに対する防災対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	05. 消防体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	06. 救急体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	07. 地球環境の保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	08. ごみ処理対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	09. 生活における衛生環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	10. 生活排水対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	11. 水道水の安全・安定供給	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
子ども	12. 子どもを生み、育てる環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	13. 青少年の育成・支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	14. 若者への支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
健康・福祉	15. 健康づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	16. 医療環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	17. 高齢者福祉	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	18. 障害者福祉	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	19. 経済的な自立支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	満 足 度					重 要 度					
	満足	まあ満足	やや不満	不満	わからない	非常に重要	やや重要	さほど重要でない	重要でない	わからない	
建設・整備	20. 住環境の整備（区画整理・住宅対策など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	21. 公共交通機関の利便性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	22. 道路の整備状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	23. 緑・自然の豊かさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	24. 公園の状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
教育・文化	25. 河川の状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	26. 学校の指導や取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	27. 生涯学習の取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	28. スポーツの振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	29. 文化芸術の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
産業・雇用	30. 農業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	31. 工業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	32. 商業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	33. 日用品などの買い物の利便性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	34. 雇用の安定・勤労者支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	35. 中心市街地の活性化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
地域・行政	36. 観光の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	37. 地域のつきあいや人間関係	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	38. 男女共同参画	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	39. 人権の尊重	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	40. 国際交流活動・多文化共生	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	41. 市からの情報提供・公表	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	42. 公共施設の適正配置	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	43. 道路、橋などの適正な維持管理	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	44. 行政のデジタル化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	45. 行政サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	46. 職員の資質向上	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	47. 職員の定員適正化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	48. 健全な財政運営	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	49. 東三河広域連合の活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

B. 分野別におたずねします

安全・安心

問3 行政が実施している次の**交通安全・防犯対策等**について、行政にどのようなことを期待しますか。**3つまで**選んで○印をつけてください。

1. 交通安全を学べるイベントの開催
2. 高齢者の運転免許証自主返納への支援
3. 各小学校区1人ずつの交通指導員の配置
4. ボランティアとして交通安全活動を行う交通安全指導隊への支援
5. 各校区の安全なまちづくり推進協議会への支援
6. 連区・町内会による防犯灯の設置に対する支援
7. 連区・町内会による防犯カメラの設置に対する支援
8. 防犯にかかる啓発活動、講座開催、防犯グッズ紹介
9. 青色パトロール車による防犯パトロール
10. 防犯ボランティア活動（子どもの見守り）などに対する支援

問4 あなたは、**自転車の安全な利用**について、日ごろからどのようなことを心掛けていますか。次の中からあてはまるもの**すべて**に○印をつけてください。

1. 自転車に乗るときはヘルメットを着用している
2. 自転車損害賠償保険に加入している
3. 自転車の防犯登録をしている
4. 自転車の施錠を1箇所以上している
5. 定期的に自転車の点検・整備をしている
6. 夕暮れ時の早めのライト点灯を心掛けている
7. 特に何もしていない
8. 自転車を使用（所有）していない

問5 あなたのご家庭では、日ごろ**地震に備えて**どのような**対策**をしていますか。次の中からあてはまるもの**すべて**に○印をつけてください。

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1. 家具類の転倒防止 | 9. 非常時の家族との連絡方法、集合場所の確認 |
| 2. 窓ガラスの飛散防止 | 10. 避難場所、避難経路の確認 |
| 3. 棚の上の物が落ちないように整理 | 11. 自主防災会の活動への参加 |
| 4. 非常用食糧や飲料水の用意 | 12. その他（具体的に_____） |
| 5. 貴重品など非常持出品の確認 | 13. 特に何もしていない |
| 6. 消火器など消火器具の用意 | |
| 7. 懐中電灯、携帯ラジオの用意 | |
| 8. 救急医薬品の用意 | |

問6 あなたは、**防災対策**として、行政にどのようなことを期待しますか。次の中からあてはまるものを**3つまで**選んで○印をつけてください。

1. 防災用マニュアルの配布
2. 防災用マップの配布
3. 防災講習会の開催
4. 地域での防災訓練の実施啓発
5. 住宅の耐震診断補助
6. 住宅の耐震改修補助
7. 情報連絡手段の整備
8. 災害に備えた道路の整備
9. 食糧・水、日常生活用品などの備蓄
10. 避難所など防災拠点の整備
11. 防災ボランティアの育成
12. 地域の防災組織の育成
13. 公共施設の耐震整備
14. 障害者・高齢者等要配慮者対策の充実
15. その他（具体的に_____）

問7 あなたが**生活する上での衛生環境**について、行政にどのようなことを期待しますか。次の中からあてはまるものを**3つまで**選んで○印をつけてください。

1. 市民へ資源やごみの分別排出方法、ごみステーションの適正利用を周知する
2. ごみステーションからの資源等の持ち去り防止対策を強化する
3. ごみの不法投棄防止のため、看板設置や監視強化を行う
4. 浄化槽や汲み取りトイレについて、適正な保守管理を啓発する
5. 犬のふんの持ち帰りを啓発する
6. 路上喫煙の防止を啓発する
7. 市営墓地を増やす
8. その他（具体的に_____）
9. 特に期待するものはない

問8 あなたは、**温室効果ガス（主に二酸化炭素）排出量ゼロに近づけるために**、日ごろからどのようなことに取り組んでいますか。次の中からあてはまるもの**すべて**に○印をつけてください。

1. こまめな節電など、省エネ活動の徹底
2. 省エネ性能の高い家電製品や設備への切り替え
3. 住まいへの、太陽光発電をはじめとした地球温暖化対策設備の導入
4. 断熱性の高い住宅に住む、または住宅の断熱性を高める
5. 家庭から出るごみをできるだけ減らす
6. リデュース、リユース、リサイクル、リフューズ（不要なものを買わない・無料でも断る）といった4Rの徹底
7. 自家用車の利用を減らす（公共交通や自転車で移動するなど）
8. 自家用車を、走行時の二酸化炭素排出量が少ない、もしくは排出量ゼロの次世代自動車（ハイブリッド自動車や電気自動車など）にする
9. 食品（野菜、魚肉類）はできるだけ地元で生産されたものを購入
10. 緑のカーテンや樹木・草花の栽培など住宅の緑化に努める
11. 地域の公園や緑地の美化活動・保全活動への参加
12. 再生可能エネルギー由来の電気に電力契約を切り替える
13. 木質バイオマス（薪ストーブ・薪ボイラー）の活用
14. どのような取り組みも効果がないため実施していない
15. その他（具体的に_____）

子ども・若者

問9 あなたは、**子どもや若者の施策**について、行政が今後どのようなことに取り組むべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを**3つまで**選んで○印をつけてください。

1. 子ども・若者が意見を表明し社会参加できる機会づくり
2. 子ども・若者の地域活動の充実
3. 子ども・若者の自然体験、集団活動などの体験活動の充実
4. 子ども・若者の居場所づくり
5. インターネット・SNSの適正な利用について学ぶ機会の充実
6. こころの悩みについての相談窓口の充実（ひきこもり・ニート・不登校等）
7. 就職に向けた相談やサポート体制の充実
8. キャリア教育の充実
9. 結婚支援事業の充実
10. 青少年活動をリードする人材の活用と育成
11. その他（具体的に_____）
12. 特に取り組むものはない

問10 あなたは、**子どもを生み、育てる環境**を充実させるために、行政が今後どのようなことに取り組むべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを**3つまで**選んで○印をつけてください。

1. 子育てに掛かる費用負担を減らす
2. 児童館など子ども連れで出掛けやすい場所を整備する
3. 子どもの防犯・安全対策を充実する
4. 子育てについての情報が得られる場を整備する
5. 出産・育児後の職場復帰や職場確保を支援する
6. 育児休暇取得の促進など子育てしやすい職場環境をつくる働き掛けをする
7. 未就学児の保育サービスを充実する
8. 放課後児童クラブなどの放課後児童対策を充実する
9. 障害児に対する制度を充実する
10. 妊娠期から子育て期までの相談支援を充実する
11. 母性・父性の育成を目指した体験講座を充実する
12. 妊産婦や乳幼児の健康診査の機会を充実する
13. 学習支援など子どもの貧困対策を充実する
14. 児童虐待やヤングケアラー、非行・犯罪の未然防止、早期対応などの支援対策を充実する
15. その他（具体的に_____）
16. 特に取り組むものはない

健康・福祉

問11 あなたは、**健康維持や増進**のために、日ごろからどのようなことを心掛けていますか。次の中からあてはまるものを**すべて**に○印をつけてください。

1. 食事のバランスに気を配り、肥満予防などに努めている
2. 酒、たばこ、コーヒーなどの嗜好品の取り方に気を配っている
3. 健康食品やサプリメント、特定保健用食品などを利用している
4. 睡眠を十分取るなど、規則正しい生活に努めている
5. ウォーキング、健康体操、グラウンド・ゴルフなどの運動をしている
6. フィットネスクラブ・同好会などで体力づくりをしている
7. 日常生活で、身体活動を増やし、体力の維持に努めている
8. 自分のストレス解消法を見つけ、ストレスを解消している
9. 定期的な健康診断を受け、健康管理に努めている
10. 健康に関する講座に参加したり、本を読んだりして知識を高めている
11. 歩こう会などの健康づくりの行事に積極的に参加している
12. いつでも相談できる身近なかかりつけ医を持っている
13. 歯科医院に、定期的（1年に1回以上）に受診している
14. いつでも相談できる身近なかかりつけ薬局を持っている
15. その他（具体的に_____）
16. 特に何もしていない

建設・整備

問12 あなたは、公共交通機関（電車・バス）の利便性を向上させるために、行政にどのようなことを期待しますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで○印をつけてください。

1. 駅やバス停周辺の歩道の段差改善やノンステップバスの導入などのバリアフリー化を進める
2. 駅周辺に駐車場や駐輪場を増やす
3. 駅前ロータリーなどの送迎用スペースを整備する
4. バス停に、屋根、ベンチなどの待合設備の充実を進める
5. バスの運行本数を増やす
6. バス停を増やす
7. 電車とバス、バス同士の乗り継ぎをしやすいようにする
8. バスが運行する時間帯を長くする
9. 電車とバスが連携した時刻表や公共交通マップを提供する
10. 割引券などの提供や運賃の値下げにより、利用者の負担を減らす
11. その他（具体的に_____）
12. 特に期待するものはない

問13 あなたは、道路の整備について、行政にどのようなことを期待しますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで○印をつけてください。

1. 幹線道路を整備する
2. 道路の側溝を整備する
3. 街路樹を整備する
4. 傷んでいる舗装をやり直す
5. 道路幅を広げる
6. 主要交差点に右折レーンを設置する
7. ガードレールやカーブミラーなどの安全施設を設ける
8. カラー舗装を設置する
9. 歩道を整備する
10. 自転車道を整備する
11. 踏切内の安全策を図る
12. 道路照明灯を設置する
13. 段差改善や視覚障害者誘導用ブロックの設置などのバリアフリー化を進める
14. 路上駐車や歩道上の占拠物をなくすように啓発する
15. 電線などの地中化を進める
16. その他（具体的に_____）
17. 特に期待するものはない

問14 あなたは、**公園の整備や緑地の保全**について、行政がどのようなことに取り組むべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを**3つまで**選んで○印をつけてください。

1. 身近で親しみやすい公園を整備する
2. スポーツ需要などの目的に合わせた公園を整備する
3. 防災機能を備えた公園を整備する
4. 多機能トイレの設置や園路の改修などのバリアフリー化を推進する
5. 市民参加による公園づくりや公園管理を推進する
6. 様々なイベントを開催し、公園や地域を活性化する
7. ブランコ、滑り台などの遊具を充実する
8. トイレ、水飲み場、時計塔などの便益施設を充実する
9. 照明灯、防球ネットなどの管理施設を充実する
10. ベンチなどの休憩施設を充実する
11. 遊具の保守・点検、トイレ清掃などの維持管理を徹底する
12. 市街地に残る貴重な緑地の保全を図る
13. 道路、学校などの公共施設の緑化を推進する
14. 自然観察会や課外授業など自然とふれあう活動を推進する
15. その他（具体的に_____）
16. 特に取り組むものはない

問15 あなたは、**河川の整備**について、行政が今後どのようなことに取り組むべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを**3つまで**選んで○印をつけてください。

1. 大雨などによる洪水に対する治水能力を向上させる
2. 水質の浄化を図る
3. 安心して河川などと親しめる水辺環境をつくる
4. 草刈りなどの維持管理を徹底する
5. 動植物が生息できる環境をつくる
6. 人工的に自然に近い河川などの整備をする
7. 周辺の景観を生かした河川などの整備をする
8. 地域活動の場として利用しやすい河川などの整備をする
9. 自然観察会や課外学習などができる場所をつくる
10. ボランティアが活動しやすい環境をつくる
11. 柵、注意看板などの安全整備を図る
12. 河川などの状況がわかる情報を公開する
13. その他（具体的に_____）
14. 特に取り組むものはない

教育・文化

問16 学校と地域が協力して地域づくりをしていくために、「学校公開日」や「登下校の見守り活動」などを実施しています。あなたは、協力して地域づくりをするために、**学校と関わりを持っていきたい**と思いますか。次の中からあてはまるものを**1つだけ**選んで○印をつけてください。

1. 積極的に、関わりを持っていきたい
2. どちらかといえば、関わりを持っていきたい
3. どちらかといえば、関わりを持ちたくない
4. できるだけ、関わりを持ちたくない
5. わからない

問17 あなたは、**生涯学習としてどのような活動**をしていますか。次の中からあてはまるもの**すべてに**○印をつけてください。

1. 趣味的な活動（茶道、読書、写真など）
2. 娯楽的な活動（囲碁、将棋、映画鑑賞など）
3. 教養的な活動（歴史・文化の学習など）
4. 外国語・外国文化の学習
5. 文化・芸術的な活動（音楽、絵画、演劇、ダンスなどの鑑賞及び活動）
6. 技能・技術の習得（パソコン、各種資格など）
7. 国際交流・理解に関する活動
8. ボランティア活動全般
9. 名所・旧跡などへの訪問
10. 伝統文化の伝承活動（踊り、お祭りの参加など）
11. スポーツ・運動及びそれらに関する活動
12. 登山やキャンプなどの野外活動
13. その他（具体的に_____）
14. 特に活動していない

問18 あなたは、**どの程度の頻度でスポーツや運動**をしていますか。次の中からあてはまるものを**1つだけ**選んで○印をつけてください。なお、スポーツには、ウォーキング、ハイキング、体操、ダンス、ヨガなども含まれます。

- | | |
|------------|------------|
| 1. 週5日以上 | 4. 月1～3日程度 |
| 2. 週3～4日程度 | 5. 年1～3日程度 |
| 3. 週1～2日程度 | 6. 全くしていない |

問19 あなたは、**文化・芸術の振興**のために、行政が今後どのようなことに取り組むべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを**3つまで**選んで○印をつけてください。

1. 質の高い舞台芸術や美術作品、文化財などを鑑賞する機会を増やす
2. 体験型の講座などを開催し、子どものときから文化芸術に親しむ環境を整備する
3. 様々な手段で文化芸術に関する情報の収集、発信の充実を図る
4. 市独自の地域資源（場所、人、歴史など）を生かした文化芸術事業を展開する
5. ホール・ミュージアムの利用について、利便性の高いサービスを提供する
6. 図書館の蔵書やイベントを増やす
7. 読み聞かせなど、ボランティア活動の普及に努める
8. 街路への彫刻設置やデザイン性に富んだ遊具の設置に努める
9. その他（具体的に_____）
10. 特に取り組むものはない

産業・雇用

問20 あなたは、**多くの観光客の方に豊川市に来ていただく**ために、どのようなことに取り組むべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを**3つまで**選んで○印をつけてください。

1. 市外や県外での観光キャンペーンを積極的に行う
2. テレビや情報誌、インターネットなどで観光情報を発信する
3. 市民の人たちに豊川市について知ってもらう取り組みをする
4. 観光客向けのイベントを開催する
5. ホームページなどで豊川産農畜産物PRや農業関連イベント開催情報を発信する
6. 豊川いなり寿可以外の地域ブランドを確立する
7. 「いなりん」などのイメージキャラクターを活用する
8. 新しい観光施設を建設する
9. 観光地の駐車場やトイレ、案内看板などを整備する
10. 気軽に散策や食べ歩きができるよう街並みを整備する
11. 手筒煙火や祭礼などの伝統行事の保護に努める
12. 東三河の他市町村と連携して観光客誘致に取り組む
13. 商店街や市民活動団体、企業などと連携して観光客誘致に取り組む
14. その他（具体的に_____）
15. 特に取り組むものはない

地域・行政

問21 あなたは、まちづくり活動（町内会・お祭りなどの地域活動、NPO活動、ボランティア・市民活動など）に参加したことがありますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。

1. 継続的に参加している
2. 参加したことがある
3. 興味はあるが実際に参加したことがない
4. 興味もないし、参加したこともない

問22 あなたは、「男は仕事、女は家庭」といった固定的な性別役割分担について見直すべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問23 現在、豊川市には、多くの外国人市民が暮らしています。日本人と外国人が、同じ豊川市民として快適に暮らしていける多文化共生社会にするために、あなたは、どのようなことができると思いますか。次の中からあてはまるものを2つまで選んで○印をつけてください。

1. 積極的に異国の文化や言語などを学びたい
2. 困っている国籍の異なる市民がいたら、力になってあげたい
3. 身近に住む国籍の異なる市民とのおつきあいを大切にしたい
4. 国籍の異なる市民とも分け隔てなく接したい
5. 特にしたいこともないし、関心もない
6. なるべく関わりたくない
7. その他（具体的に_____）
8. わからない

問24 あなたは、市が配付している**広報紙（毎月1日発行）**や**議会だより（6月・8月・11月・2月に発行。広報紙に折り込み）**などをどの程度読んでいますか。次の中からそれぞれにあてはまるものを**1つずつ**選んで○印をつけてください。

	たいてい しっかり 読んでいる	ざっと 目を通し ている	興味のある ものだけを 読む	たまに 読むこと もある	ほとんど 読まない
広報とよかわ	1	2	3	4	5
議会だより	1	2	3	4	5
その他のお知らせ	1	2	3	4	5

問25 あなたは最近、**市の職員の対応**についてどのように感じましたか。次の中からあてはまるものを**1つだけ**選んで○印をつけてください。

1. 非常に親切に早く対応してくれた
2. まあまあ親切に対応してくれた
3. 以前と比べて対応がよくなった
4. いろいろな手続きや面倒な書類の記入などの説明が不親切だった
5. 対応が事務的で冷たい感じがした
6. 課をたらい回しにされ、うんざりした
7. 最近、市役所に行っていない（関わっていない）
8. その他（具体的に_____）
9. わからない

問26 今後、豊川市が**少子高齢化や人口減少**といった課題に対応し、持続可能で安定した市政運営を行うためには、**定住する人口と、通勤・観光などの交流人口、両方を増やすことが大切です。**この中で、あなたが**大切だと考える定住・交流施策を大切だと思う順に3つまで**選び、下の解答欄に番号を記入してください。

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| 1. 災害リスクへの対策や、交通安全・防犯対策の充実 | 7. 道路や公園・緑地などインフラ整備の充実 |
| 2. 自然環境、生活環境の保全 | 8. 学校教育や文化、スポーツ振興の充実 |
| 3. 市民の健康づくりや地域医療体制の充実 | 9. 農業、工業、商業の活性化と雇用の安定 |
| 4. 子育て支援施策の充実 | 10. 観光振興の充実 |
| 5. 高齢者や障害者に対する福祉関連施策の充実 | 11. 市民活動施策の充実 |
| 6. 快適な住環境の整備や公共交通の充実 | 12. わからない |

1 番	2 番	3 番

C. あなた自身のことについておたずねします

問27 あなたの性別は何ですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。

※選択することに違和感のある場合は「無回答」に○印をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 無回答 |
|-------|-------|--------|

問28 あなたの年齢はおいくつですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。5月1日現在で、お答えください。

- | | | |
|----------------|--------|----------|
| 1. 10代（18・19歳） | 4. 40代 | 7. 70歳以上 |
| 2. 20代 | 5. 50代 | |
| 3. 30代 | 6. 60代 | |

問29 あなたのご職業は何ですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。

- | |
|------------------------------|
| 1. 事務系勤労者（営業・店員を含む） |
| 2. 労働系勤労者（保安・運転手を含む） |
| 3. 管理職・会社経営（官公庁や会社の管理職、役員など） |
| 4. 商店・サービス業の個人経営 |
| 5. 自由業（医師・弁護士など） |
| 6. 農林水産業 |
| 7. 主婦（夫） |
| 8. パートタイマー・アルバイト |
| 9. 学生 |
| 10. 無職 |
| 11. その他（具体的に_____） |

問30 あなたのお勤め先（通学先）はどちらですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。

- | | | |
|---------------|---------|-------------|
| 1. 通勤・通学していない | 5. 新城市 | 9. 左記以外の愛知県 |
| 2. 豊川市内 | 6. 田原市 | 10. 県外 |
| 3. 豊橋市 | 7. 岡崎市 | |
| 4. 蒲郡市 | 8. 名古屋市 | |

問31 あなたのお住まいはどちらですか。次の中からあてはまる小学校区を1つだけ選んで○印をつけてください。小学校区がわからない方は住所を記入してください。

- | | | |
|------------|--------------|--------------|
| 1. 豊川小学校区 | 10. 牛久保小学校区 | 19. 一宮南部小学校区 |
| 2. 桜木小学校区 | 11. 天王小学校区 | 20. 赤坂小学校区 |
| 3. 豊小学校区 | 12. 国府小学校区 | 21. 長沢小学校区 |
| 4. 東部小学校区 | 13. 御油小学校区 | 22. 萩小学校区 |
| 5. 金屋小学校区 | 14. 千両小学校区 | 23. 御津南部小学校区 |
| 6. 三蔵子小学校区 | 15. 八南小学校区 | 24. 御津北部小学校区 |
| 7. 桜町小学校区 | 16. 平尾小学校区 | 25. 小坂井東小学校区 |
| 8. 代田小学校区 | 17. 一宮東部小学校区 | 26. 小坂井西小学校区 |
| 9. 中部小学校区 | 18. 一宮西部小学校区 | |

わからない方の住所	(_____) 町 (_____)
-----------	-----------------------

問32 あなたは、豊川市内（旧宝飯郡を含む）にお住まいになって何年になりますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。

- | |
|------------------|
| 1. 生まれたときからずっと |
| 2. 転入後5年未満 |
| 3. 転入後5年以上10年未満 |
| 4. 転入後10年以上20年未満 |
| 5. 転入後20年以上30年未満 |
| 6. 転入後30年以上 |

問33 あなたは、今後も豊川市にお住まいになりますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。

- | |
|--------------------|
| 1. ずっと住み続ける |
| 2. できればずっと住み続けたい |
| 3. 住み続けざるを得ない |
| 4. 住み続けたいが移らざるを得ない |
| 5. できれば移りたい |
| 6. わからない |

- これからのまちづくりについて、アイデアやご意見などがございましたら自由にご記入ください。なお、ご意見、ご要望に対しては、原則、市からは回答いたしません。回答が必要なご意見、ご要望につきましては、各担当部署へ直接、電話などでお寄せください。また、市役所や支所、プリア窓口センターに「市民何でも意見箱」、市ホームページに「市民何でも意見メールボックス」も用意しています。

調査にご協力いただきまして、どうもありがとうございました。

記入漏れがないかどうか、もう一度お確かめいただき、同封の返信用封筒に入れ、
令和7年5月16日（金）までにご投函ください（切手は不要です）。

3 図表目次

図表 1	性別（全体・年齢別）	8
図表 2	性別（全体・職業別）	8
図表 3	年齢（全体・小学校区別）	9
図表 4	職業（全体・性別・年齢・小学校区別）	10
図表 5	通勤・通学先（全体・性別・年齢・職業別）	11
図表 6	居住年数（全体・小学校区別）	12
図表 7	豊川市の住みよさ（全体・性別・年齢別）	13
図表 8	豊川市の住みよさ（全体・小学校区別）	14
図表 9	豊川市の住みよさ（経年比較）	15
図表 10	定住意向（全体・性別・年齢・居住年数別）	16
図表 11	定住意向（全体・小学校区別）	17
図表 12	定住意向（経年比較）	18
図表 13	分野別満足度平均値	19
図表 14	市政に対する満足度の評価点	20
図表 15	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	21
図表 16	「安全・安心」（全体・性別）	22
図表 17	「安全・安心」（全体・年齢別）	22
図表 18	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔1 交通安全対策〕	23
図表 19	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔2 歩行者にとっての道路の安全性〕	23
図表 20	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔3 防犯対策〕	24
図表 21	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔4 地震などに対する防災対策〕	24
図表 22	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔5 消防体制〕	25
図表 23	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔6 救急体制〕	25
図表 24	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔7 地球環境の保全〕	26
図表 25	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔8 ごみ処理対策〕	26
図表 26	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔9 生活における衛生環境〕	27
図表 27	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔10 生活排水対策〕	27
図表 28	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔11 水道水の安全・安定供給〕	28
図表 29	「子ども・若者」（全体・性別）	29
図表 30	「子ども・若者」（全体・年齢別）	29
図表 31	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔12 子どもを生き、育てる環境〕	30
図表 32	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔13 青少年の育成・支援〕	30
図表 33	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔14 若者への支援〕	31
図表 34	「健康・福祉」（全体・性別）	32
図表 35	「健康・福祉」（全体・年齢別）	32
図表 36	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔15 健康づくり〕	33
図表 37	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔16 医療環境〕	33

図表 38	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[17 高齢者福祉]	34
図表 39	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[18 障害者福祉]	34
図表 40	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[19 経済的な自立支援]	35
図表 41	「建設・整備」(全体・性別)		36
図表 42	「建設・整備」(全体・年齢別)		36
図表 43	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[20 住環境の整備(区画整理・住宅対策など)]	37
図表 44	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[21 公共交通機関の利便性]	37
図表 45	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[22 道路の整備状況]	38
図表 46	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[23 緑・自然の豊かさ]	38
図表 47	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[24 公園の状況]	39
図表 48	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[25 河川の状況]	39
図表 49	「教育・文化」(全体・性別)		40
図表 50	「教育・文化」(全体・年齢別)		40
図表 51	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[26 学校の指導や取り組み]	41
図表 52	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[27 生涯学習の取り組み]	41
図表 53	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[28 スポーツの振興]	42
図表 54	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[29 文化芸術の振興]	42
図表 55	「産業・雇用」(全体・性別)		43
図表 56	「産業・雇用」(全体・年齢別)		43
図表 57	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[30 農業の振興]	44
図表 58	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[31 工業の振興]	44
図表 59	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[32 商業の振興]	45
図表 60	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[33 日用品などの買い物の利便性]	45
図表 61	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[34 雇用の安定・勤労者支援]	46
図表 62	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[35 中心市街地の活性化]	46
図表 63	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[36 観光の振興]	47
図表 64	「地域・行政」(全体・性別)		48
図表 65	「地域・行政」(全体・年齢別)		48
図表 66	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[37 地域のつきあいや人間関係]	49
図表 67	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[38 男女共同参画]	49
図表 68	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[39 人権の尊重]	50
図表 69	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[40 国際交流活動・多文化共生]	50
図表 70	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[41 市からの情報提供・公表]	51
図表 71	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[42 公共施設の適正配置]	51
図表 72	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[43 道路、橋などの適正な維持管理]	52
図表 73	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[44 行政のデジタル化]	52
図表 74	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[45 行政サービス]	53
図表 75	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[46 職員の資質向上]	53
図表 76	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[47 職員の定員適正化]	54

図表 77	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[48 健全な財政運営]	54
図表 78	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[49 東三河広域連合の活用]	55
図表 79	分野別重要度平均値		56
図表 80	市政に対する重要度の評価点		57
図表 81	小学校区×「市政に対する重要度平均値」		58
図表 82	「安全・安心」(全体・性別)		59
図表 83	「安全・安心」(全体・年齢別)		59
図表 84	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[1 交通安全対策]	60
図表 85	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[2 歩行者にとっての道路の安全性]	60
図表 86	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[3 防犯対策]	61
図表 87	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[4 地震などに対する防災対策]	61
図表 88	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[5 消防体制]	62
図表 89	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[6 救急体制]	62
図表 90	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[7 地球環境の保全]	63
図表 91	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[8 ごみ処理対策]	63
図表 92	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[9 生活における衛生環境]	64
図表 93	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[10 生活排水対策]	64
図表 94	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[11 水道水の安全・安定供給]	65
図表 95	「子ども・若者」(全体・性別)		66
図表 96	「子ども・若者」(全体・年齢別)		66
図表 97	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[12 子どもを生み、育てる環境]	67
図表 98	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[13 青少年の育成・支援]	67
図表 99	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[14 若者への支援]	68
図表 100	「健康・福祉」(全体・性別)		69
図表 101	「健康・福祉」(全体・年齢別)		69
図表 102	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[15 健康づくり]	70
図表 103	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[16 医療環境]	70
図表 104	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[17 高齢者福祉]	71
図表 105	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[18 障害者福祉]	71
図表 106	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[19 経済的な自立支援]	72
図表 107	「建設・整備」(全体・性別)		73
図表 108	「建設・整備」(全体・年齢別)		73
図表 109	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[20 住環境の整備(区画整理・住宅対策など)]	74
図表 110	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[21 公共交通機関の利便性]	74
図表 111	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[22 道路の整備状況]	75
図表 112	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[23 緑・自然の豊かさ]	75
図表 113	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[24 公園の状況]	76
図表 114	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[25 河川の状況]	76
図表 115	「教育・文化」(全体・性別)		77

図表 116	「教育・文化」（全体・年齢別）	77
図表 117	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔26 学校の指導や取り組み〕	78
図表 118	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔27 生涯学習の取り組み〕	78
図表 119	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔28 スポーツの振興〕	79
図表 120	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔29 文化芸術の振興〕	79
図表 121	「産業・雇用」（全体・性別）	80
図表 122	「産業・雇用」（全体・年齢別）	80
図表 123	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔30 農業の振興〕	81
図表 124	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔31 工業の振興〕	81
図表 125	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔32 商業の振興〕	82
図表 126	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔33 日用品などの買い物の利便性〕	82
図表 127	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔34 雇用の安定・勤労者支援〕	83
図表 128	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔35 中心市街地の活性化〕	83
図表 129	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔36 観光の振興〕	84
図表 130	「地域・行政」（全体・性別）	85
図表 131	「地域・行政」（全体・年齢別）	85
図表 132	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔37 地域のつきあいや人間関係〕	86
図表 133	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔38 男女共同参画〕	86
図表 134	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔39 人権の尊重〕	87
図表 135	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔40 国際交流活動・多文化共生〕	87
図表 136	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔41 市からの情報提供・公表〕	88
図表 137	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔42 公共施設の適正配置〕	88
図表 138	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔43 道路、橋などの適正な維持管理〕	89
図表 139	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔44 行政のデジタル化〕	89
図表 140	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔45 行政サービス〕	90
図表 141	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔46 職員の資質向上〕	90
図表 142	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔47 職員の定員適正化〕	91
図表 143	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔48 健全な財政運営〕	91
図表 144	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔49 東三河広域連合の活用〕	92
図表 145	満足・重要・優先度5項目	93
図表 146	市政に対する満足度と重要度の関係	94
図表 147	小学校区別評価 満足度上位5項目	95
図表 148	小学校区別評価 満足度下位5項目	96
図表 149	小学校区別評価 重要度上位5項目	97
図表 150	小学校区別評価 優先度上位5項目	98
図表 151	小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」(1)	99
図表 152	小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」(2)	100
図表 153	小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」(3)	102
図表 154	小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」(4)	104
図表 155	小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」(5)	106

図表 156	小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」(6)	108
図表 157	小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」(7)	110
図表 158	小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」(8)	112
図表 159	小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」(9)	114
図表 160	交通安全・防犯対策等の行政への期待(全体)	117
図表 161	交通安全・防犯対策等の行政への期待 (全体・性別・小学校区・交通安全の満足度・防犯対策の満足度別)	118
図表 162	自転車の安全な利用のための心掛け(全体)	119
図表 163	自転車の安全な利用のための心掛け(全体・年齢・小学校区別)	120
図表 164	日ごろの地震に備えた対策(全体)	121
図表 165	日ごろの地震に備えた対策(全体・年齢別)	122
図表 166	日ごろの地震に備えた対策(経年比較)	123
図表 167	防災対策の行政への期待(全体)	124
図表 168	防災対策の行政への期待(全体・年齢・地震などに対する防災対策の満足度別)	125
図表 169	防災対策の行政への期待(経年比較)	126
図表 170	衛生環境の行政への期待(全体)	127
図表 171	衛生環境の行政への期待 (全体・年齢・ごみ処理対策の満足度・生活における衛生環境の満足度別)	128
図表 172	衛生環境の行政への期待(経年比較)	129
図表 173	地球温暖化対策の取り組み(全体)	130
図表 174	地球温暖化対策の取り組み(全体・性別・年齢別)	131
図表 175	子どもや若者支援のために行政が取り組むべきこと(全体)	132
図表 176	子どもや若者支援のために行政が取り組むべきこと (全体・性別・年齢・小学校区・青少年の育成・支援の満足度・若者への支援の満足度別)	133
図表 177	子育て環境の充実のために行政が取り組むべきこと(全体)	134
図表 178	子育て環境の充実のために行政が取り組むべきこと (全体・性別・年齢・職業・子どもを生み、育てる環境の満足度別)	135
図表 179	子育て環境の充実のために行政が取り組むべきこと(経年比較)	136
図表 180	健康の維持・増進のための心掛け(全体)	137
図表 181	健康の維持・増進のための心掛け(全体・性別・年齢・職業別)	138
図表 182	健康の維持・増進のための心掛け(経年比較)	139
図表 183	公共交通機関の利便性の行政への期待(全体)	140
図表 184	公共交通機関の利便性の行政への期待 (全体・年齢・通勤・通学先・小学校区・公共交通機関の利便性の満足度別)	141
図表 185	公共交通機関の利便性の行政への期待(経年比較)	142
図表 186	道路の整備の行政への期待(全体)	143
図表 187	道路の整備の行政への期待 (全体・小学校区・道路の整備の状況の満足度・歩行者にとっての道路の安全性の満足度別)	144

図表 188	道路の整備の行政への期待（経年比較）	145
図表 189	公園の整備や緑地の保全のために行政が取り組むべきこと（全体）	146
図表 190	公園の整備や緑地の保全のために行政が取り組むべきこと （全体・年齢・小学校区・緑、自然の豊かさの満足度・公園の状況の満足度別）	147
図表 191	公園の整備や緑地の保全のために行政が取り組むべきこと（経年比較）	148
図表 192	河川の整備のために行政が取り組むべきこと（全体）	149
図表 193	河川の整備のために行政が取り組むべきこと（全体・性別・小学校区別）	150
図表 194	河川の整備のために行政が取り組むべきこと（経年比較）	151
図表 195	地域づくりに向けた学校と地域との関わり（全体・性別・年齢別）	152
図表 196	地域づくりに向けた学校と地域との関わり（全体・職業別）	153
図表 197	地域づくりに向けた学校と地域との関わり（経年比較）	153
図表 198	生涯学習の活動状況（全体）	154
図表 199	生涯学習の活動状況（全体・性別・年齢別）	155
図表 200	スポーツや運動の頻度（全体・性別・年齢別）	156
図表 201	スポーツや運動の頻度（経年比較）	157
図表 202	文化・芸術の振興のために行政が取り組むべきこと（全体）	158
図表 203	文化・芸術の振興のために行政が取り組むべきこと（全体・性別・年齢別）	159
図表 204	文化・芸術の振興のために行政が取り組むべきこと（経年比較）	159
図表 205	観光客増加のために取り組むべきこと（全体）	160
図表 206	観光客増加のために取り組むべきこと（全体・年齢別）	161
図表 207	観光客増加のために取り組むべきこと（経年比較）	162
図表 208	まちづくり活動への参加状況（全体・性別・年齢別）	163
図表 209	まちづくり活動への参加状況（全体・小学校区別）	164
図表 210	男女共同参画（全体・性別・年齢・職業別）	165
図表 211	外国人とのつきあい方（全体）	166
図表 212	外国人とのつきあい方（全体・年齢別）	167
図表 213	外国人とのつきあい方（経年比較）	167
図表 214	広報紙等の閲読率「広報とよかわ」（全体・性別・年齢別）	168
図表 215	広報紙等の閲読率「広報とよかわ」（経年比較）	169
図表 216	広報紙等の閲読率「議会だより」（全体・性別・年齢別）	170
図表 217	広報紙等の閲読率「議会だより」（経年比較）	170
図表 218	広報紙等の閲読率「その他のお知らせ」（全体・性別・年齢別）	171
図表 219	広報紙等の閲読率「その他のお知らせ」（経年比較）	172
図表 220	市の職員の対応への評価（全体・性別・年齢別）	173
図表 221	市の職員の対応への評価（経年比較）	174
図表 222	大切だと考える定住・交流施策（全体）	175
図表 223	1番大切だと考える定住・交流施策（全体・性別・年齢・小学校区別）	176
図表 224	2番目に大切だと考える定住・交流施策（全体・性別・年齢・小学校区別）	177
図表 225	3番目に大切だと考える定住・交流施策（全体・性別・年齢・小学校区別）	178

第 16 回豊川市市民意識調査 【調査結果報告書】

発行年月：令和 7 年 8 月

発 行：豊川市企画部秘書課広報広聴係

豊川市諏訪 1-1

TEL：0533-89-2121

FAX：0533-89-2124